

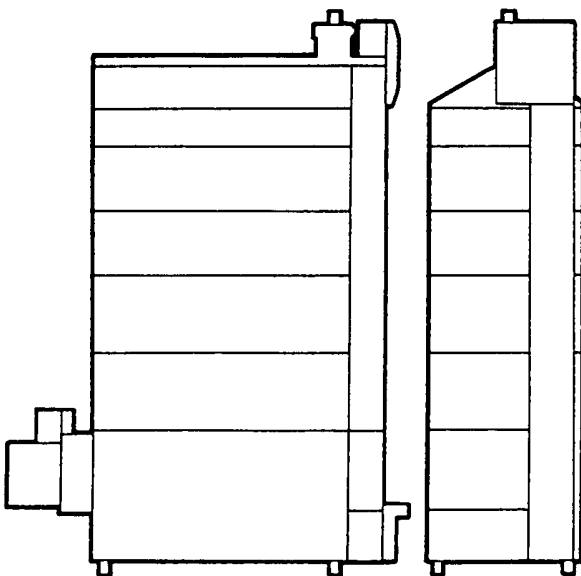


一心号 米麦用循環型乾燥機

型式名 **SSC340**

取扱説明書

S



- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し必要なときにお読みください。
- 保証書は、必ず「納入日・販売店名」等の記入を確かめて、お受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。

保証書別添付

ご愛用の皆様へのご注意

1. この乾燥機を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。
取扱説明書の説明全部を初めのうちはすっかり理解できないかもしれませんが特に重要な使用説明には気をつけてください。
2. 製品の設計には、絶えず検討を加えています。また、この取扱説明書を常に最新のものにするためのあらゆる努力を払っていますので、仕様と機器を予告なくいつでも変更する権利があるものとします。
3. 部品を交換される場合には、必ず金子農機の純正部品をご使用ください。
純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 乾燥機の設計、開発に当たっては、操作をする人の安全について特に注意を払っていますので、本機を改造したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. この製品の補修用部品の保有期間は、製造打ち切り後12年とします。
但し、保有期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。
6.  は、金子農機株式会社の商標です。
7. この取扱説明書の中で特に型式指定のない場合には、すべてが共通であります。

この取扱説明書の構成

取扱説明書の各章は、操作手順通りに構成されており、目的に応じて必要な部分を参照できるようになっています。

■第1章 概要説明

この乾燥機を取り扱う前の安全上の注意事項、乾燥における注意事項、火災予防上の注意事項ならびに本機に貼られている安全ラベルについて説明しています。

■第2章 主要諸元・外観寸法

この乾燥機の主要諸元ならびに本機の外観寸法について説明しています。

■第3章 各部の名称と働き

この乾燥機の本機、制御盤、安全装置とセンサー類および操作パネルの各部名称と働きならびに乾燥機の内部構造と穀物の流れについて説明しています。

■第4章 据付け

この乾燥機の据付け上の注意事項について説明しています。

■第5章 操作説明

この乾燥機の操作に必要な作業・手順について説明しています。

■第6章 点検・整備

この乾燥機の点検箇所と整備のしかたについて説明しています。

■第7章 掃除と保管

この乾燥機の掃除箇所と保管のしかたについて説明しています。

■第8章 故障診断と処置

この乾燥機の故障の原因と処置について説明しています。

■第9章 付属品とオプション品

この乾燥機の付属品とオプション品について説明しています。

■第10章 応急運転

異常ランプが点灯していないにもかかわらず、制御盤の各ボタンを押しても本機が起動しない場合の応急運転のしかたについて説明しています。

■第11章 緊急時の連絡先

トラブルが発生して復旧ができない場合の連絡先について説明しています。

目 次

	セクション
ご愛用の皆様へのご注意	i
この取扱説明書の構成	ii
目 次	iv
第1章 概要説明	1
製造番号	
まえがき	
安全上の注意事項	
一般的な安全ルール	
使用上の注意事項	
作業時の注意事項	
乾燥における注意事項	
火災予防上の注意事項	
安全ラベル	
第2章 主要諸元・外観寸法	2
第3章 各部の名称と働き	3
本機の名称と働き	
制御盤の名称と働き	
安全装置とセンサー類の名称と働き	
操作パネルの名称と働き	
バーナ部の名称と働き	
内部構造と穀物の流れについて	
第4章 据付け	4
据付け上の注意事項	

第5章	操作説明	5
	電源の入れ方と切り方	
	本機の停止とバーナの消火	
	運転の種類と動作	
	乾燥条件について	
	付属機能	
	シーズン前に	
	始動の前に	
	自動運転	
第6章	点検・整備	6
第7章	掃除と保管	7
第8章	故障診断と処置	8
第9章	付属品とオプション品	9
第10章	緊急運転	10
第11章	緊急時の連絡先	11

第 1 章

概要説明

製造番号	1-02
まえがき	1-03
安全上の注意事項	1-05
一般的な安全ルール	1-06
使用上の注意事項	1-09
作業時の注意事項	1-14
乾燥における注意事項	1-17
火災予防上の注意事項	1-19
安全ラベル	1-23

概要説明

製造番号

乾燥機の製造番号と制御盤番号などを下の欄に記録してください。

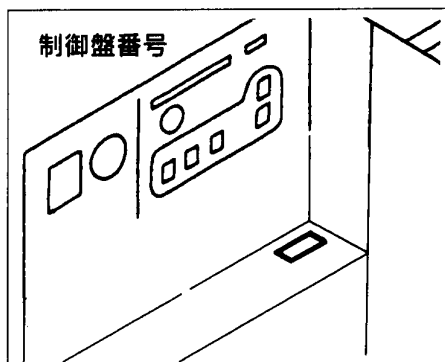
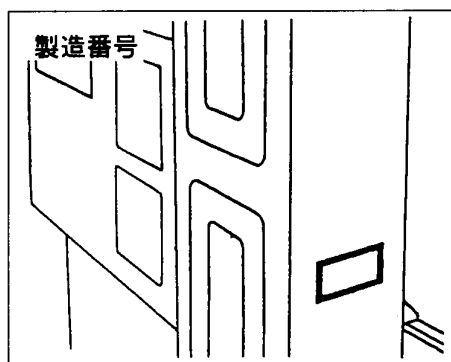
お買い上げの販売店に修理を依頼したり、部品を注文される時には、この製造番号を必ず一緒にご連絡ください。

製造番号： _____

制御盤番号： _____

型式名： _____

あなたの住所・氏名： _____



最寄りの弊社支店または、営業所の所在地、名称および電話番号

支店または営業所名： _____

所在地： _____

電話番号： _____

納入年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

保証期間： _____

まえがき

この取扱説明書には、乾燥機の運転操作、点検・整備ならびに掃除・保管の説明が記載されています。

また、本書内とラベルには、一貫してJIS 1 号灯油のことを‘灯油’と表記してあります。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためにいろいろな表示を使っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険**

……指示や手順を守らないと死亡もしくは重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**警告**

……指示や手順を守らないと重傷を負うあるいは、重大な製品の損害をもたらすおそれのある内容を示しています。

**注意**

……指示や手順を守らないと人が傷害を負うあるいは軽度な製品の損害をもたらすおそれのある内容を示しています。

その他の表示



⊘ 記号は、禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止事項（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



● 記号は、必ず守っていただきたい内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



ℹ 記号は、製品を取り扱う上で是非、知ってほしい内容を示しています。

概要説明

本書の目的は、あなたが乾燥機の運転操作、点検・整備および掃除・保管をどのようにおこなえば効果的でしかも安全であるかを述べたものです。従って、この取扱説明書どおりに乾燥機を取り扱っていただければよりながく、安全にお使いいただけるものと思います。

また、弊社の乾燥機をご納入申しあげた際、あるいは試運転指導にお伺いした際にはいろいろご説明いたしますので、運転操作や点検・整備ならびに掃除・保管のやり方が一層理解いただけると思います。

本書について理解しにくい点がありましてらお買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。いずれにしましても、この取扱説明書をよくご覧になってご理解いただくようお願いいたします。また、乾燥毎の点検を習慣づけ作業時間を記録するようにしてください。



本書に使用している参考イラストは、原型の乾燥機から取ったものであり、細部においては、標準品と異なる場合があります。

また、本書の参考イラストの中には、分かり易くするため、安全カバーを取り外したものがあります。乾燥機をご使用になる場合は、必ず安全カバーを所定の位置に取り付けてください。

乾燥の条件は、穀物の種類・品種・性状および環境により非常に違ってまいりますので、この取扱説明書だけでは、その条件に適した乾燥機の性能や操作方法を詳細にわたって明確に説明することはできません。

従って、本書で説明してあることが実際と違ったり、または説明していなかったために生じた損失や損害に関しては、その責任を負うことはできないことも御理解ください。

弊社の担当員は、各地域の状況や条件によって生じる特殊な問題についての知識を持ち、適切な指導ができるように準備しておりますので、皆様が特殊な条件や悪条件下でこの乾燥機を使用される場合には、必ず弊社担当員にご相談ください。

安全上の注意事項



安全上の予防措置

乾燥機の設計、開発にあたっては、操作をする人の安全について特に注意を払っています。そのため設計者はできる限り安全上の機能を組み込んでいます。次の取り扱い事項をよくお読みいただき、乾燥機の取り扱いを慎重におこない、事故を未然に防ぐようにしてください。

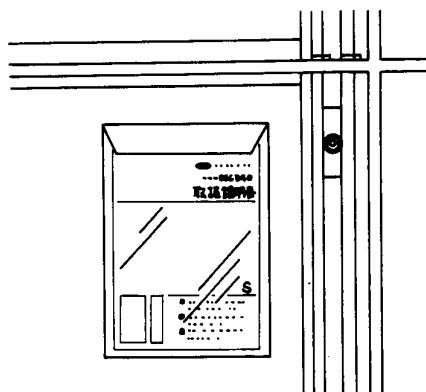
本書では、説明箇所を見易くするために参考イラストの中で安全カバーを取り外したものがあります。しかし、実際に乾燥機を操作する場合は、この状態で決しておこなわないでください。必ず、全ての安全カバーを所定の位置に取り付けてください。点検整備のために安全カバーの取り外しが必要な場合、作業終了後、直ちに元の位置にもどさなければなりません。

注意、警告、危険の安全ラベルが汚れたり、剥がれた場合は取り替えてください。新しいラベルは弊社に取り揃えてあります。上記安全ラベルの貼り付けてある場所は、本書P1-23を参照してください。

この型式と同じ中古の乾燥機をお買い上げいただいた場合は、本書P1-23を参照の上、安全ラベルが正しい位置に貼ってあるか、また読みにくくなっていないかを確認してください。

一般的な安全ルール

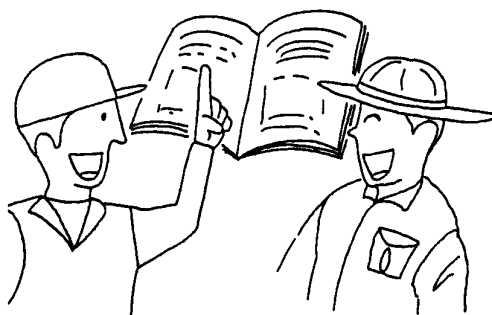
この取扱説明書は必ず、付属の取説収納ケース（マグネット付）に入れてすぐに取り出せる所（乾燥部前側板等）に貼り付けて置いてください。



本書は、よく注意して読み、乾燥機の安全で正しい取り扱いを理解してください。



他の人に乾燥機を運転操作させる場合は、必ず安全な運転操作方法を説明してからにしてください。



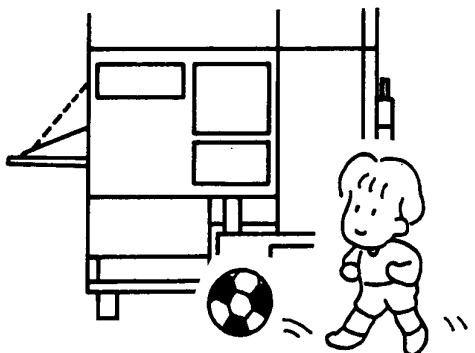
次のような人は、運転操作をしないでください。

- ①過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転操作ができない人
- ②酒気をおびた人
- ③妊娠している人
- ④若年者
- ⑤未熟練者



乾燥機の周りにはいる人、特に子供に気をつけてください。

乾燥機を移動したり、運転操作をおこなうときは、必ず周囲を確認してからにしてください。



概要説明

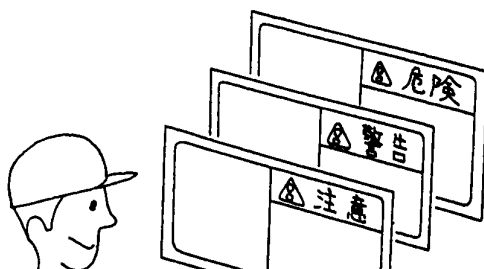
保護具を着用してください。

着用する衣服は乾燥機や周辺機器の可動部分に巻き込まれないように、上着の袖口を止めて、ズボンのスソをすっきりとしてください。また、足元はすべりにくい靴を着用してください。

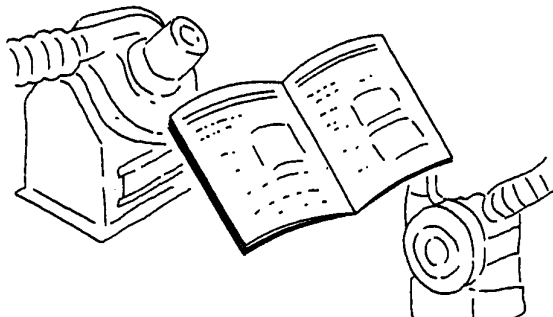


安全ラベルは全て、よく読み、理解するようにしてください。

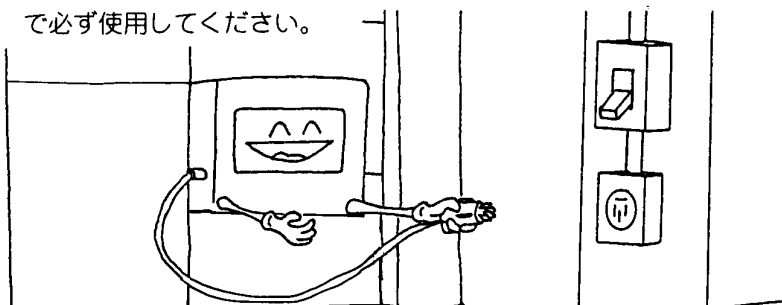
安全ラベルの貼り付けられている場所は、本書P 1-23を参照してください。



オプションを装着している場合、専用の取扱説明書の安全上の予防措置を必ず守ってください。



この乾燥機の定格電圧は、三相200Vです。また、電源電圧が180V～220Vの範囲で必ず使用してください。

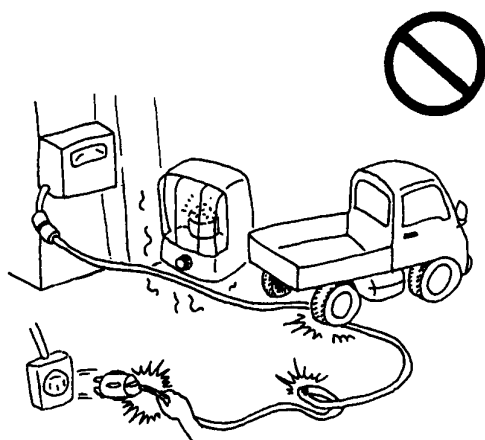


使用上の注意事項

⚠危険

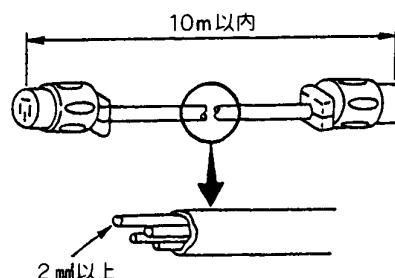
電源コードを破損するようなことはしないでください。

(傷つけたり、重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、ねじったり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください)



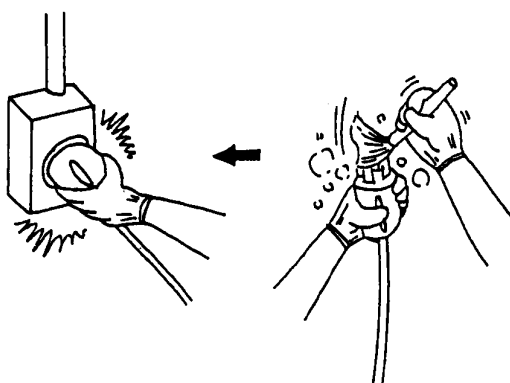
感電・火災の原因になります。

電源コードには、線芯が2mm以上、コードの長さが10m以内の電気用品の型式認定マーク  製品を使用してください。



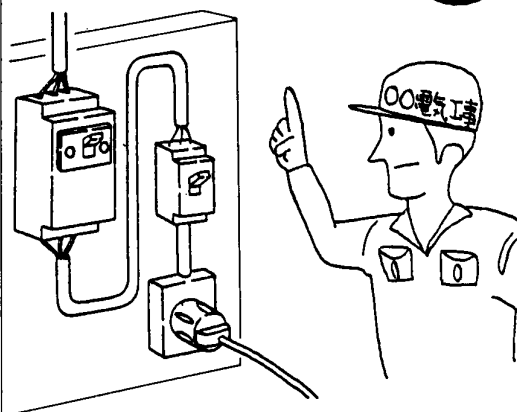
規格外のコードを使うと、感電・火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面のホコリを定期的に清掃し、ガタのないように刃の根元まで差し込んでください。



火災・漏電の原因になります。

屋内の配線、安全器、プラグの定期点検を電気工事店に依頼してください。

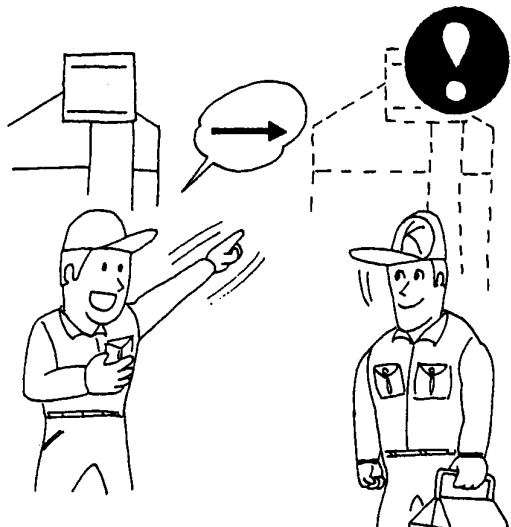


古くなると、火災・漏電の原因になります。

概要説明

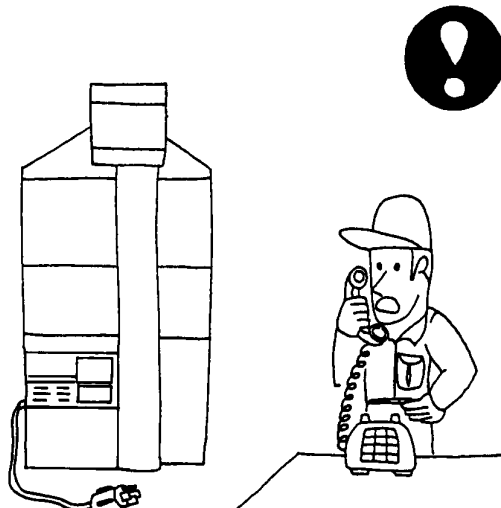
⚠危険

移設するときには、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にご相談ください。



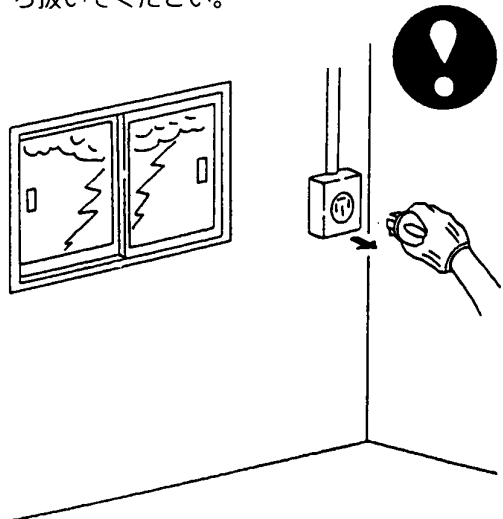
据付けに不備があると感電・火災などの原因になります。

異常時は、運転操作を中止し電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。



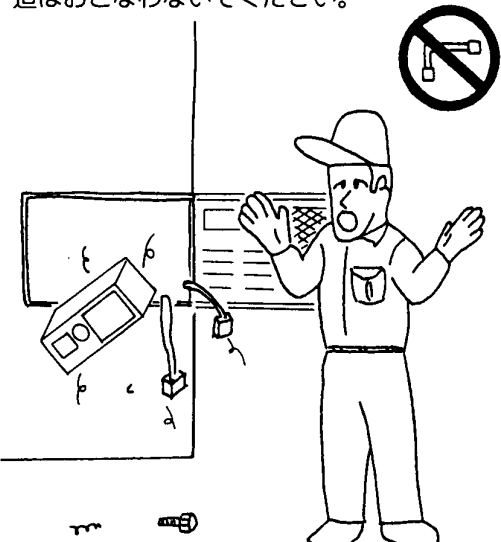
異常のまま運転操作を続けると感電・火災の原因になります。

雷が鳴り出したら電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜かずにおくと、制御装置焼損の原因になります。

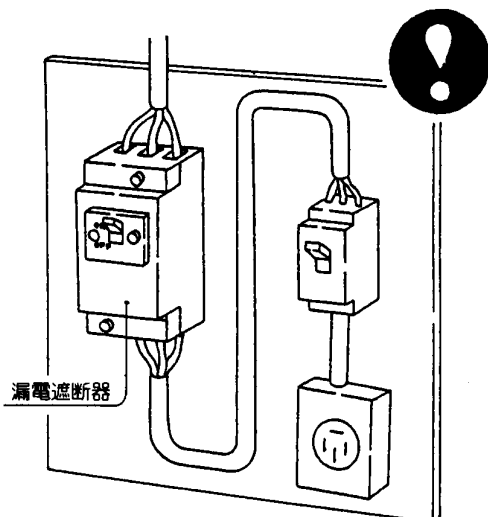
販売店以外の方は絶対に分解したり、修理改造はおこなわないでください。



分解・修理・改造に不備があるとケガをしたり、感電・火災の原因になります。

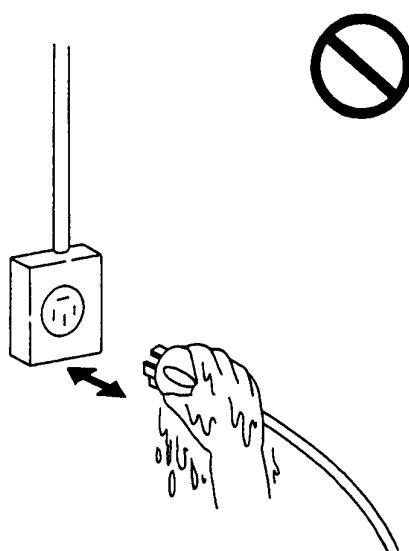
⚠ 警告

電源は、必ず漏電遮断器の装備されているコンセントからとってください。



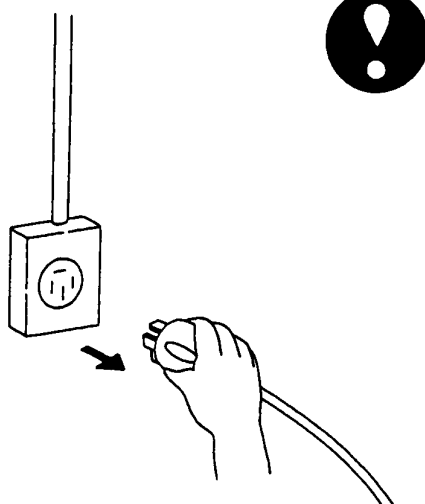
漏電遮断器が装備されていないと感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、ボタン操作をしないでください。



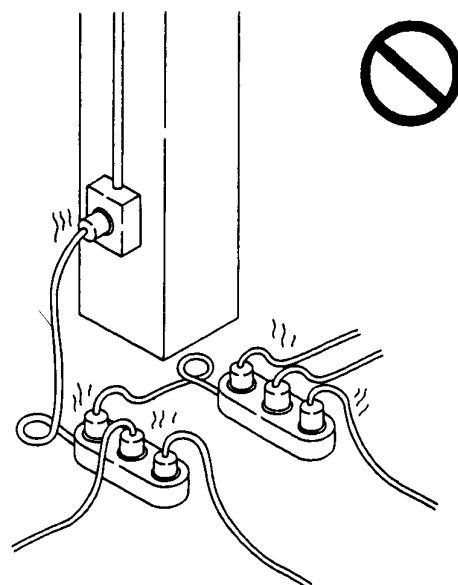
感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持っておこなってください。



電源コードを引っ張って抜くと発熱・発火の原因になります。

電源コードのタコ足配線はやめてください。



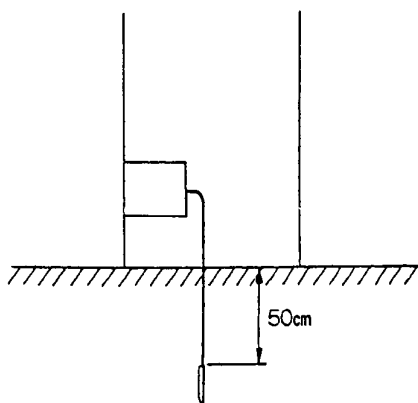
発熱・発火の原因になります。

概要説明

⚠ 警告

付属のアース線を必ず取り付けてください。

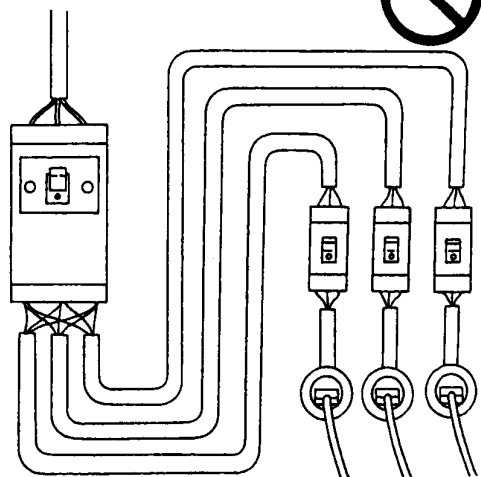
アース線は、ガスパ管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



アース線を取付けないと感電の原因になります。また、アース棒は地中に50cm以上埋めてください。

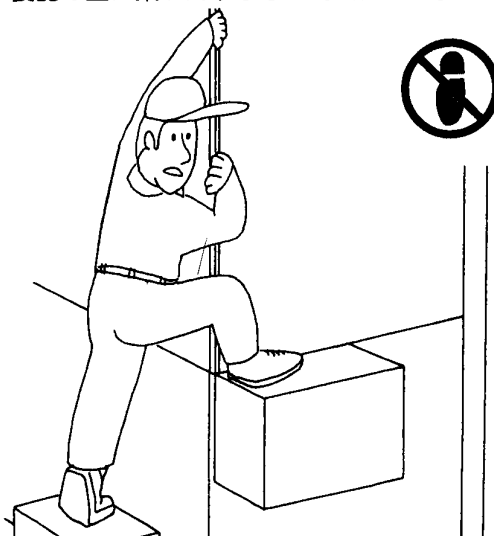
⚠ 注意

漏電遮断器の併用はやめてください。



1つの製品が漏電していると漏電遮断器が作動し、他の製品も停止してしまいます。

製品の上に乗ったりしないでください。



転倒・破損・落下などにより、ケガの原因になります。

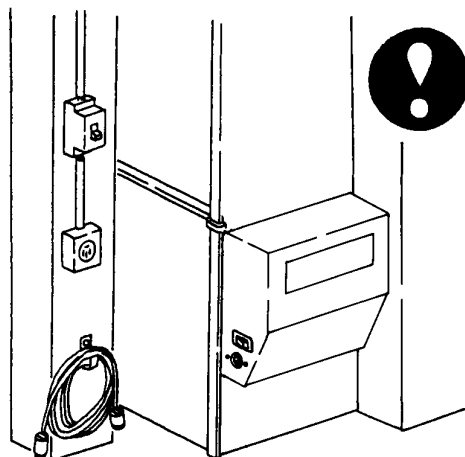
⚠️ 注意

夜間運転をするときには、隣家へ迷惑のかからないように十分配慮してください。



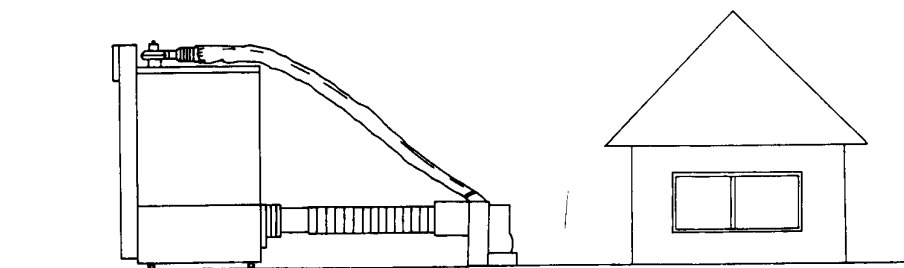
生活環境を守ることが大切です。

長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取扱者以外の人に触れて、誤使用が原因でケガをすることがあります。

排塵および排風の方は隣家へ迷惑のかからないように十分配慮してください。



洗濯物を汚したり、ノド・目を病める原因になります。



排塵および排風の方でお困りの場合には、オプションである排風エルボ、排風チャンバー、集塵装置（別売り）をおすすめします。

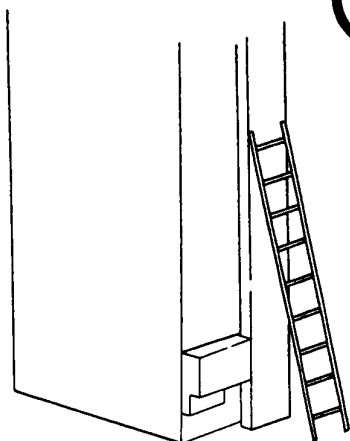
尚、詳細については、P9-04、05を参照してください。

概要説明

作業時の注意事項

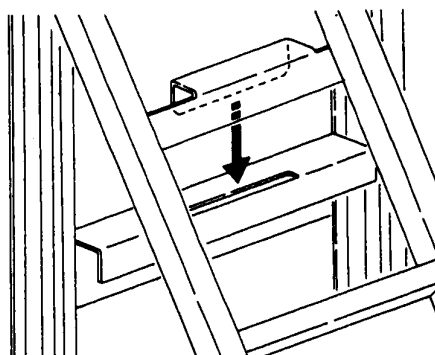
⚠危険

ハシゴは、ハシゴ掛け金具以外の場所に掛けて使用しないでください。



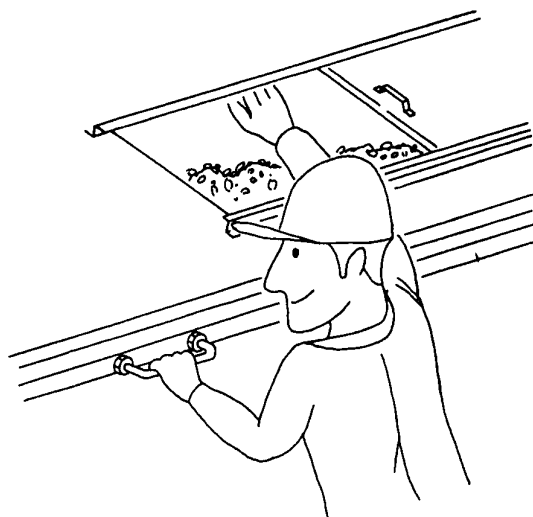
ハシゴが倒れて、死傷・重傷の原因になります。

ハシゴは、必ずハシゴ掛け金具に固定して使用してください。



ハシゴがハシゴ掛け金具に固定していないと倒れて、死傷・重傷の原因になります。

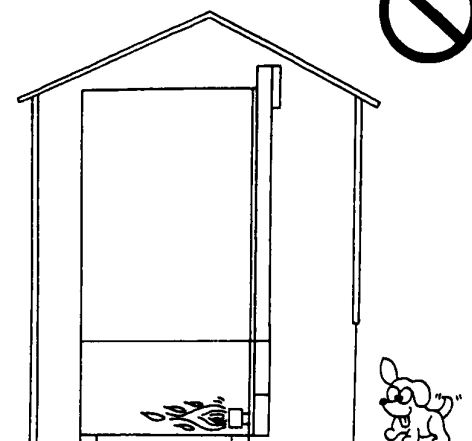
配穀調整は、上部カバーの取手をつかんでおこなってください。



落下して死傷・重傷の原因になります。

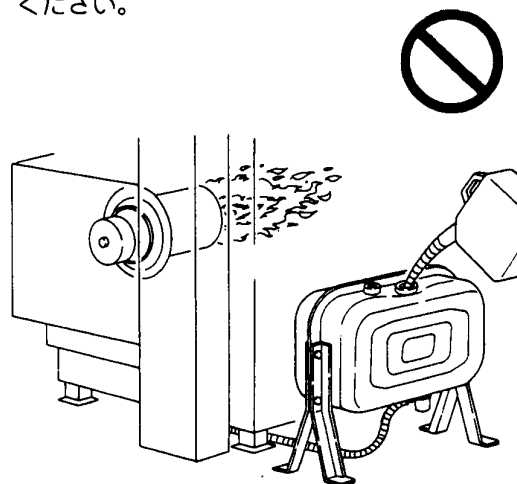
⚠危険

バーナが燃焼中は、できるだけ無人運転は、やめてください。



火災の原因になります。

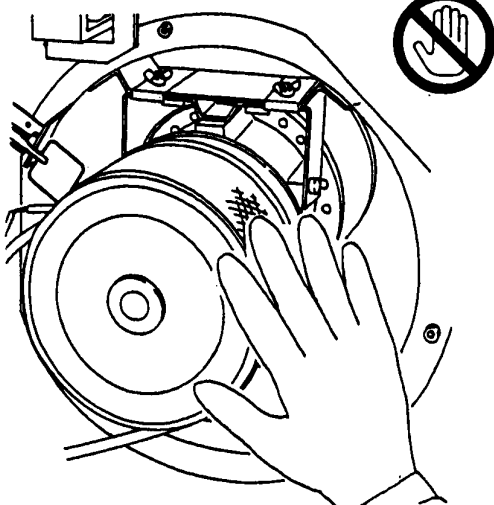
バーナ燃焼中は、燃料タンクに注油しないでください。



火災の原因になります。

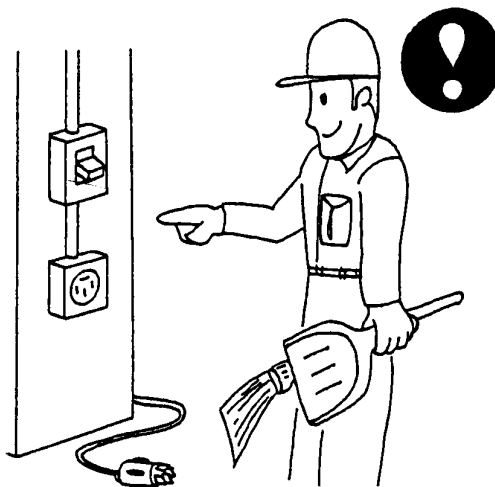
⚠警告

バーナが燃焼中や熱いあいだは、手をふれないでください。



ヤケドの原因になります。

点検・整備あるいは掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

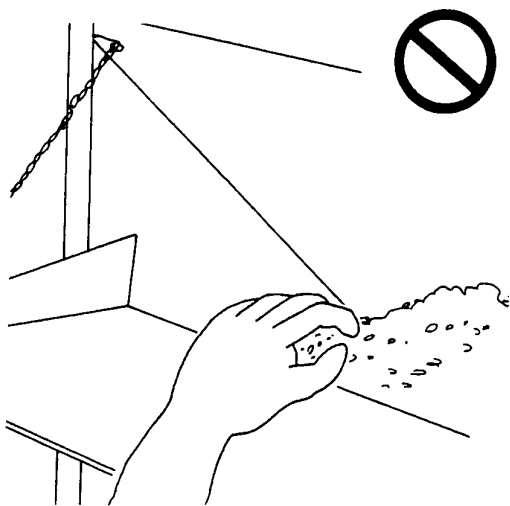


感電の原因になります。

概要説明

⚠️ 注意

粉・麦をホッパーから張り込むときには、手をホッパーの奥に入れないでください。



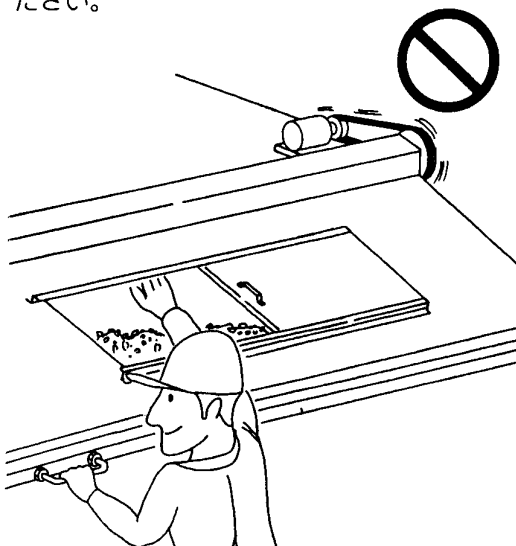
回転部に手が触れて、ケガの原因になります。

粉・麦の最大張り込量は守ってください。



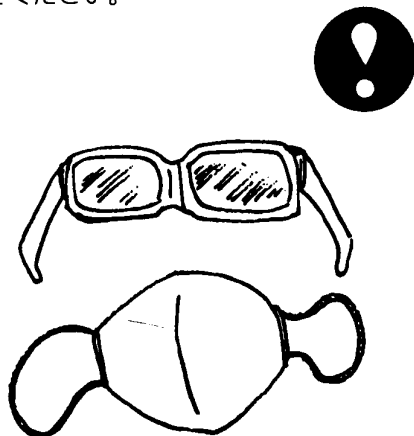
張り込みすぎると粉詰まりの原因になります。

本機が稼働中に配穀調整はおこなわないでください。



上部コンベアに手が触れて、ケガの原因になります。

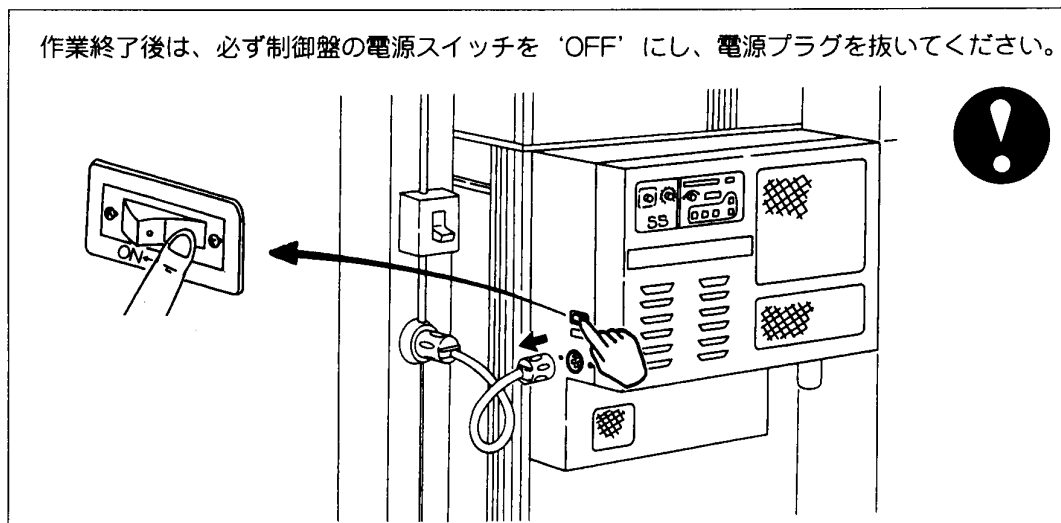
排出時には、目・口をメガネ・マスク等で防護してください。



ホコリによって目・のどを痛めることがあります。

⚠注意

作業終了後は、必ず制御盤の電源スイッチを 'OFF' にし、電源プラグを抜いてください。



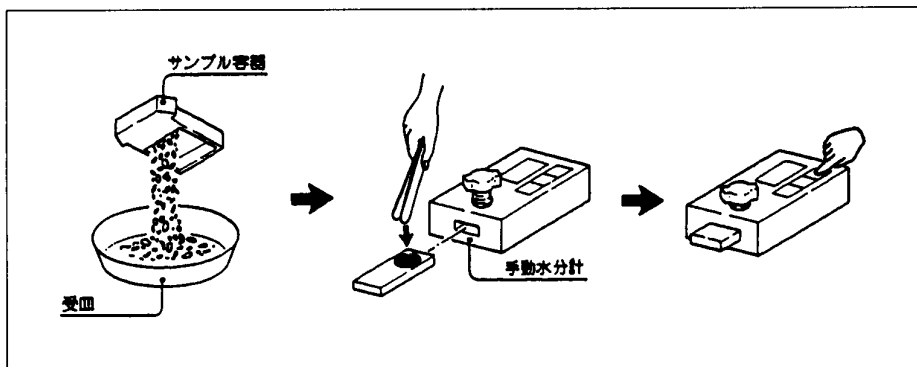
乾燥における注意事項

粉の乾燥について

1. 生粉にワラくずなどが多く混入していると、粉の流動性悪く、乾燥ムラや変質の原因となりますので、乾燥機に投入する前に再選別するなどして取り除いてください。
2. 生粉は刈取り後、直ちに乾燥機に投入し、乾燥機の容量満杯になるまでバーナに火をつけないで常温で通風循環してください。
3. 水分ムラの多い生粉を乾燥する、あるいは青米の混入率の多い場合には、バーナに火をつける前にできるだけ多くの通風循環時間を取るようにしてください。高水分の粉ほど、特に水分の高い青米などは乾く方向に向かい、水分ムラが緩和されます。
4. 次のような場合には、穀物量のセット値を実際に張り込まれている穀物量よりも '少なく' するかあるいは、温度調整ボリュームをマイナス側に回してください。熱風温度が基準熱風温度よりも低くなりゆっくり乾燥します。
 - (1) 刈取り適期が過ぎてしまい圃場での胴割れがみられる場合
 - (2) 胴割れしやすい品種の場合
 - (3) 冷害の影響を受けた粉・くず米・シイナ等が多く混入している粉の場合
 - (4) 酒米を乾燥する場合

概要説明

5. 張り込み量が6石未満の乾燥はおこなわないでください。熱風温度が下がらず粉の品質を損なう場合があります。
6. 乾燥終了後は、必ず手持ちの手動水分計で水分を確認し、水分表示誤差を補正してください。



7. 青米が多く混入している粉を乾燥した場合には、水分が戻ることがありますので、早めに粉すりをしてください。

麦の乾燥について

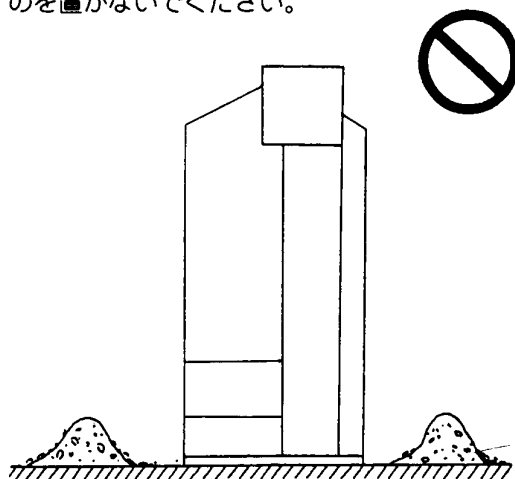
1. 麦にワラくずなどが多く混入していると、麦の流動性が悪く、循環ムラを起こしやすくなります。極端に多い場合には、乾燥機内の一部に固まって全く流れず発酵することもありますので、乾燥機に投入する前に再選別するなどして取り除いてください。
2. 高水分（28%以上）の麦は、刈り取らないようにしてください。高水分の麦を乾燥すると次のような弊害が生じます。
 - （1）刈り取り時や乾燥時に発芽障害を起こします。
 - （2）やわらかいので、脱皮して平たく変形したり粉碎したりなどの被害がでます。
 - （3）乾燥時間が長くなり燃料の消費が増大します。
 - （4）仕上り時の色や光沢が悪くなります。
 - （5）循環ムラをおこすことがあります。

火災予防上の注意事項

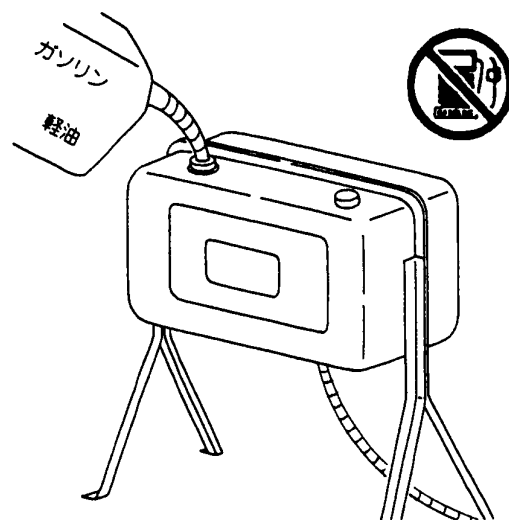
⚠ 危険

火災の原因となりますので、火災予防上の注意事項を守ってください。

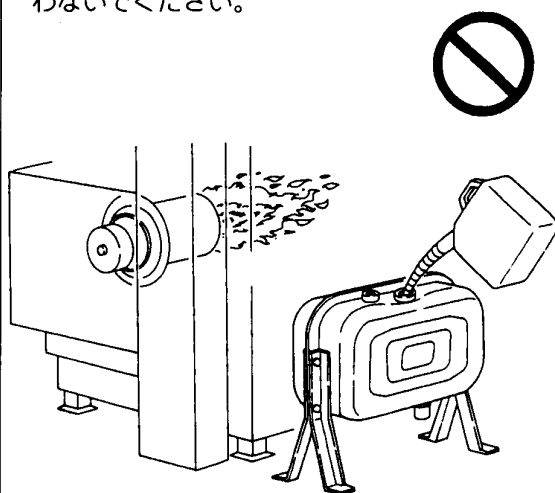
乾燥機の周りは、いつも清掃し燃えやすいものを置かないでください。



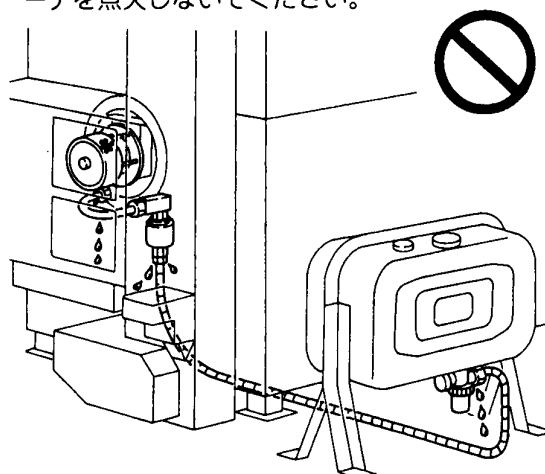
灯油以外の燃料は使わないでください。



バーナの燃焼中や熱いあいだの注油はおこなわないでください。



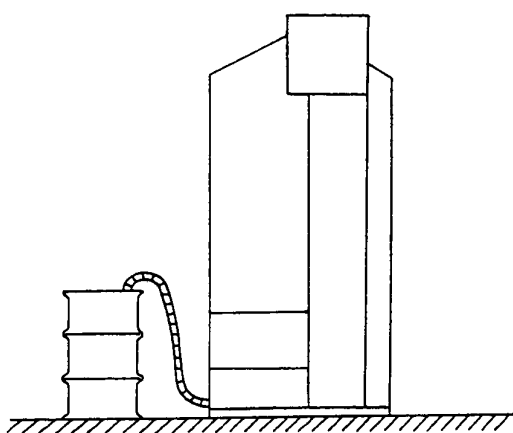
燃料系統部分から油洩れがあるときには、バーナを点火しないでください。



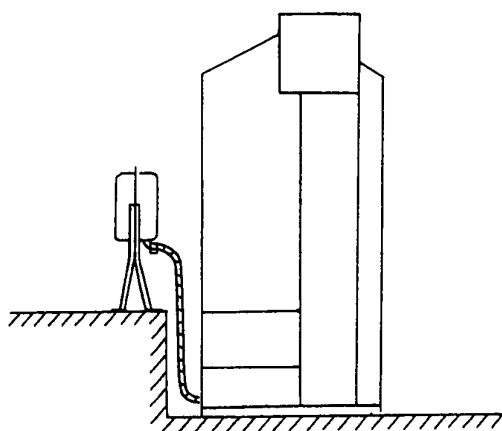
概要説明

⚠危険

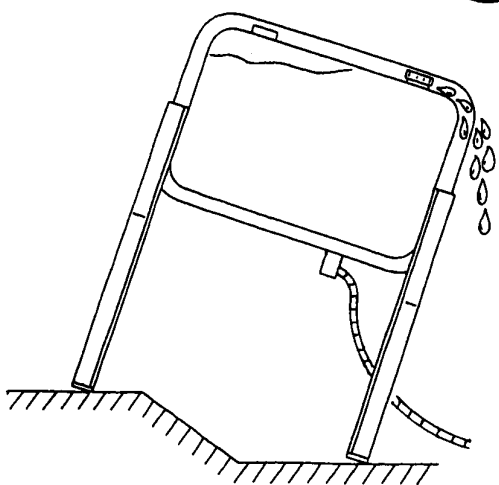
ドラム缶からの配管は、やめてください。



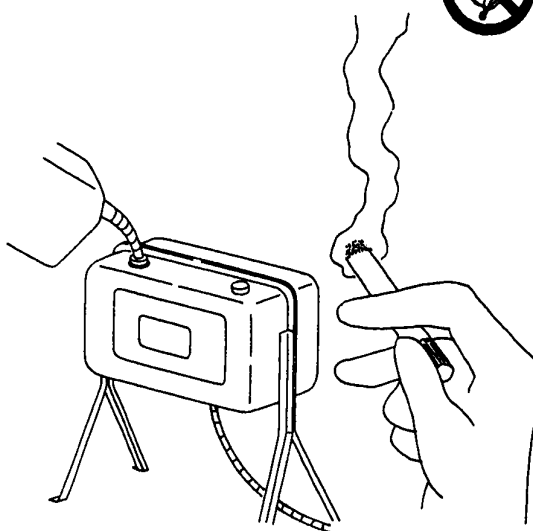
燃料タンクは、本機の据付け面とは異なる所には、据付けしないでください。



燃料タンクは、水平でない所には据付けしないでください。

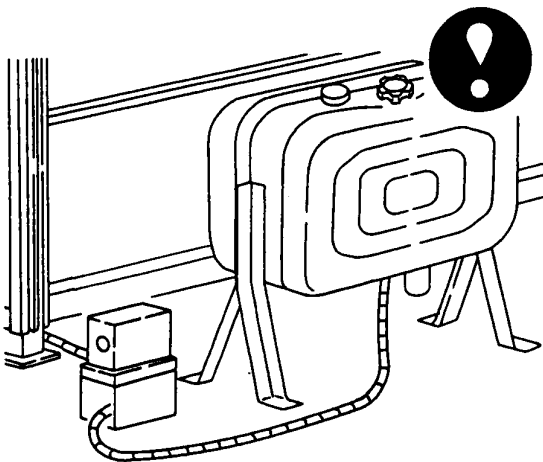


注油時あるいは、燃料系統の点検・整備時には火気を近づけないでください。

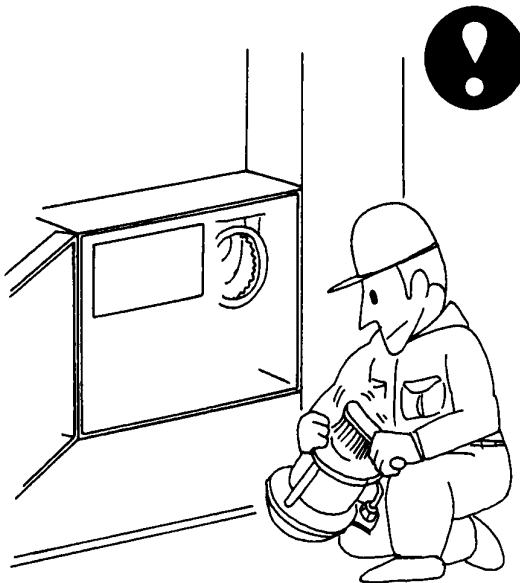


⚠危険

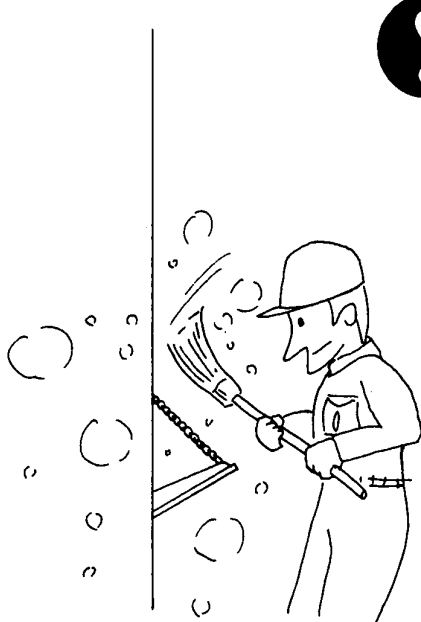
ホームタンク等を使用して、集中配管するときには必ず定レベル装置を装備してください。



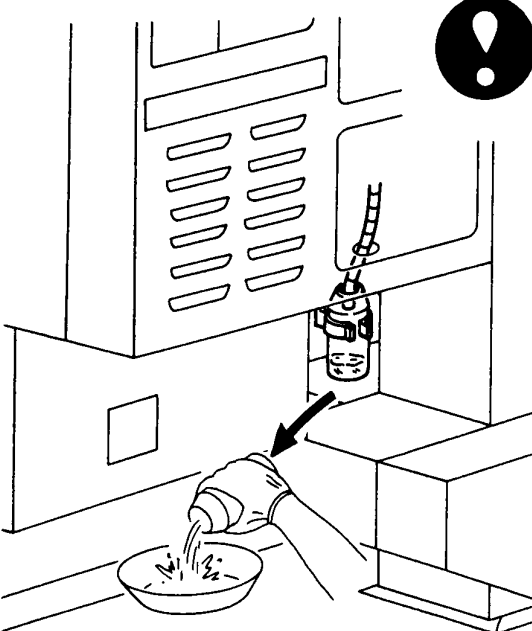
定期的にバーナの分解掃除を必ずおこなってください。



シーズン終了後、本機内の掃除を必ずおこなってください。



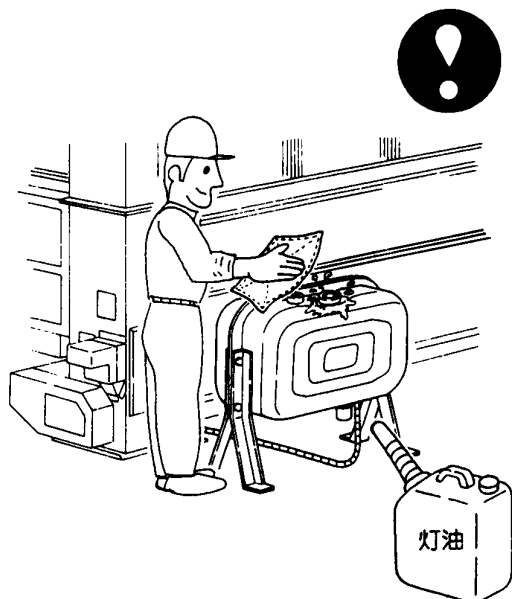
油受け容器にオーバーフローした灯油は、あふれる前に処理してください。



概要説明

⚠危険

こぼれた燃料は、必ず拭き取ってください。
(注油している時、油洩れがある時など)



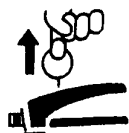
消火器は、すぐに使える所に装備してください。



万一、火災が発生した場合には備え付けの消火器を使用してください。
消火器の使用方法は、下記の通りです。

使用方法

1 安全栓をを引き抜く



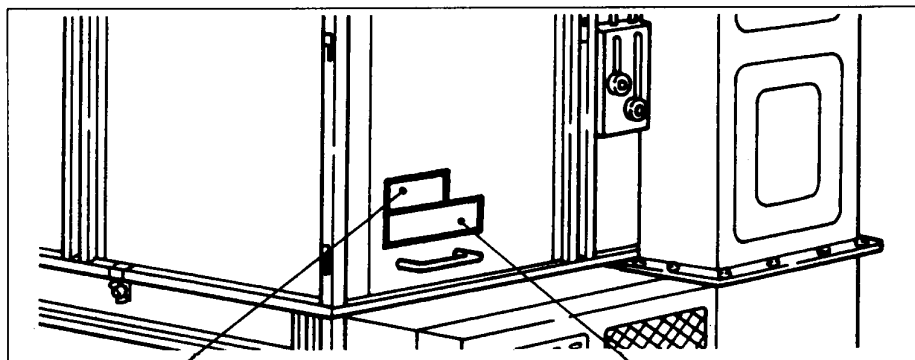
2 ノズルを火元に向ける



3 レバーを強くにぎる

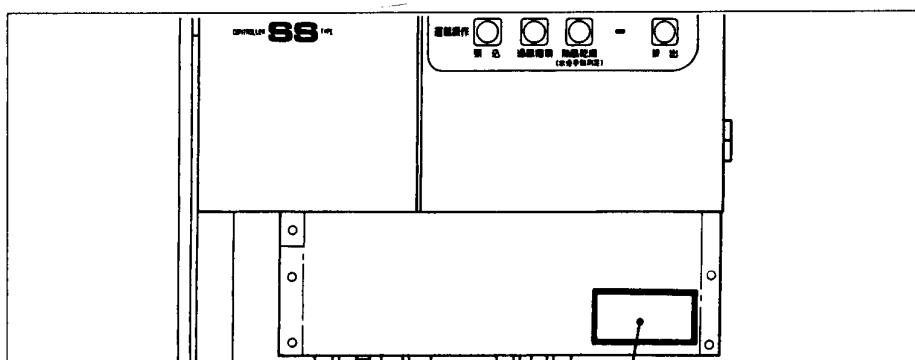


安全ラベル



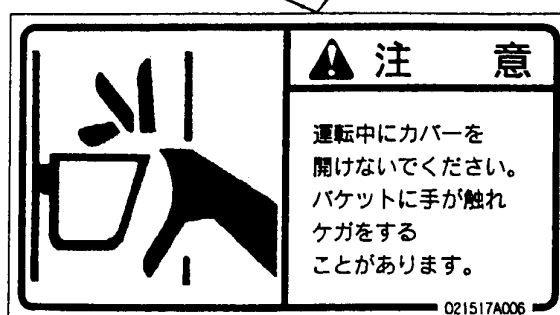
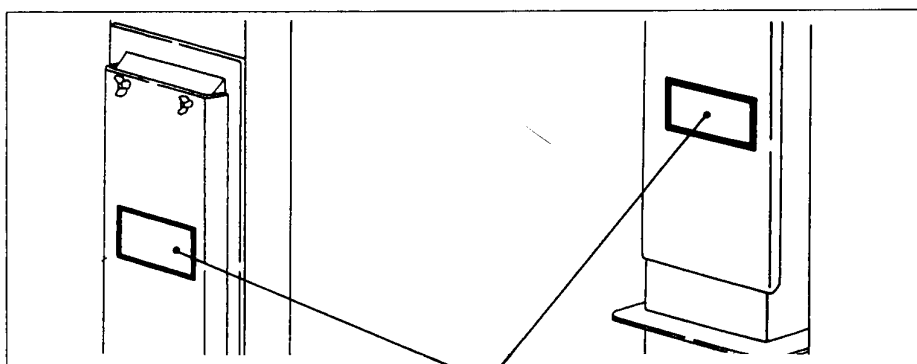
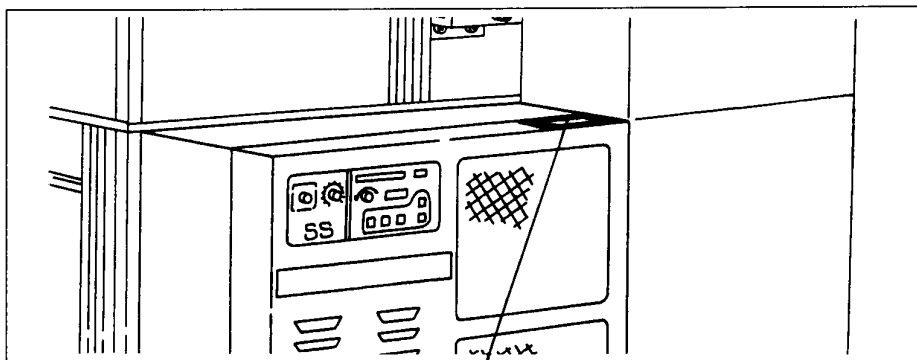
	危険 火災予防上の注意をよく読み、理解してください。 1. 乾燥機の周りには、常に可燃し燃えやすいものを置かないでください。 2. 乾燥機には、灯油以外は絶対に使用しないでください。 3. パーナが燃焼していたり、熱い煙の発生はあこなわないでください。 4. 燃料系統部分から灯油が漏れている場合は、直ちにしないでください。 5. 燃料は、ドラム面より奥側とらないでください。 6. 油受け容器に溜まった灯油は、一掃になる前に処理してください。 7. 漏火時は、所定の場所に消火し、取り扱い上の注意を必ずもってください。 021507A003
--	---

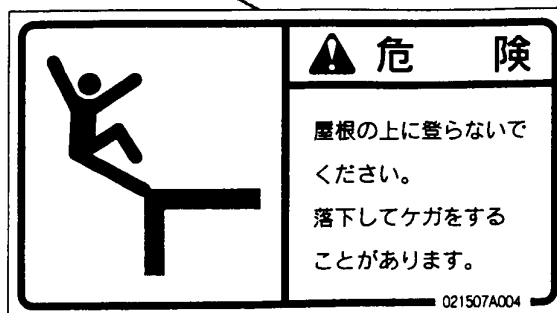
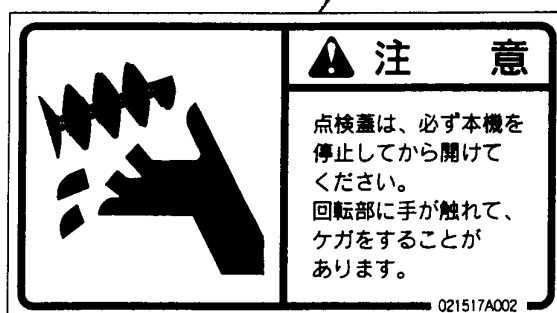
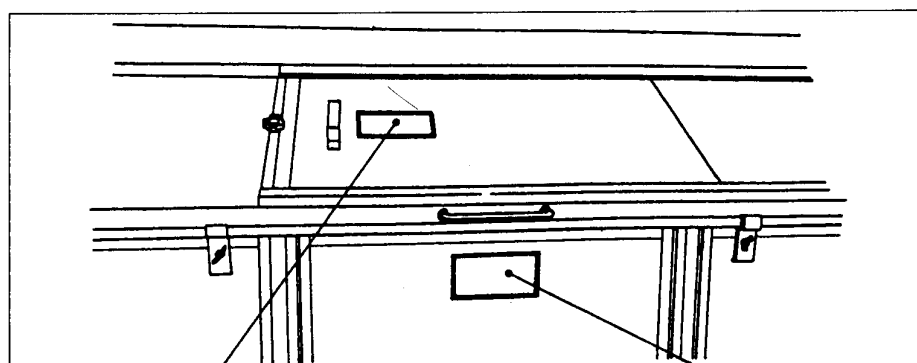
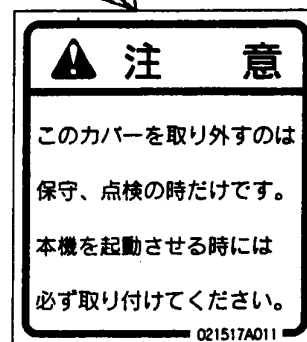
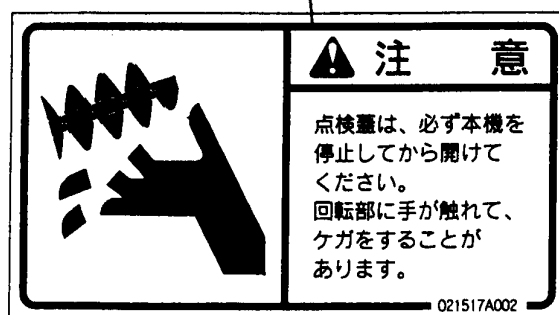
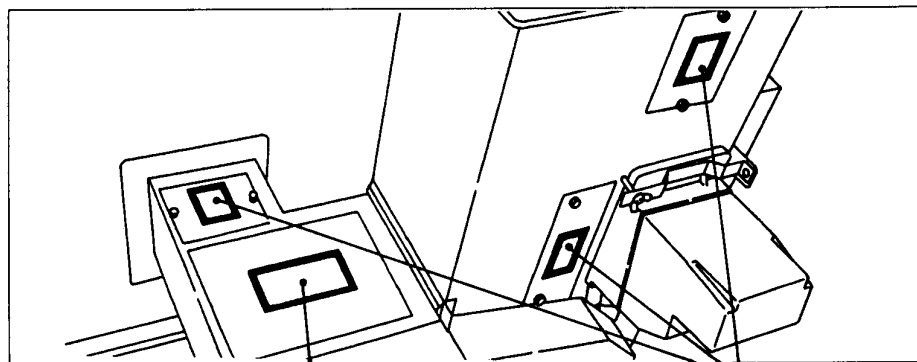
	注意！ 乾燥機の運転操作をする前に各部分の取扱説明を十分に納得してください。 1. 乾燥機を起動する前に、乾燥機の付近に他の人がいないことを十分に確認してください。 2. 乾燥機を起動する前に、乾燥機各部の安全カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。 3. 手、足、衣服などが回転部分に接近しないように十分にご注意をお願いします。 4. 電源・点検は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。 5. パーナ部の整備・点検は、パーナが冷えてからおこなってください。 6. 運転終了後は、制御盤の電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。 021517A004
--	---



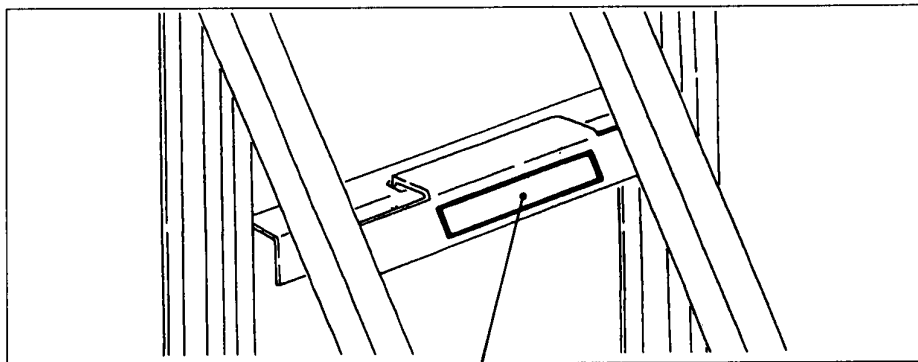
	警告 感電防止カバーは電源コードを抜いてから取り外してください。感電するおそれがあります。 021509A003
--	--

概要説明





概要説明

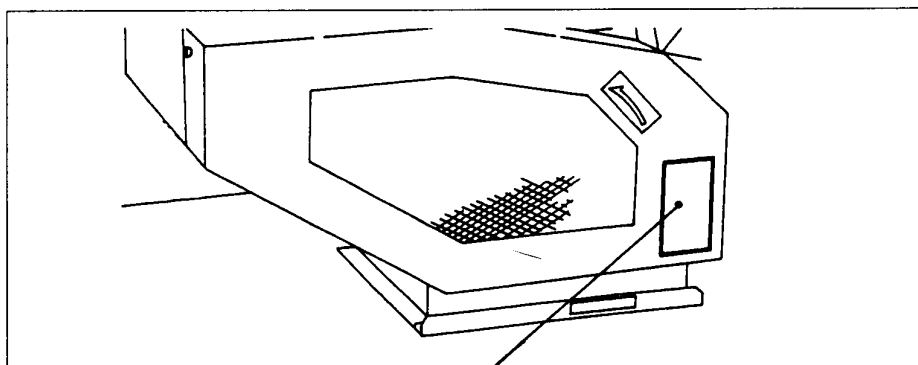




危 険！

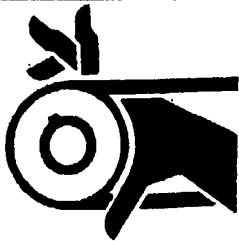
ハシゴは、指定箇所以外には絶対に掛けないでください。
ハシゴが倒れて転落することがあります。

021507A002



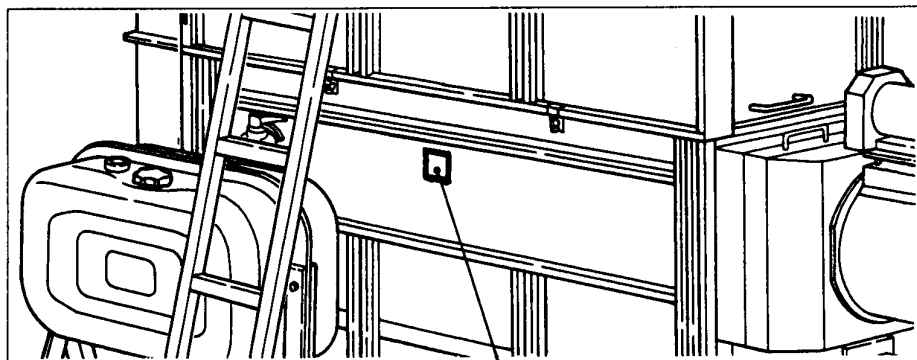


注 意

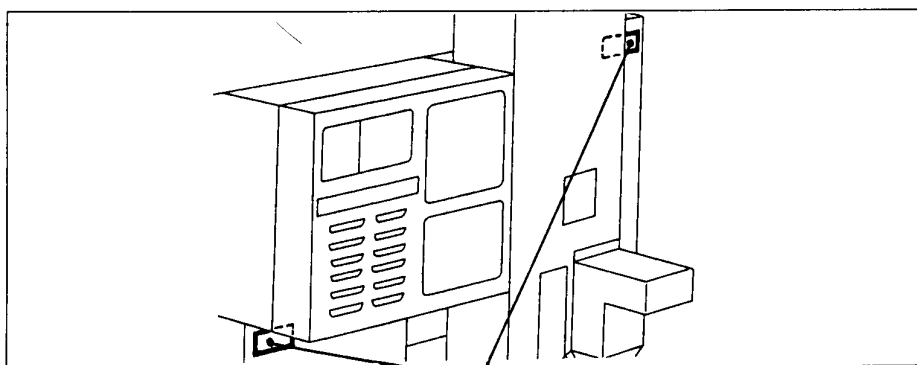


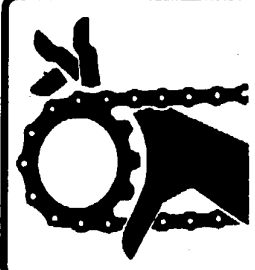
運転中にカバーを
開けないでください。
ベルトに手が触れて
ケガをすることが
あります。

021517A007

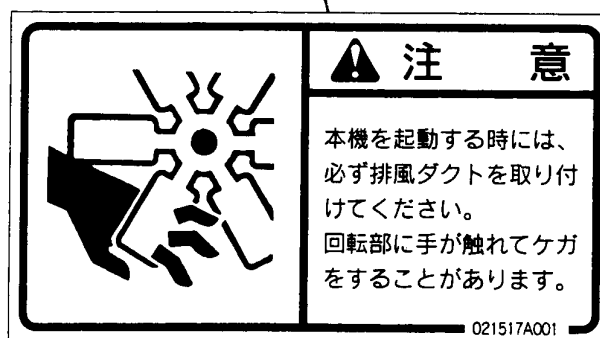
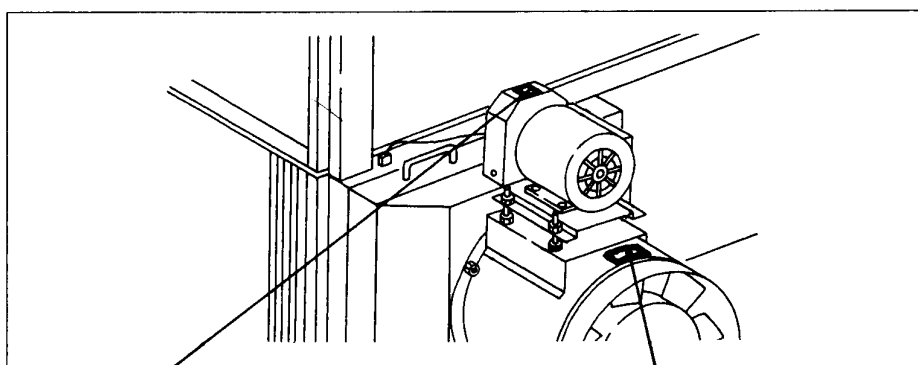
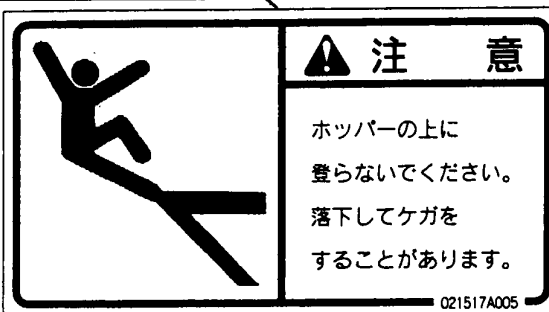
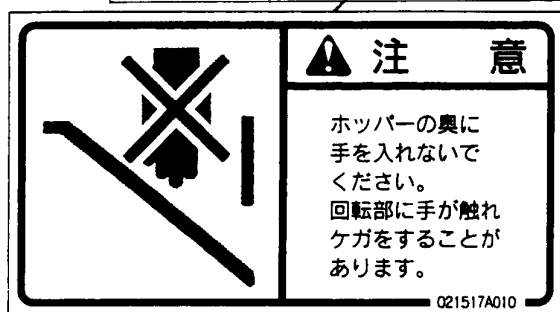
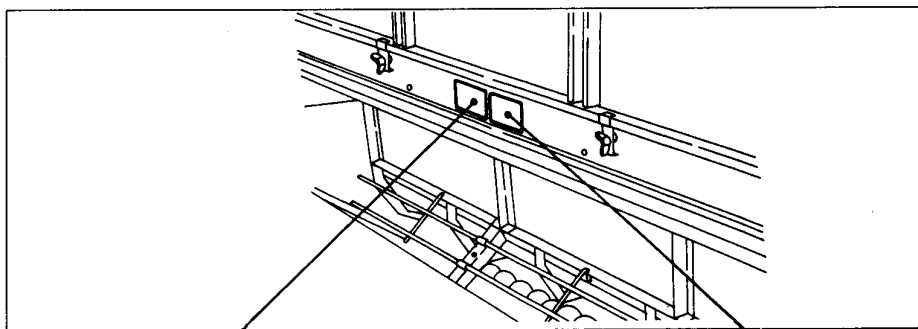


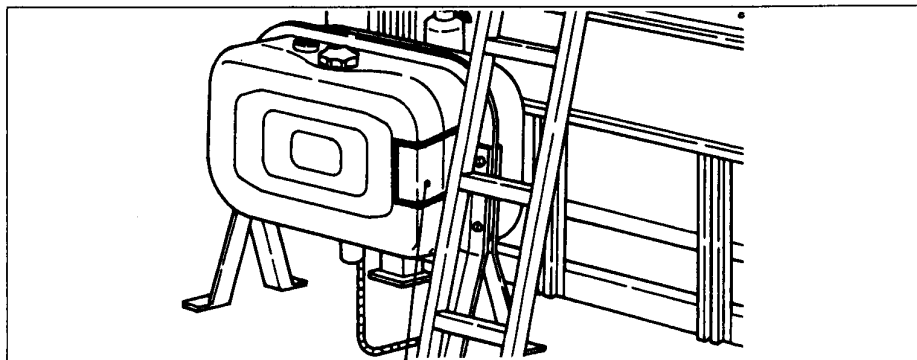
⚠ 注 意	
このカバーを取り外すのは 保守、点検の時だけです。 本機を起動させる時には 必ず取り付けてください。	
021517A011	



⚠ 注 意	
	運転中はカバーを 開けないでください。 チェーンに手が触れ ケガをする ことがあります。
021517A008	

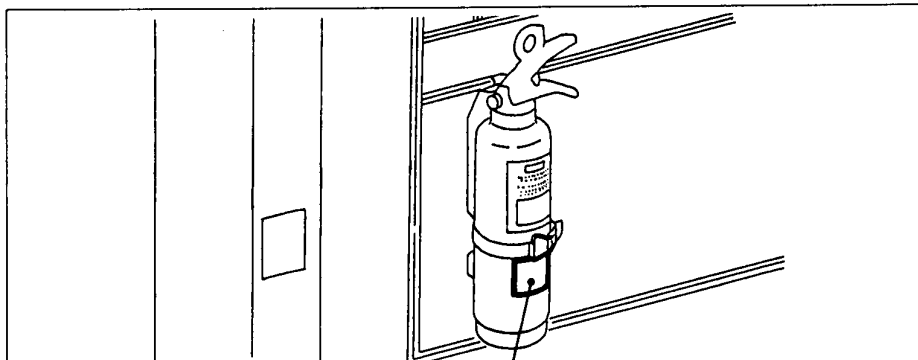
概要説明





ご使用の前に良くお読みになり、理解してください。	
▲危険	ガソリン 使用禁止 このタンクは、灯油専用のタンクです。 ガソリンは絶対に使わないでください。 火災となる恐れがあります。 
	火 気 厳 禁 給油中の喫煙、裸火、スパーク等は絶対に行わないでください。引火の恐れがあります。 
▲警告	1. バーナ燃焼中の給油は、絶対に行わないでください。 引火の恐れがあります。
▲注意	1. 灯油は、油量計を見ながら「満」の目盛りまで入れてください。 燃料タンク容量 SST-95L 88ℓ EBT-92H 83ℓ 2. 給油中にこぼれた灯油は、必ず拭き取ってください。 3. 燃料タンクの上には絶対に乗らないでください。 4. 給油は、送油バルブのコックを開め、給油口のフィルターを外さずにおこなってください。 5. 送油バルブのカップに水が溜まった場合は、コックを閉じカップを取り外して灯油で洗浄してください。 6. 燃料タンクは内部を灯油で洗浄し送油バルブを閉じホコリのかからぬよう保管してください。

概要説明



使用上のご注意	
消火器は圧力容器です。[取扱説明書]をよく読んでご使用ください。	
⚠ 危険  サビ・キズ・変形・キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。容器の破裂等により重大な人身事故発生の恐れがあります。	⚠ 警告 ● 人に向かって絶対に放射しないでください。 ● 呼吸困難や危害発生の恐れがあります。 ● 法で定められた点検を定期的に行ってください。 ● ご家庭でも5年を目安に点検してください。 ● 製造から8年の耐用年数を過ぎたものは使用しないでください。
⚠ 注意 ● 設置場所は高温多湿の場所は避けてください。 ● 消火器は初期消火の器具です。消火範囲に限りがあります。 ● 適応火災はプレートの表示マークでご確認ください。燃焼物によって適・不適があります。 ● 火元に近すぎるとヤケドの恐れがあります。距離をおいて消火活動をしてください。 ● 消火器を廃棄する場合は必ず販売店か製造元にご相談ください。	

第 2 章

主要諸元・外觀寸法

主要諸元…………… 2-02

外觀寸法…………… 2-03

主要諸元・外観寸法

主要諸元



- (1) 張込・排出時間は、穀物の性状によって変動します。
 (2) 排出スロフによる排出の場合には、排出時間が変動します。

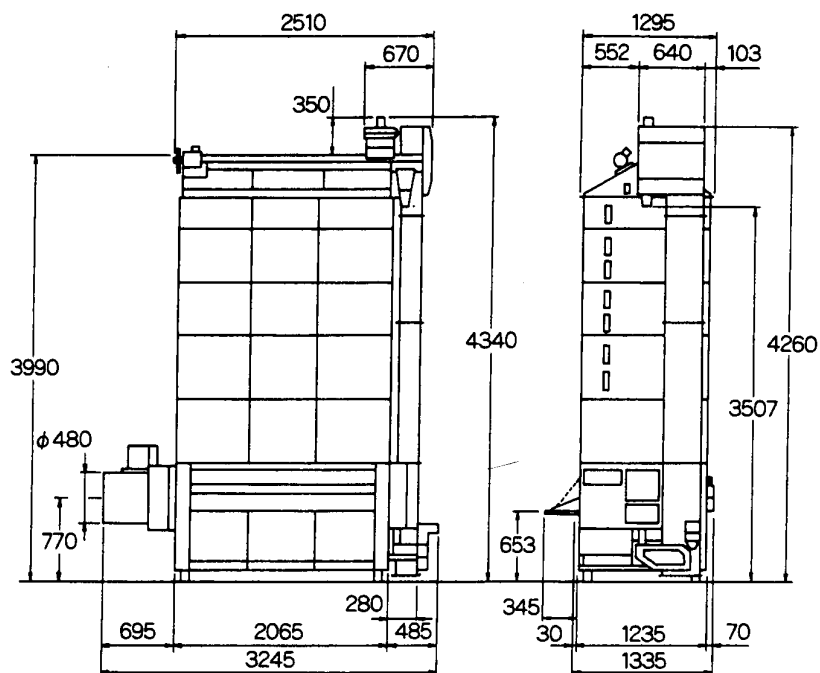
型 式 名		SSC340		
区 分		S		
穀 と物 処の 理種 量類	粉 (kg) (容積重560kg/m ³)	650~3430		
	麦 (kg) (容積重680kg/m ³)	800~4160		
機 体 質 量 (重 量) (kg)		830		
送 風 機	型 式	KFW-480C		
	形 式	軸流式 (ダブルファン)		
機	吐 出 口 径 (mm)	φ480		
	常 用 回 転 数 (r.p.m)	1220		
火 炉	種 類	ロータリー噴霧式 (燃焼空気自動制御型)		
	点 火 方 法	自動給油・自動点火		
	燃 焼 量 (l/時)	1.1~4.1		
使 用 燃 料		JIS 1号灯油		
燃 料 タ ン ク 容 量 (l)		95		
所 要 動 力	定 格 電 圧 (V)	三相-200		
	定 格 出 力	搬 送 (Kw)	0.75	
		送 風 機 (Kw)	1.0	
		繰 出 し (Kw)	0.065	
		排 塵 機 (Kw)	0.06	
		バ ー ナ (Kw)	0.02	
		水 分 計 (Kw)	0.008	
		バーナファン (Kw)	—	
		シ ャ ッ タ ー (Kw)	—	
		制 御 盤 (Kw)	0.06	
	別 売 ス ロ フ (Kw)	1.0		
最大同時使用電力 (Kw)		1.963 (別売スロフ使用時=1.935)		
性 能	張 込 時 間	粉 (分)	26~28	
		小麦 (分)	26~28	
	排 出 時 間	粉 (分)	30~36	
		小麦 (分)	28~34	
	毎 時 乾 減 率	粉 (%/時)	0.6~0.9	
		小麦 (%/時)	0.7~1.1	
諸 装 備	安 全 装 置	サーマルリレー フレームアイ	風圧スイッチ ヒューズ	熱風温センサー
	標 準 装 備	自動水分計 消火器	排塵機	ハシゴ
安全鑑定適合番号		申請中		

主要諸元・外観寸法

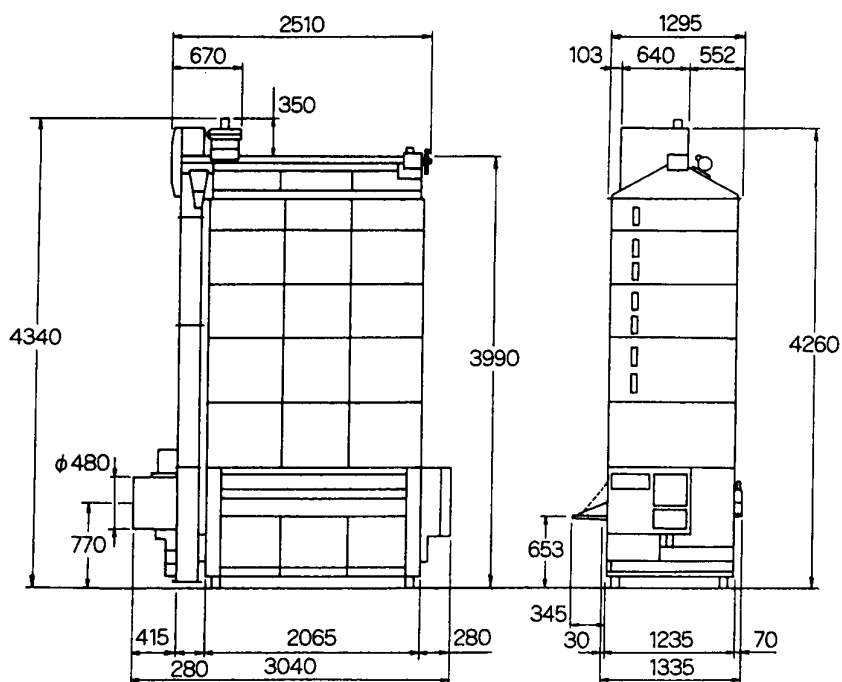
外観寸法

(単位：mm)

昇降機を前面に取り付けた場合



昇降機を後面に取り付けた場合



第 3 章

各部の名称と働き

本機の名称と働き……………	3-02
制御盤の名称と働き……………	3-04
安全装置とセンサー類の 名称と働き……………	3-05
操作パネルの名称と働き……………	3-06
バーナ部の名称と働き……………	3-07
内部構造と穀物の 流れについて……………	3-08

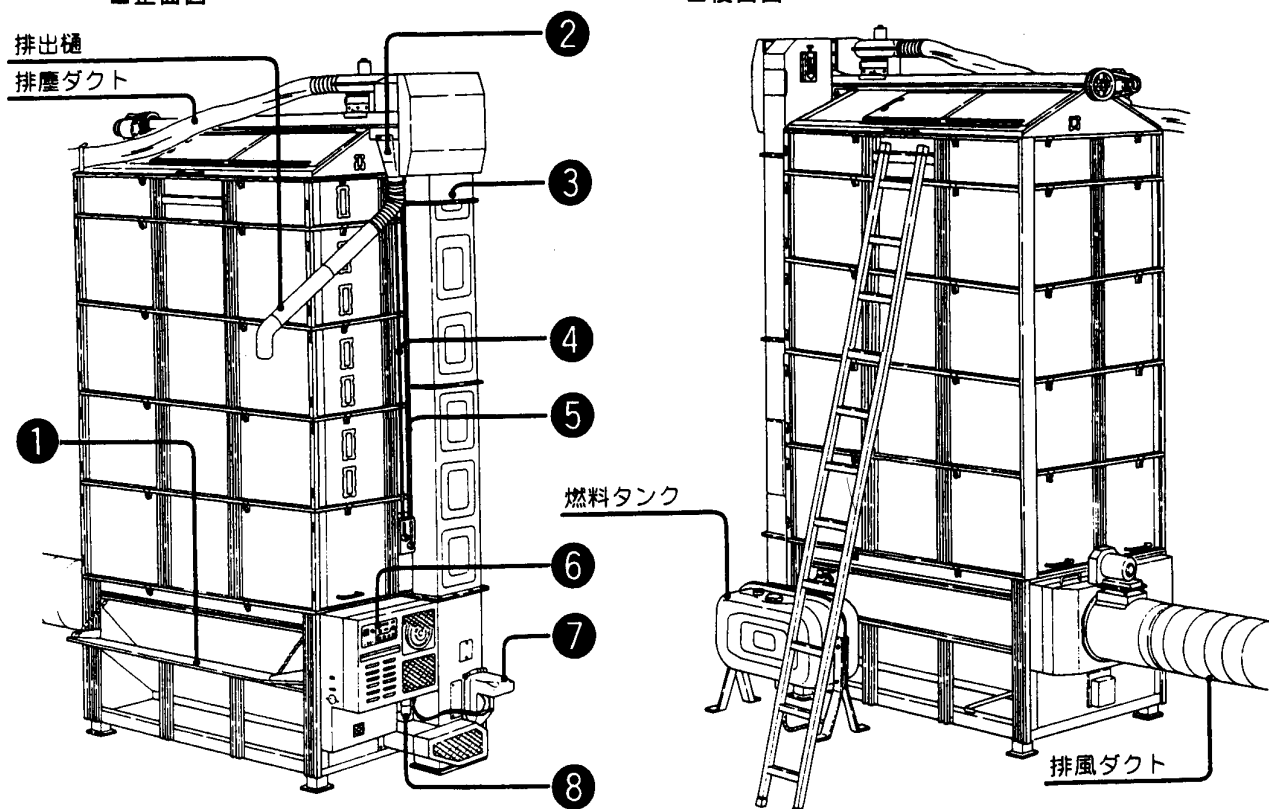
各部の名称と働き

本機の名称と働き

1. 昇降機前面組付時

■正面図

■後面図

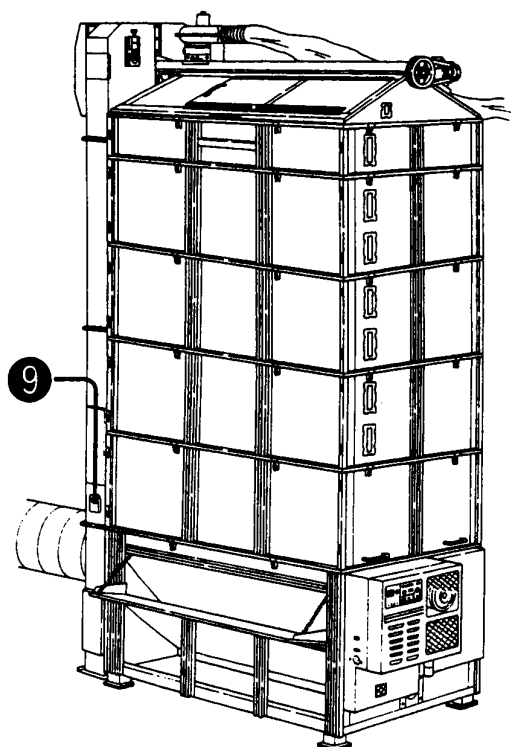


No.	名 称	働 き
①	側面張込ホッパー	ここから粉・麦を張り込みます。  右側に付け替えることもできます。
②	元 樋	排出時に内部のシャッター板が開いて粉・麦がここから排出されます。
③	昇 降 機	内蔵されているバケットで粉・麦を下から上に搬送します。
④	排出シャッターレバー	粉・麦を排出する時に操作します。
⑤	上部コンベア残米処理レバー	上部コンベア樋内部の残留物を取り除くことができます。
⑥	制 御 盤	ボタン操作で本機の起動、停止することができます。(詳細はP3-06を参照ください。)
⑦	検 出 器	粉・麦の水分を測定します。

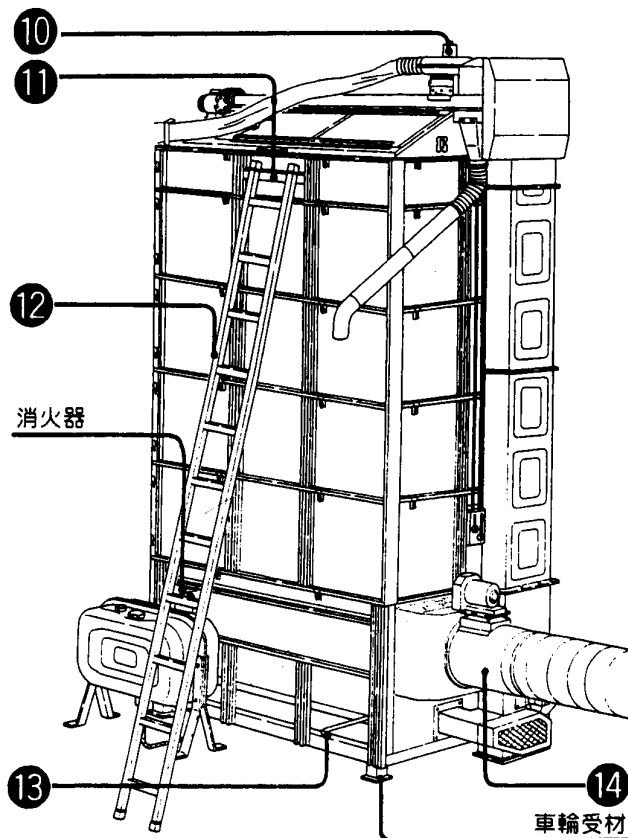
各部の名称と働き

2. 昇降機後面組付時

■正面図



■後面図

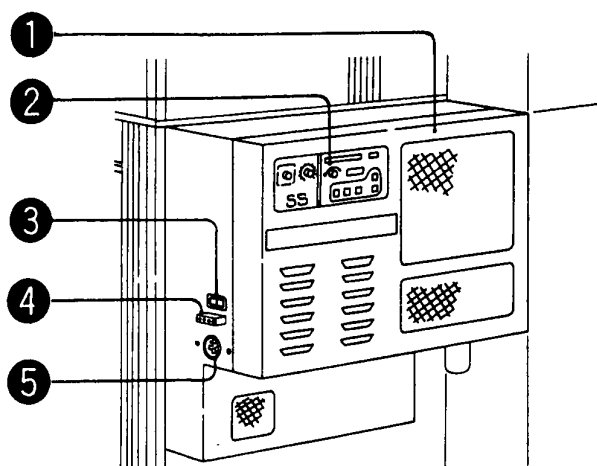


No.	名 称	働 き
⑧	油受け容器	バーナからオーバーフローした灯油を受ける容器です。
⑨	サンプル容器	乾燥中の粉・麦の取り出しができます。
⑩	排塵機	粉・麦の内部に混入しているゴミ・ホコリを取り除きます。
⑪	ハシゴ掛け金具	ハシゴを本機に固定する場所となります。
⑫	ハ シ ゴ	配穀調整をおこなう時に使用します。
⑬	下部コンベア残米処理レバー	下部コンベア樋内部の残留物を取り除くことができます。  左側に付け替えることもできます。
⑭	送風機	粉・麦に当たっている熱風を吸引すると共にゴミ・ホコリを取り除きます。

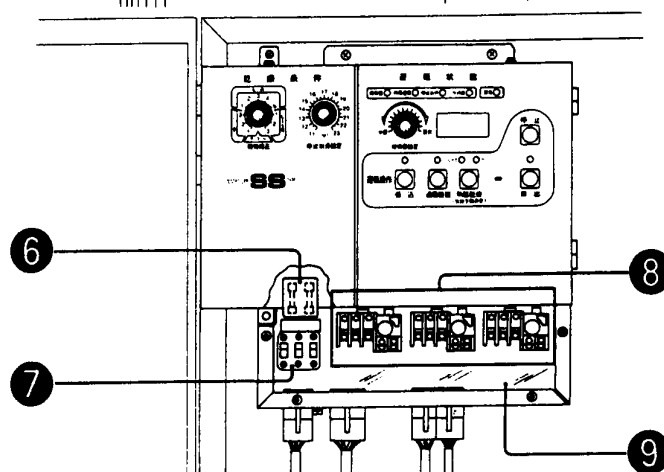
各部の名称と働き

制御盤の名称と働き

■外觀図



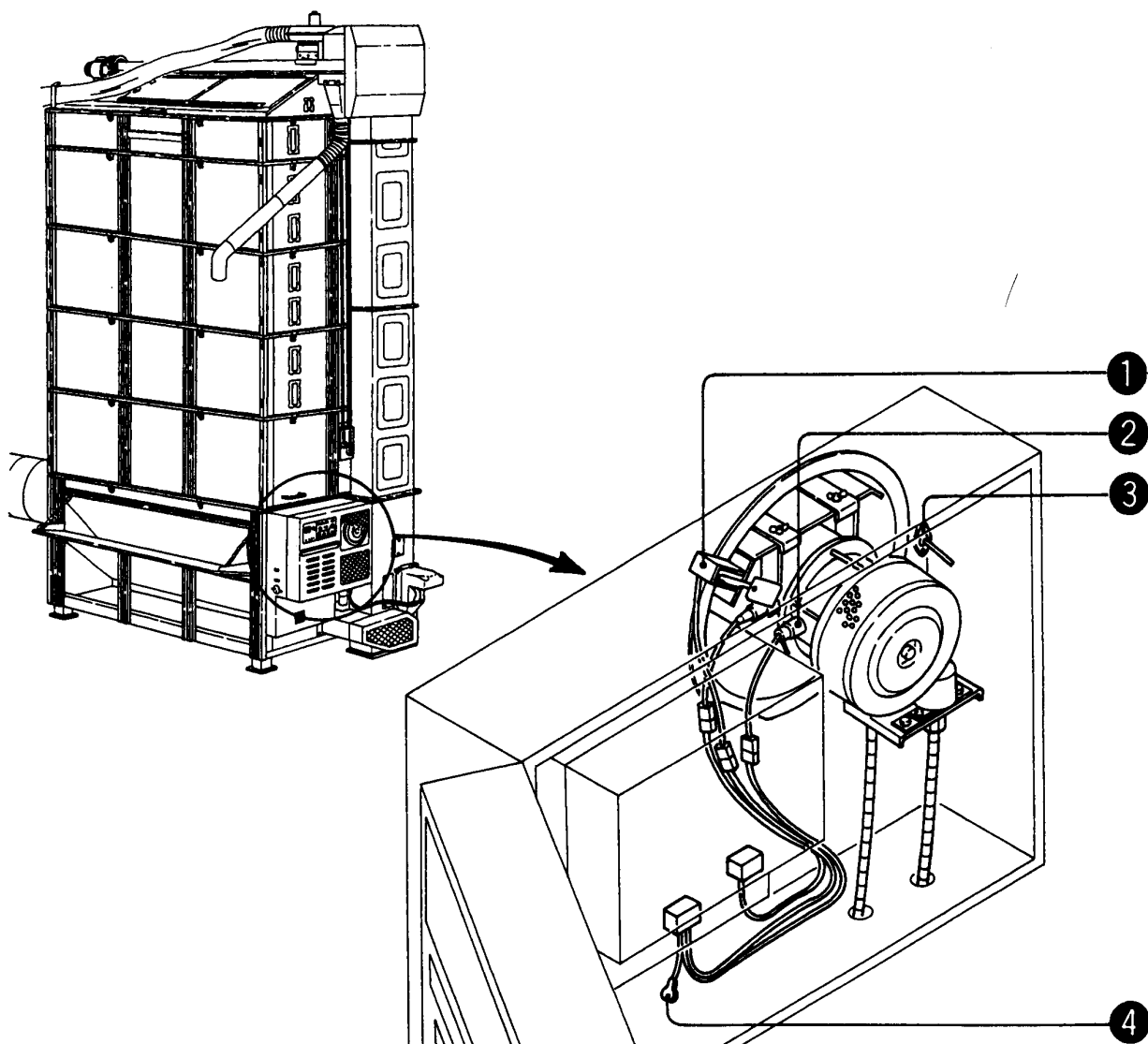
■正面カバーを開いた図



No.	名 称	働 き
①	正面カバー	制御盤内へのゴミ・ホコリやネズミの侵入を防ぎます。
②	操作パネル	乾燥条件を設定することができます。
③	電源スイッチ	制御盤の電源を 'ON' 'OFF' できます。
④	スロワ電源入力コネクター	排出スロワを使用する場合に排出スロワの電源をここから取ります。
⑤	電源入力コネクター	電源コードをここに差し込みます。
⑥	保護用ヒューズ	電源ヒューズと排塵機ヒューズの2本があります。
⑦	緊急用スイッチ	ボタンを押しても本機が起動しない場合に緊急運転をすることができます。
⑧	サーマルリレー	各モータが過負荷になると作動し、本機を停止させ操作パネル上の異常ランプが点灯します。  作動したサーマルリレーのランプが点灯します。
⑨	感電防止板	電源部に手が直接触れないように保護してます。

各部の名称と働き

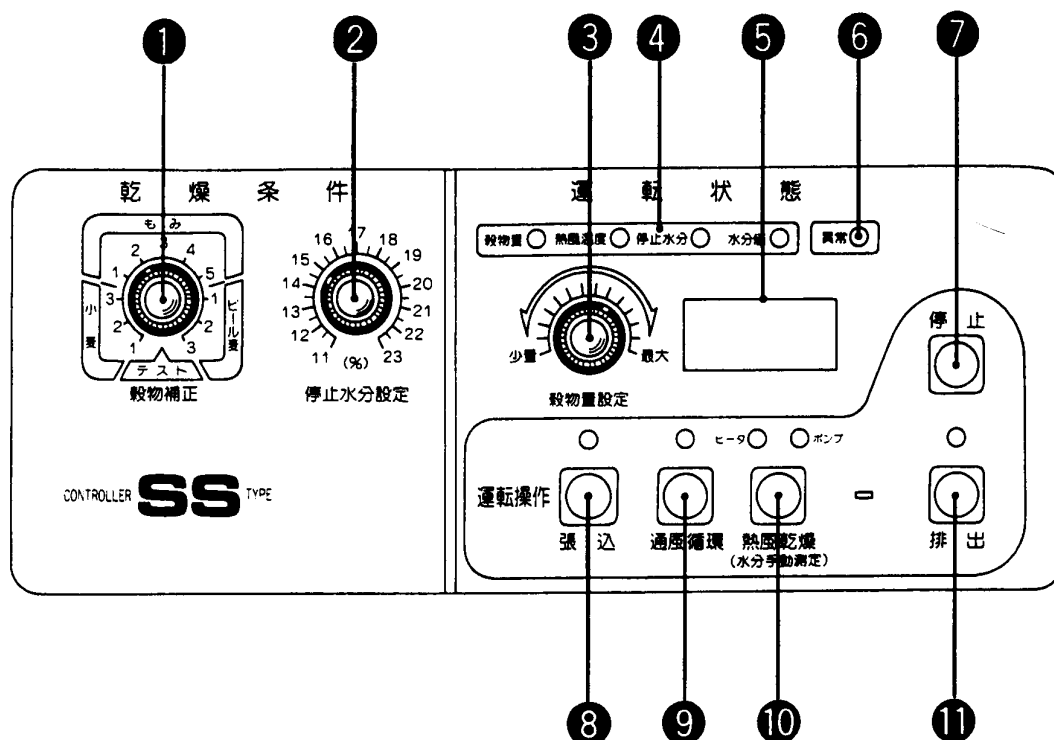
安全装置とセンサー類の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	風圧スイッチ	なんらかの原因で風量が減少した場合に、ポンプを停止しバーナの火を消します。
②	フレイムアイ	常時、バーナの燃焼状態を検知し、なんらかの原因でバーナの火が消えた場合にポンプを停止し、灯油の流出を防ぎます。
③	熱風温センサー	常時、熱風温度を検知し、熱風温度が80℃以上になるとポンプを停止し、バーナの火を消します。
④	外気温センサー	常時、外気温度を検知し、バーナの燃焼コントロールをしています。

各部の名称と働き

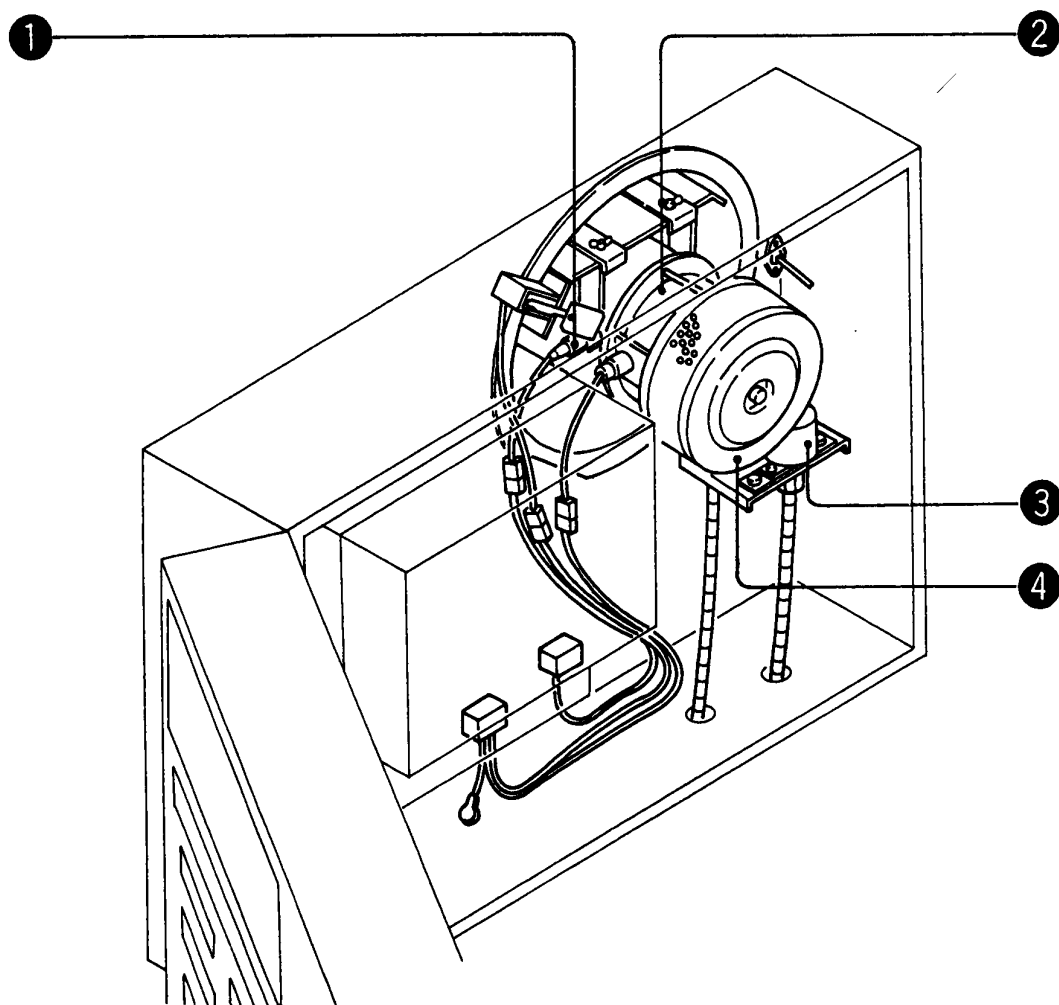
操作パネルの名称と働き



No.	名 称	働 き
①	穀物補正 ダイヤル	乾燥する穀物の種類を選択することができます。 水分値の補正ができます。
②	停止水分設定 ダイヤル	希望の停止水分値を設定することができます。
③	穀物量設定 ダイヤル	張り込んだ粉・麦の穀物量を設定することができます。
④	表示 ランプ	ランプが点灯し、表示部に各データを表示します。  熱風乾燥中は、自動的にランプ点灯位置が移動し、そのつど表示部に各データを表示します。
⑤	表示部	残時間、穀物量・熱風温度・停止水分・水分値のデータを表示します。
⑥	異常 ランプ	本機に異常が確認された場合に、異常ランプが点灯します。
⑦	停止 ボタン	各動作を停止することができます。
⑧	張り込 ボタン	粉・麦を張り込むことができます。
⑨	通風循環 ボタン	粉・麦に風を送りながら循環することができます。 通風循環中に、現在の水分値を確認することができます。
⑩	熱風乾燥 ボタン (水分手動測定)	バーナが着火し、粉・麦に熱風を送りながら、乾燥することができます。 熱風乾燥中に現在の水分値を確認することができます。
⑪	排出 ボタン	粉・麦を排出することができます。

各部の名称と働き

バーナ部の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	点火ヒーター	着火時、赤熱しバーナ回転部から噴霧された灯油に引火します。
②	バーナ回転部	乾燥中、回転しながらポンプから吐出された灯油を噴霧し続けます。
③	電磁ポンプ	燃料タンクから灯油をくみあげ、バーナ回転部側に吐出します。
④	エアフィルター	バーナ回転部に取り込まれる大気中のゴミ・ホコリを取り除きます。

各部の名称と働き

内部構造と穀物の流れについて

上部コンベア

昇降機バケットで下から上に搬送された穀物を横に送り、本機内に落とします。

搬送モータ

上部・下部コンベア、昇降機を起動させます。

昇降機バケット

下部コンベアで昇降機に送られた穀物をすくい上げ下から上に運びます。

繰出しロール

乾燥部内の穀物を回転して定量を下部コンベアに落とします。

駆動チェーン

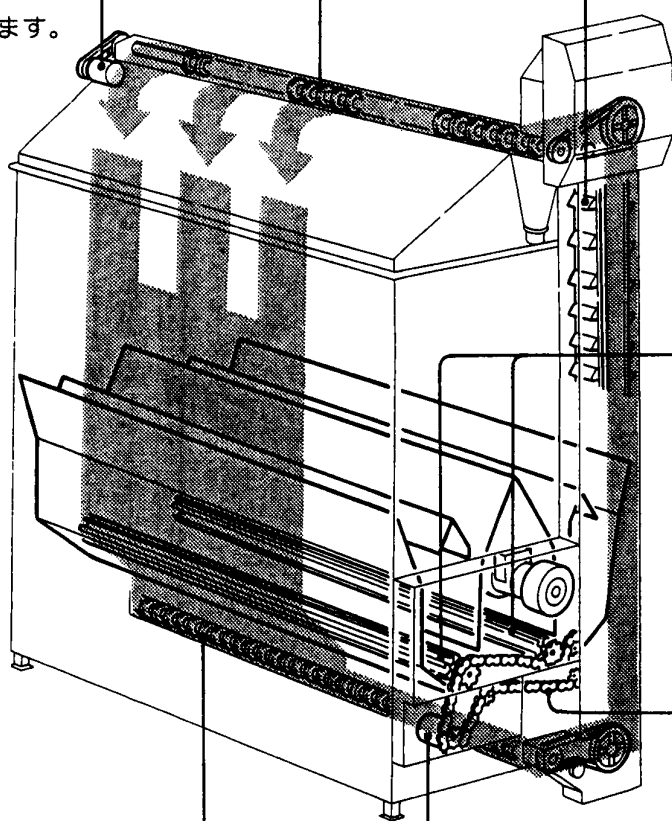
下部コンベア

繰出しロールから落ちた穀物を昇降機に送ります。

繰出しモータ

駆動チェーンを回転させて繰出しロールを回します。

← 穀物の流れ



第4章 据 付 け

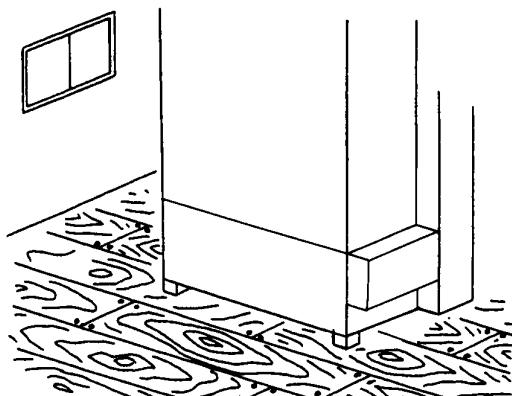
据付け上の注意事項…………… 4-02

据付け

据付け上の注意事項

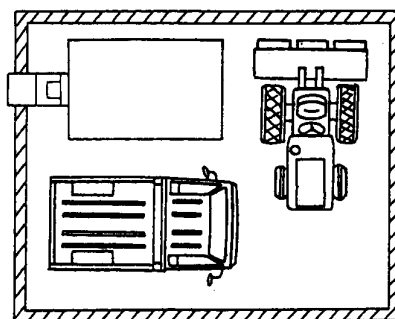
⚠ 警告

据付け面に不燃材を使っていない所には、据付けしないでください。



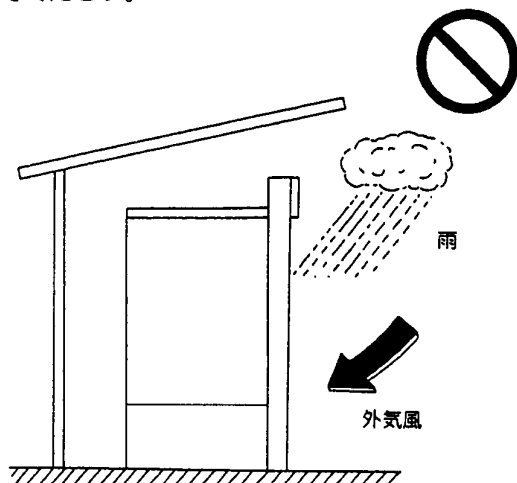
火災の被害が大きくなる原因になります。

壁から 1 m以上の離間距離が取れない場所には据付けしないでください。



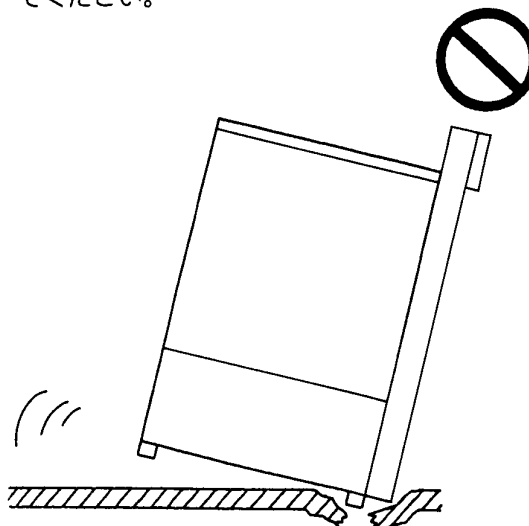
本機内の掃除ができないことが原因で火災になることがあります。

外気風や雨の影響を受ける場所に据付けしないでください。



乾燥効率が低下するだけでなく、感電の原因になります。

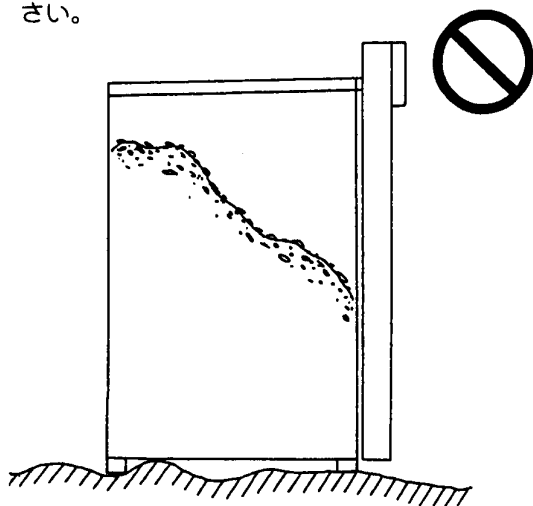
製品の荷重に耐えられない場所に据付けしないでください。



製品の転倒によりケガの原因になります。

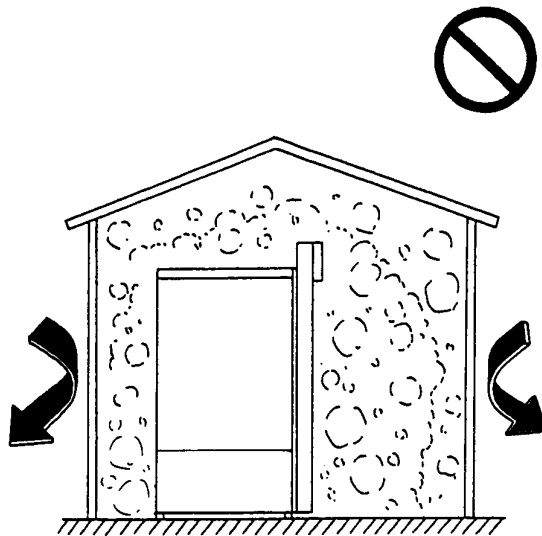
⚠注意

据付け面が水平でない場所に据付けないでください。



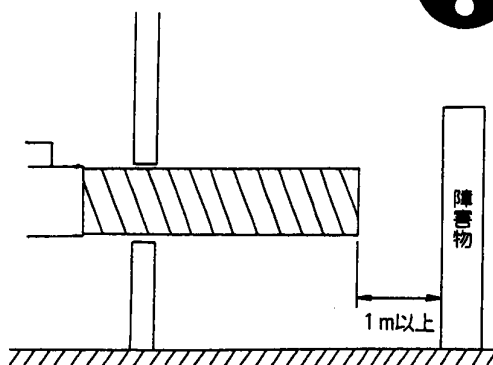
穀物の配穀が片寄り、乾燥ムラや粉詰まりの原因になります。

換気の悪い場所には据付けないでください。



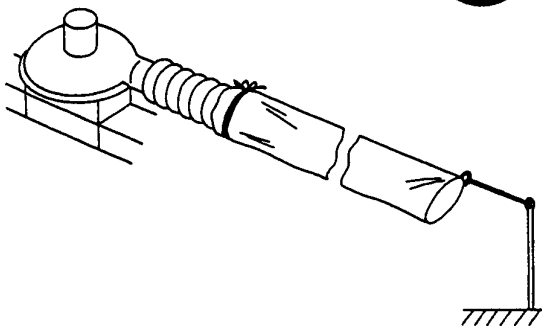
酸素欠乏の原因になることがあります。

排風ダクトは、まっすぐに張ってください。
ダクト先端から1m以内に障害物を置かないでください。



風量が減少し、バーナの異常燃焼・乾燥効率の低下の原因になります。

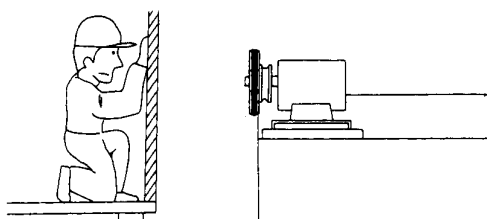
排塵ダクトは、ねじったり、曲げたり、先端を絞ったりしないで、できるだけまっすぐに張ってください。



ゴミ・ホコリの抜けが悪くなったり、排塵機モータが焼損する原因になります。

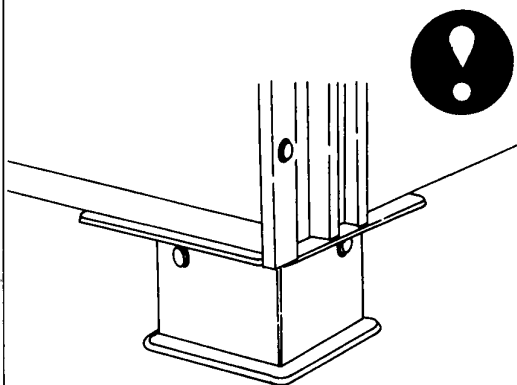
⚠注意

作業所に中2階があるときには、搬送モータ周辺の回転部に手が触れないように防護措置を施してください。



防護措置が施されていないと、回転部に触れてケガの原因となることがあります。

必ず車輪受材を4隅に取り付けてください。



粉・麦の荷重により、本機側板が変形することがあります。

付属の燃料タンク以外の灯油用燃料タンクを据付ける場合には次の項目を守ってください。

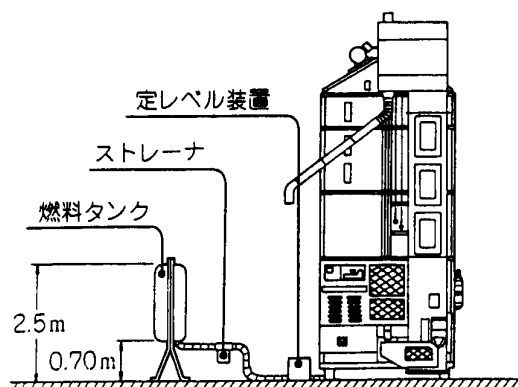
①注油時の油面の高さが、本機据付け面から0.7m(下限)～2.5m(上限)となる燃料タンクを据付け、必ず所定の定レベル装置を装備してください。

また、燃料タンクと定レベル装置の間にストレーナ(90メッシュ以上)を装備してください。



定レベル装置については、P9-04を参照してください。

②同一の燃料タンクから乾燥機2台以上に燃料を供給する場合には、必ず鉄管で配管してください。尚、鉄管の配管は下表を参照の上、決定してください。



乾燥機台数	1～2台	3～7台	8～10台
メインの配管径	15A (1/2)	20A (3/4)	25A (1)
サブの配管径	15A (1/2) 以上		

第 5 章

操作説明

電源の入れ方と切り方……………	5-02
本機の停止とバーナの消火……………	5-03
運転の種類と動作……………	5-07
乾燥条件について……………	5-08
付属機能……………	5-09
シーズン前に……………	5-12
始動の前に……………	5-15
自動運転……………	5-16

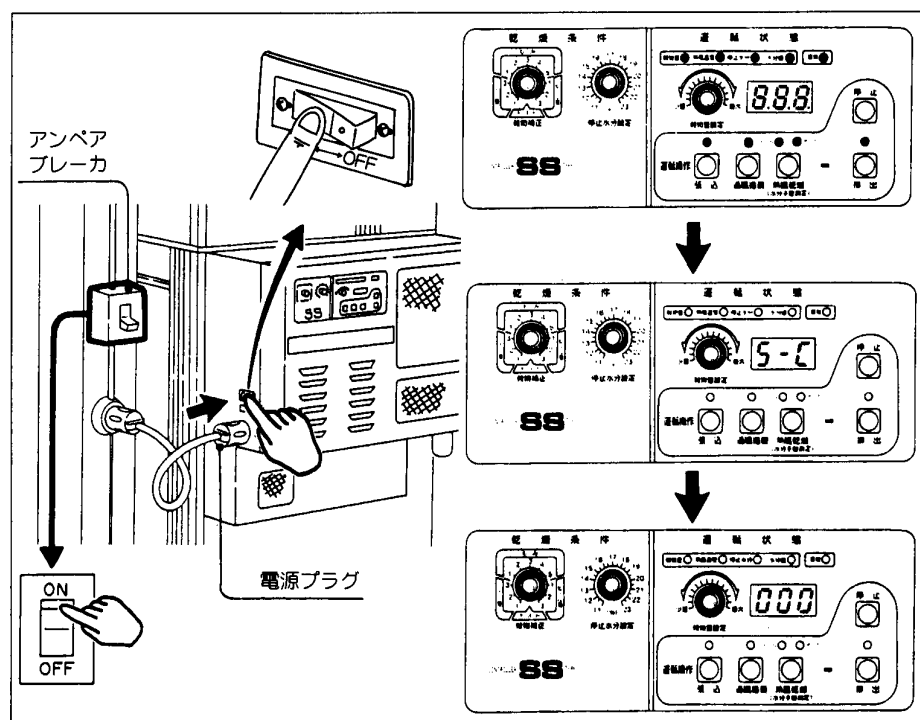
電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

本機を始動するときに電源スイッチを入れます。そして電源を入れてから制御装置の自己診断が終了すると本機を始動することができます。

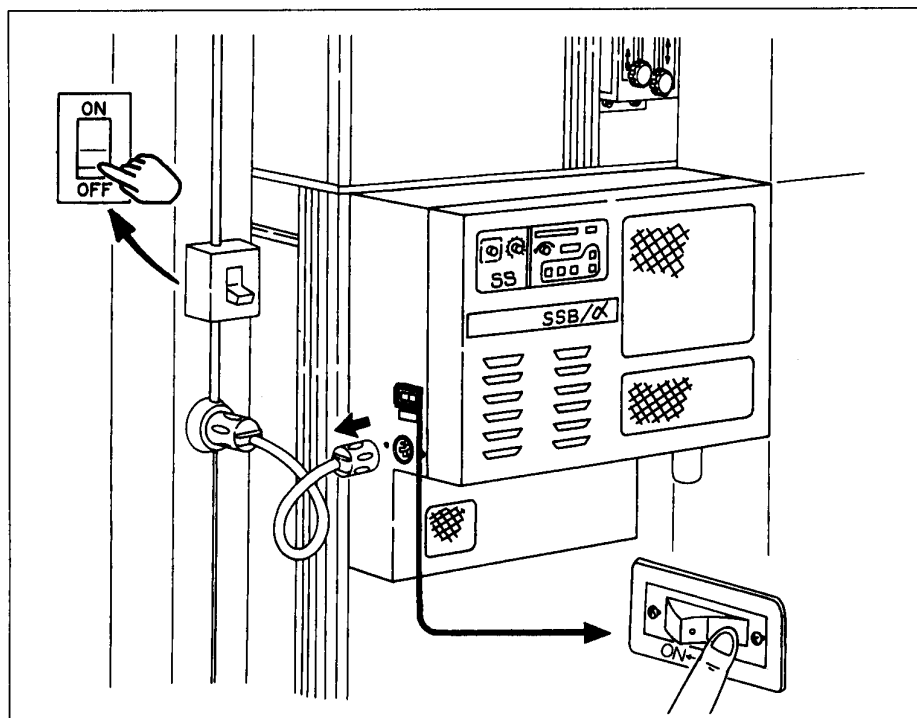
- ①電源プラグを元電源と制御盤の電源入力コネクタに接続してください。
- ②アンペアブレーカを 'ON' にしてください。
- ③制御盤の左側面にある電源スイッチを 'ON' にしてください。

電源を入れると操作パネルのランプ点灯表示が次のようになります。



電源スイッチの切り方

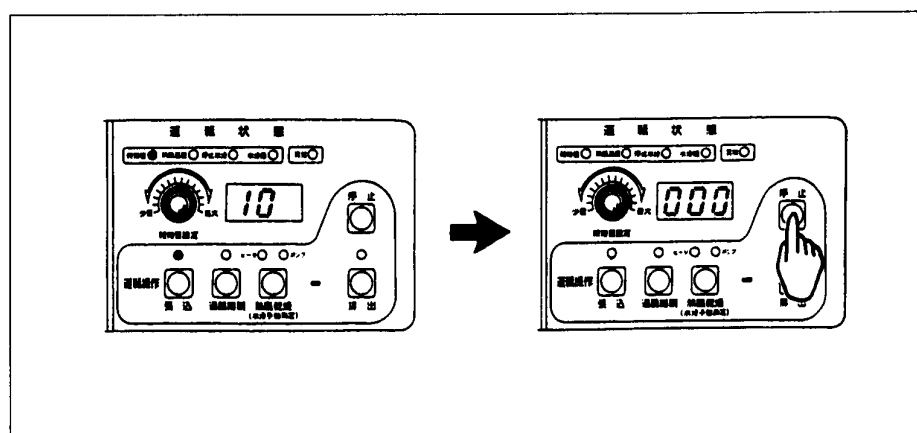
- ①制御盤の左側面にある電源スイッチを 'OFF' にしてください。
- ②アンペアブレーカを 'OFF' にしてください。
- ③電源プラグを元電源と制御盤の電源入力コネクタから抜いてください。



本機の停止とバーナの消火

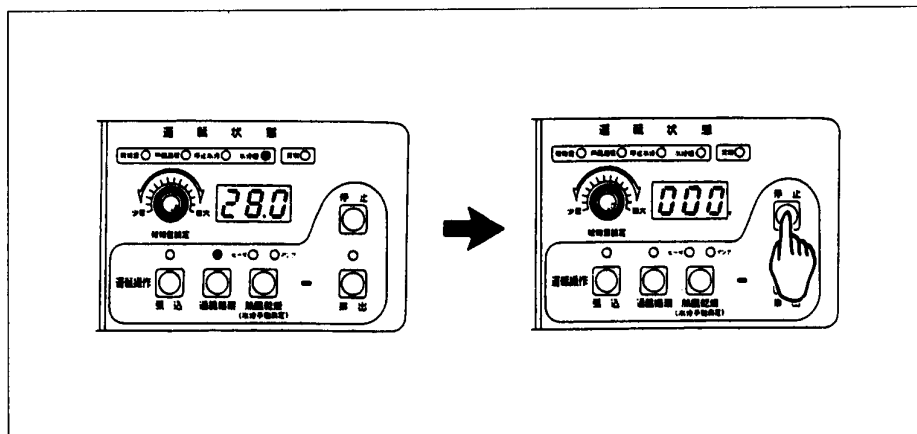
本機を停止するあるいはバーナを消火するには、次のような運転操作をしてください。

- ①張込中に本機を停止するときには、**停止** ボタンを押してください。

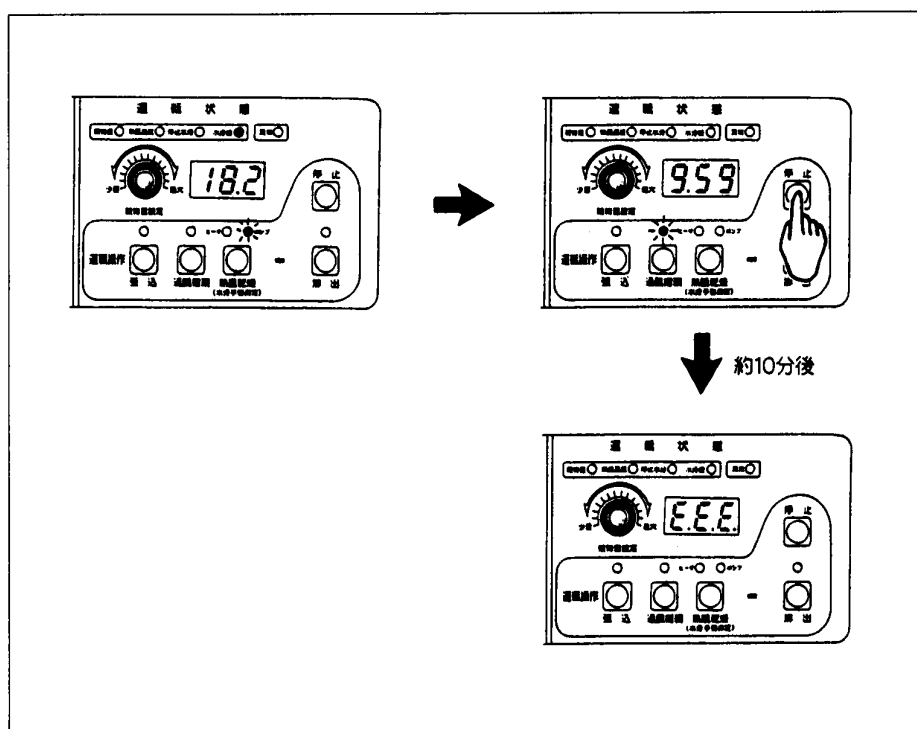


操作説明

②通風循環中に本機を停止するときには、**停止** ボタンを押してください。

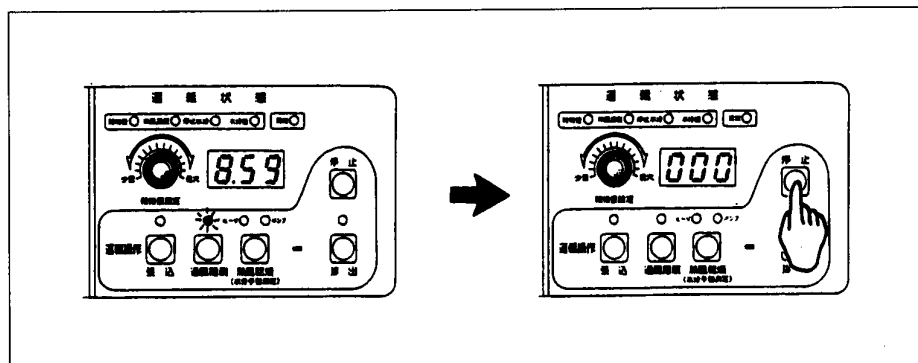


③熱風乾燥中に本機を停止するときには、**停止** ボタンを押してください。バーナが消火し、約10分後に本機が自動停止します。



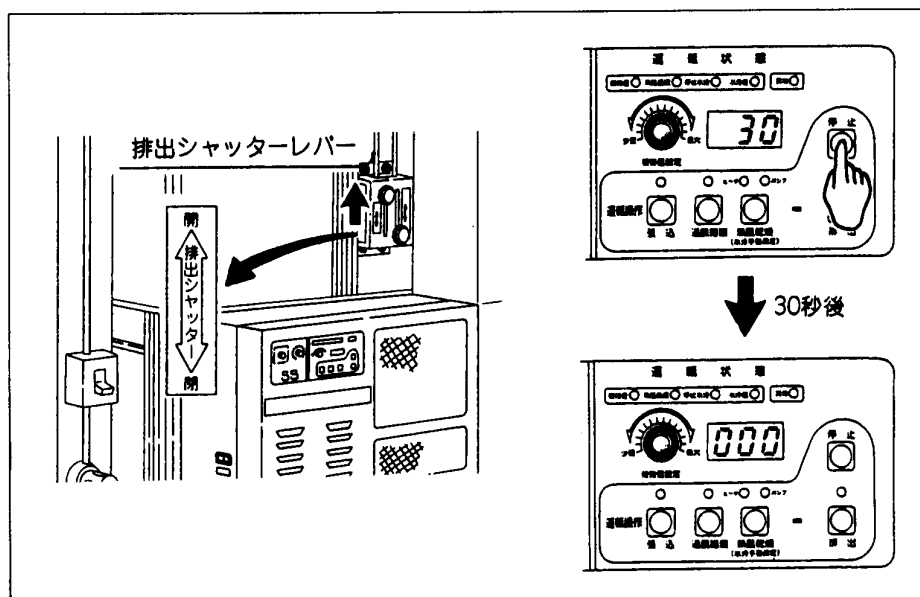
- バーナ消火後、自動停止までの約10分の間に本機を停止したいときには再び **停止** ボタンを押してください。

 バーナファンはバーナが消火してから10分間回転し続けますので本機停止後、バーナファンが回転している場合があります。

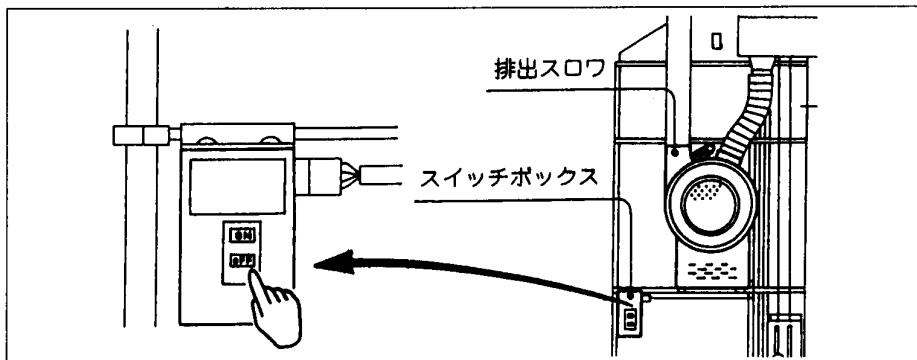


- ④排出中に本機を停止するときには、排出シャッターレバーを下に引き‘閉’側にしてから **停止** ボタンを押してください。約30秒後に本機が停止します。

 排出スロフを使用しているときには、本機はすぐに停止しますが、排出スロフはスイッチボックスの **OFF** ボタンを押さない限り、稼働し続けます。



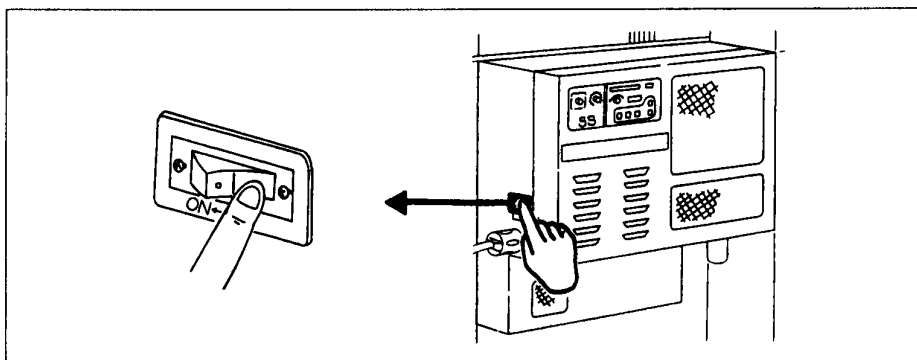
- ⑤排出中に排出スロフを停止するときには、スイッチボックスの **OFF** ボタンを押してください。



- ⑥緊急停止するときには、電源スイッチを 'OFF' にしてください。

⚠ 注意

通常運転時に、電源スイッチを 'OFF' にして、本機を停止したり、バーナを消火したりしないでください。粉詰まりの原因や、バーナの構成部品の損傷につながる可能性があります。



運転の種類と動作

運転の種類には、‘自動運転’があり、各モード毎の動作は下記の通りです。

1. 自動運転

①張込モード

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、排塵機が稼働し、粉・麦の張り込みができます。
- (2) 停止 ボタンを押すまで稼働し続けます。



張込モードでは、送風機は稼働しません。

②通風循環モード

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、排塵機が稼働します。また、繰出しロールが間欠運転し、張り込まれた粉・麦が約1時間に1循環します。
- (2) 自動的に検出器内のロールが回転し、1回だけ水分測定がおこなわれます。
- (3) 停止 ボタン押すまで稼働し続けます。

③熱風乾燥モード

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、排塵機が稼働します。また、繰出しロールが間欠運転し、張り込まれた粉・麦が約1時間に1循環します。
- (2) 点火ヒーターが赤熱し、約15秒後にポンプから灯油が吐出されると同時にバーナモータが回転し、バーナが着火します。
- (3) 自動的に検出器内のロールが回転し、決められた間隔で水分測定がおこなわれます。また、停止水分値以下の水分になるとバーナが自動消火し、約10分後に本機が自動停止します。

④排出モード

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、排塵機、(送風機)が稼働します。また、繰出しロールが連続回転し、粉・麦を排出することができます。
- (2) 停止 ボタンを押すまで稼働し続けます。



排出モードでは、送風機は稼働しません。但し、アンペアブレーカーの容量によっては稼働させることができますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

操作説明

乾燥条件について

操作パネル上のダイヤル操作によって下記の設定可能範囲内で変更することができます。

乾燥条件	設定可能範囲	変化幅
穀物量	6 ~ 34	1石ずつ変化します。
停止水分	11.0 ~ 23.0	0.1%ずつ変化します。

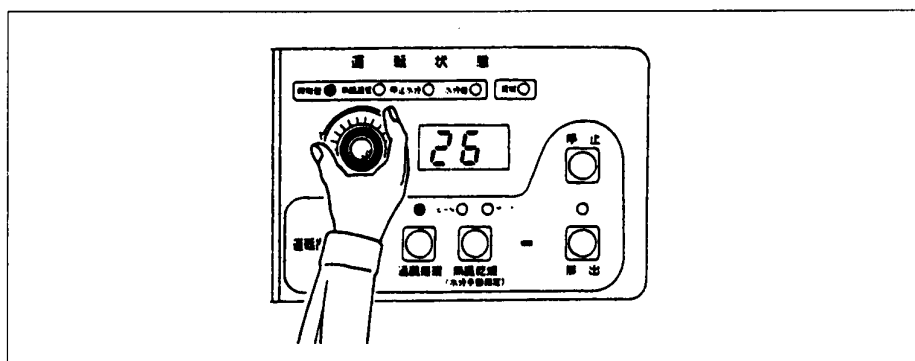
乾燥条件の変更のしかた

1. 穀物量

- ① 張込、通風循環、あるいは熱風乾燥 ボタンを押してください。
- ② 穀物量設定 ダイヤルを回して、表示部に表示されている値を希望の穀物量にあわせてください。

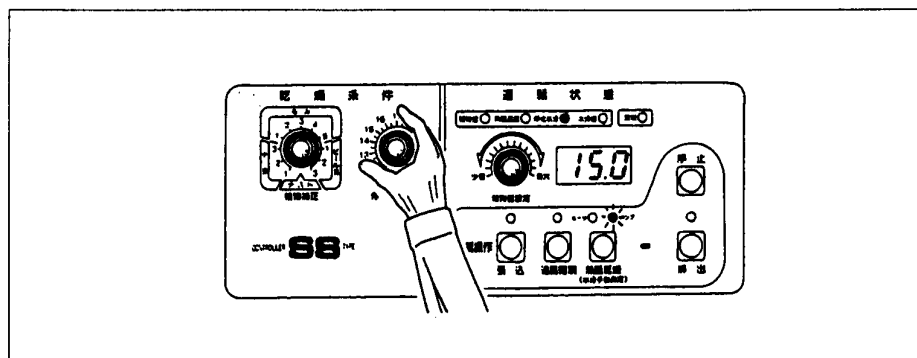


穀物量ダイヤルを回すと、自動的に‘穀物量’ランプが点灯し、表示部に穀物量が表示されます。



2. 停止水分

- ① 通風循環、あるいは熱風乾燥 ボタンを押してください。
- ② 停止水分設定 ダイヤルを回すと、自動的に‘停止水分’ランプが点灯し表示部に停止水分が表示されます。



付属機能

付属機能には‘温度調整’と‘水分微調整’があります。

⚠注意

温度調整あるいは水分微調整は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

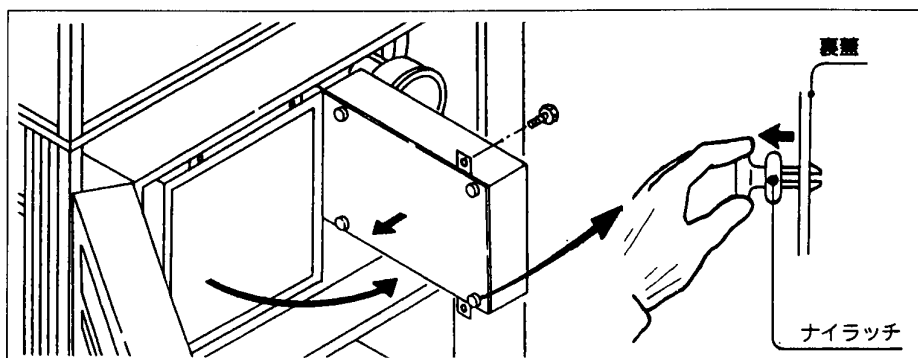
1. 温度調整機能

温度調整ボリュームによって、熱風乾燥中の熱風温度を基準熱風温度から‘-10℃～+10℃’の範囲内で1℃ずつ調節することができます。

温度調整ボリュームは、次の手順で調節してください。

温度調整ボリュームの調節のしかた

- ①制御盤の正面カバーを手前に開けてください。
- ②操作パネルの固定ボルトを2本取り外し、操作パネル部を開けてください。
- ③操作パネルの裏蓋の4隅にあるナイラッチのツマミを手前に引いてください。その後、裏蓋を取り外してください。

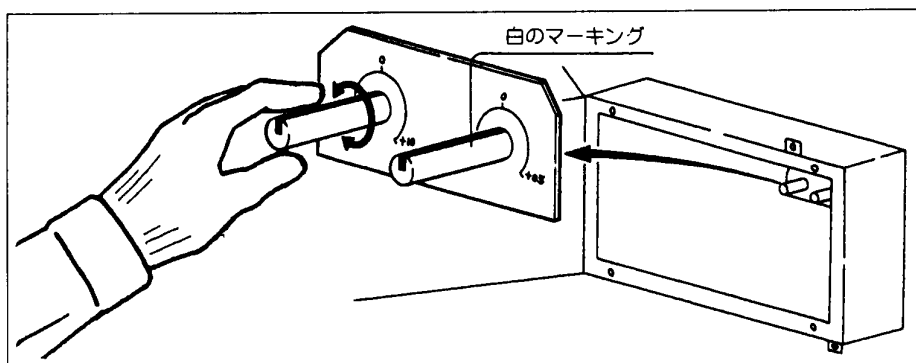


操作説明

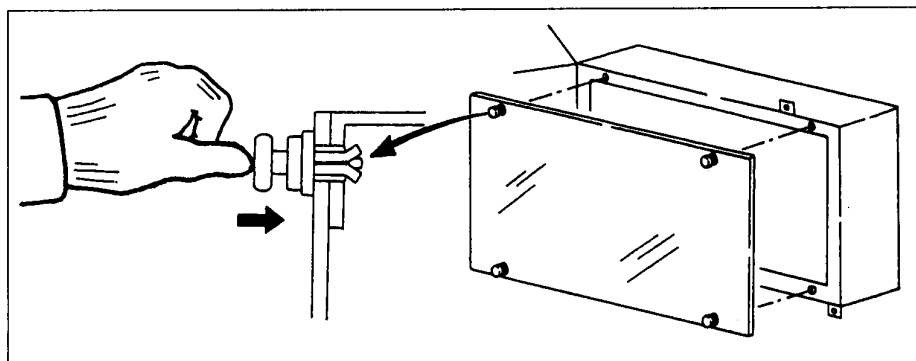
- ④操作パネル内部の右上にある‘温度調整ボリューム’を手で右あるいは左に回して希望の値にあわせてください。ボリューム自体に白のマーキングがありますので、マーキングの位置を希望の値にあわせてください。



温度調整ボリュームの標準セット値は‘0’です。



- ⑤調整終了後は、操作パネル部外枠の抜き穴（4ヶ所）にナイラッチの先端を挿入してください。その後裏蓋を操作パネル外枠に押し付け、隙間がなくなったならばナイラッチを押し込んでください。

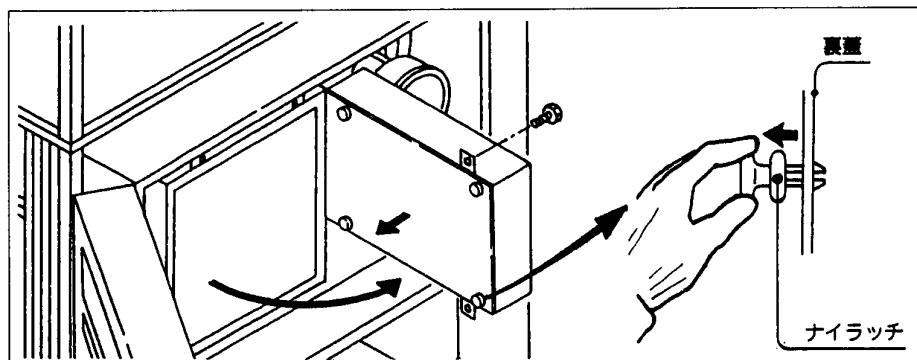


2. 水分微調整機能

水分微調整ボリュームによって、乾燥終了時の操作パネル上の表示値と手動水分計の測定値の水分表示誤差を‘ $-0.5\% \sim +0.5\%$ ’の範囲内で調節することができます。水分微調整ボリュームは、次の手順で調節してください。

水分微調整ボリュームの調節のしかた

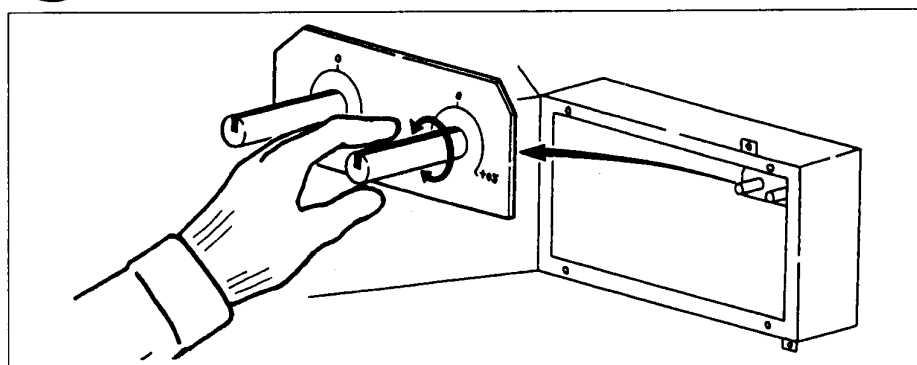
- ①制御盤の正面カバーを手前に開けてください。
- ②操作パネルの固定ボルトを2本取り外し、操作パネル部を開けてください。
- ③操作パネルの裏蓋の4隅にあるナイラッチのツマミを手前に引いてください。その後、裏蓋を取り外してください。



- ④水分微調整ボリュームを右あるいは左に回して希望の値にあわせてください。ボリューム自体に白のマーキングがありますので、マーキングの位置を希望の値にあわせてください。

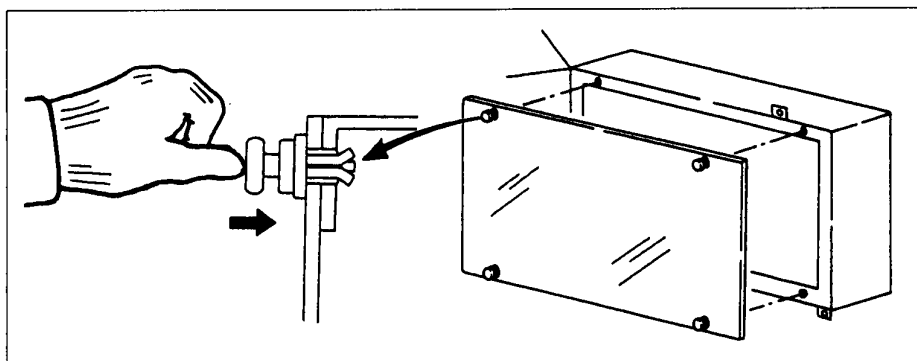


水分微調整ボリュームの標準セット値は、'0' です。



- ⑤調整終了後は、操作パネル部外枠の抜き穴（4ヶ所）にナイラッチの先端を挿入してください。その後裏蓋を操作パネル外枠に押し付け、隙間がなくなったならばナイラッチを押し込んでください。

操作説明



シーズン前に

乾燥機を使用する時期が近づきましたら、次のことをおこなってください。

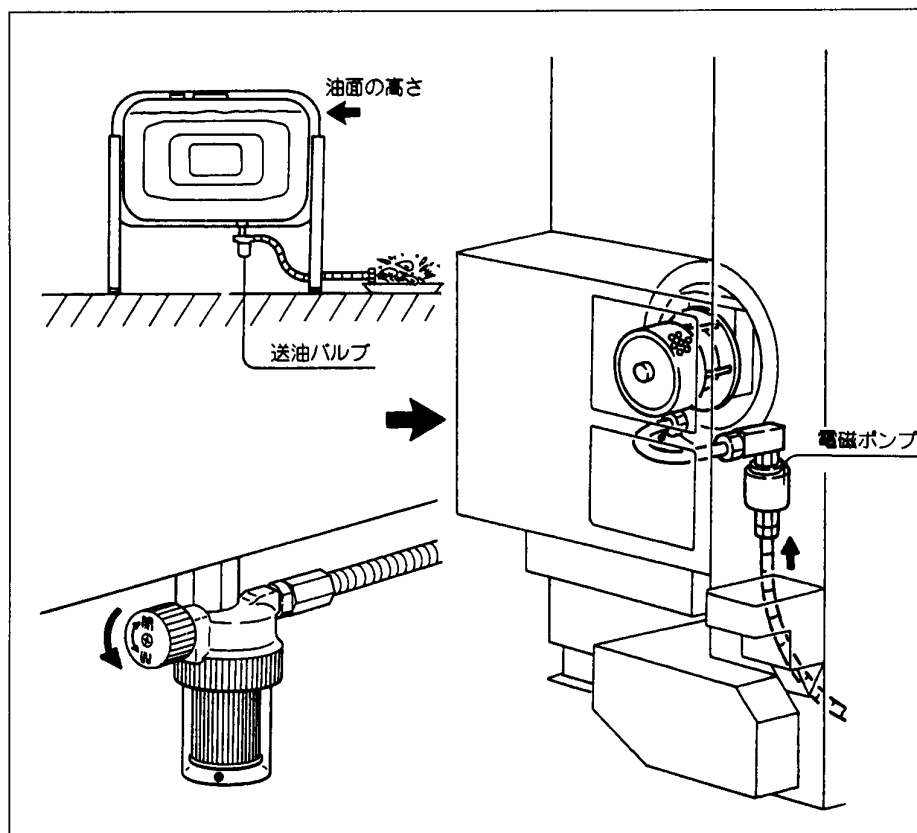
1. 燃料タンクに灯油を注油してください。
2. 燃料ホースのエアー抜きをおこない、電磁ポンプに接続してください。
エアー抜きは次の手順でおこなってください。



燃料ホースのエアー抜きをおこなうときにはあらかじめ受皿、ウエス等を準備してください。また、エアー抜き時にこぼれた灯油は必ず拭き取ってください。

エアー抜きのしかた

- ① 燃料ホースを燃料タンク内の油面より低い位置にし、送油バルブを完全に開いてください。
- ② 燃料ホースから灯油が吐出するのを確かめてから電磁ポンプに接続してください。



3. 操作パネル上の **穀物補正** ダイアルを回して乾燥する穀物の種類によって、下図のようにセット位置を変えてください。ダイアル上の白のマーキング位置をそれぞれセット位置にあわせてください。

- 粉を乾燥する場合

もみ・2

 にセット
- 小麦を乾燥する場合

小麦・2

 にセット
- ビール麦を乾燥する場合

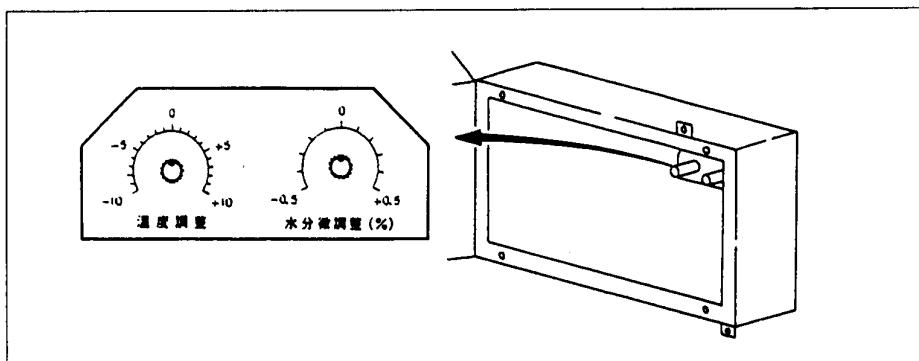
ビール麦・2

 にセット

4. ‘温度調整ボリューム’と‘水分微調整ボリューム’を調節し、‘0’にあわせてください。



各ボリュームの調節のしかたは、P5-09～5-12を参照しておこなってください。



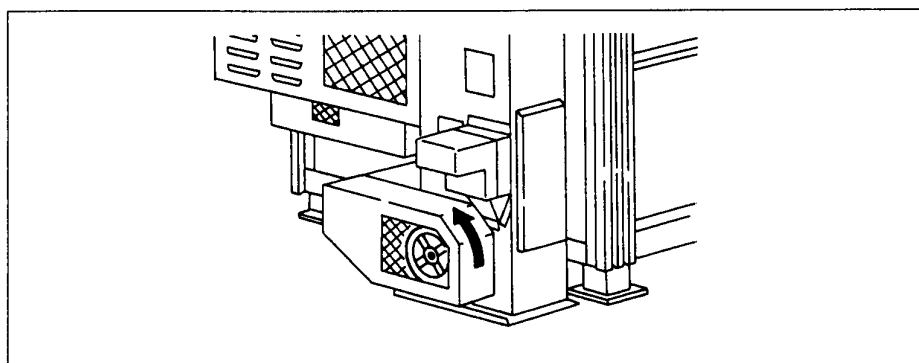
5. 昇降機の回転方向を確認してください。



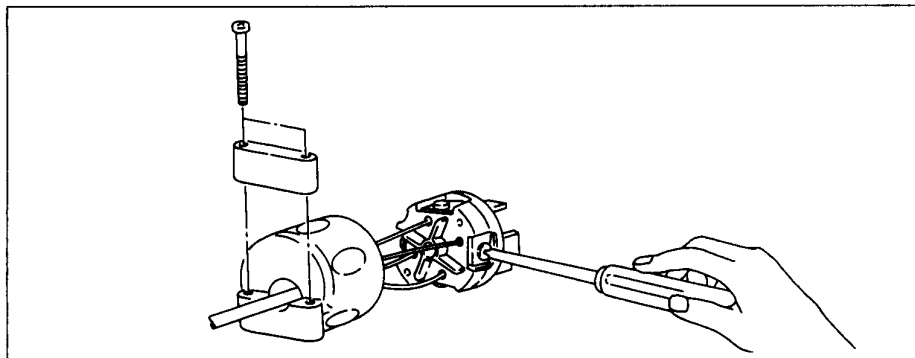
電源コードを新規にした場合あるいは、元電源のコンセントの差し込みが数個ある場合には、乾燥毎に昇降機の回転方向を確認することが大切です。

回転方向の確認のしかた

- ① **張込** ボタンを押してください。昇降機下部プーリが反時計方向に回転していれば正常です。



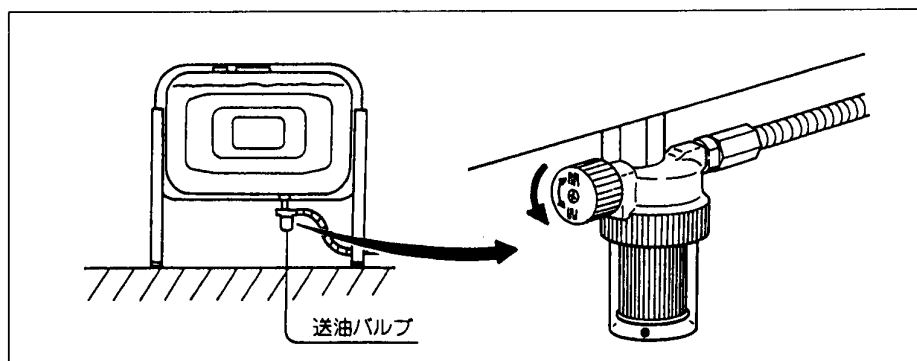
- 回転方向が反対の場合には、次の手順で手直しをしてください。
 - ①電源プラグを制御盤および元電源コンセントから抜いてください。
 - ②片側の電源プラグを分解してください。
 - ③プラグ内部に結線されている赤線と黒線を入れ替えて端子をしっかりと締め付けてください。その後、プラグを組立ててください。
 - ④再び、昇降機の回転方向を確認してください。



始動の前に

乾燥毎に、始動に先立ち次のことを確かめてください。

1. P6-02の点検・整備一覧表にもとづき、定期的な点検・整備をおこなってください。
2. 燃料タンクには燃料が十分に入っているか確かめてください。
3. 燃料タンク下の送油バルブが完全に開いているか確かめてください。



4. 排出シャッターレバーが‘閉’側になっているか確かめてください。

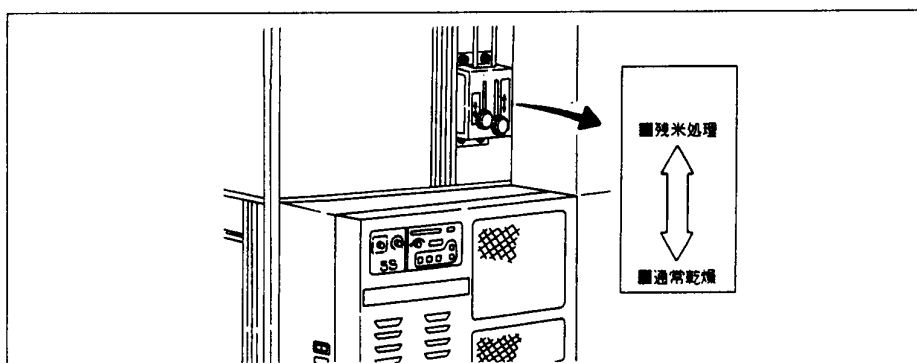
操作説明

自動運転

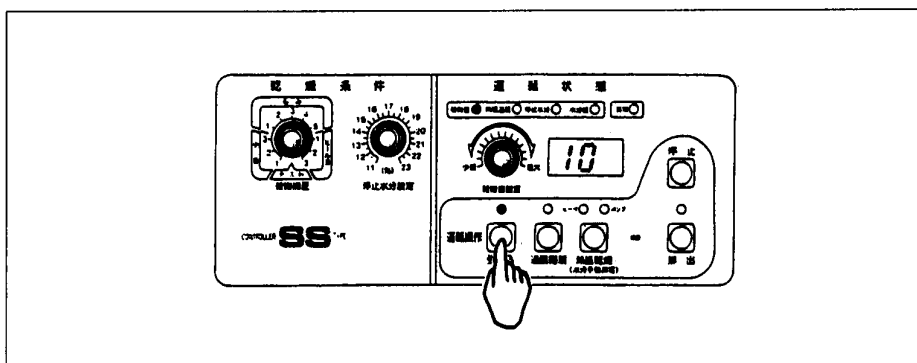
粉・麦を張り込む

次の手順で乾燥機に粉・麦を張り込んでください。

1. ノブネジをゆるめ、上部コンベア残米処理レバーを下に引いて‘通常乾燥’側にしてください。その後、ノブネジで固定してください。



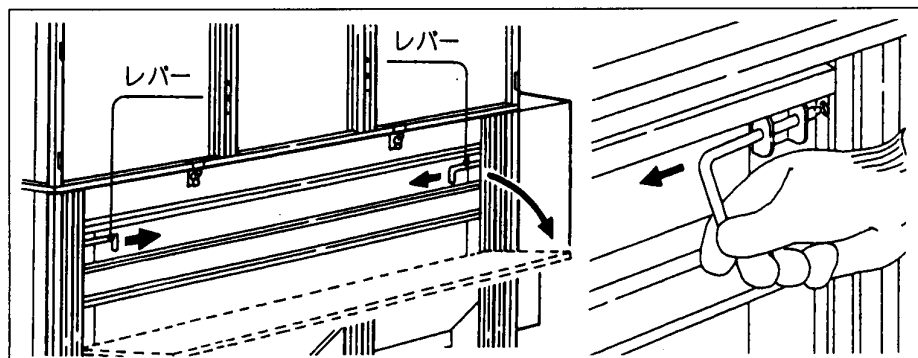
2. **張込** ボタンを押してください。



3. 側面張込ホッパーを次の手順で開いてください。

側面張込ホッパーの開き方

張込口の左右のレバーをそれぞれ内側に引いて、張込口を手前に開いてください。側面張込ホッパーとなります。



4. 側面張込ホッパーから粉・麦を張り込んでください。粉・麦の張込量は、下表を目安にしてください。



粉・麦を張り込み過ぎると粉詰まりの原因となりますので、注意してください。

下表のコンバインの袋数は、1袋が粉・麦共約32kgとして計算してあります。袋に詰められた量や選別の状態によって10%前後の差が出る場合がありますので、ご理解ください。

型式名	コンバインの袋数	
	粉	麦
SSC340	21～107	25～129

5. 張り込み終了後、**停止** ボタンを押して、本機を停止してください。

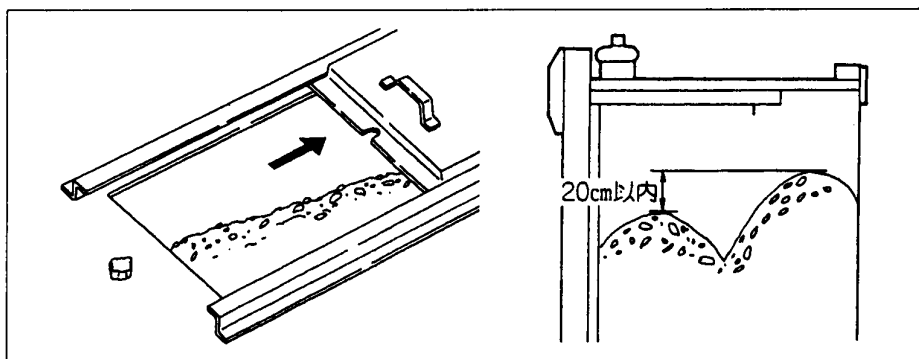
6. 本機停止後、ノブネジをゆるめ上部点検蓋を開け、乾燥機内部の配穀状態を確認してください。

乾燥に影響がない配穀状態は、次ページの上図の通りです。



配穀の状態は、穀物の水分あるいは選別状態によって変わりますので乾燥毎に配穀の状態を確認してください。

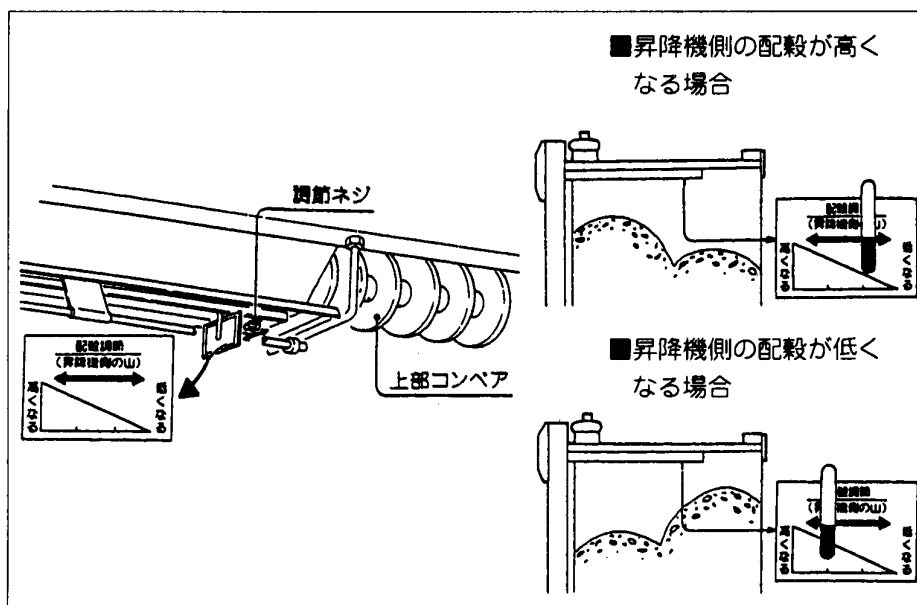
操作説明



配穀が上図のようになっていないときは、次の手順で配穀調整をおこなってください。

配穀調整のしかた

- ①上部コンベア樋の底にある調整ネジをゆるめてください。
- ②配穀の状態に応じて、配穀調整ラベルに従い、手前あるいは前方に調整ネジを移動してください。その後、調整ネジを締め付けてください。
- ③配穀調整終了後、**通風循環** ボタンを押し、約10分間運転してください。
その後、粉・麦の追加張り込みが可能な場合には、再び **張込** ボタンを押して、粉・麦を張込ホッパーから張り込んでください。



7. 配穀調整後、粉・麦の張り込みが完了しましたら、**停止** ボタンを押し本機を停止してください。

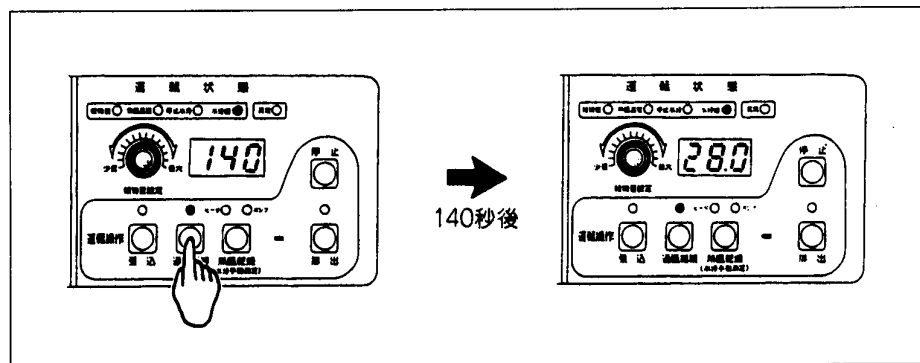
粉・麦を通風循環する

次の手順で乾燥機内の粉・麦を通風循環してください。

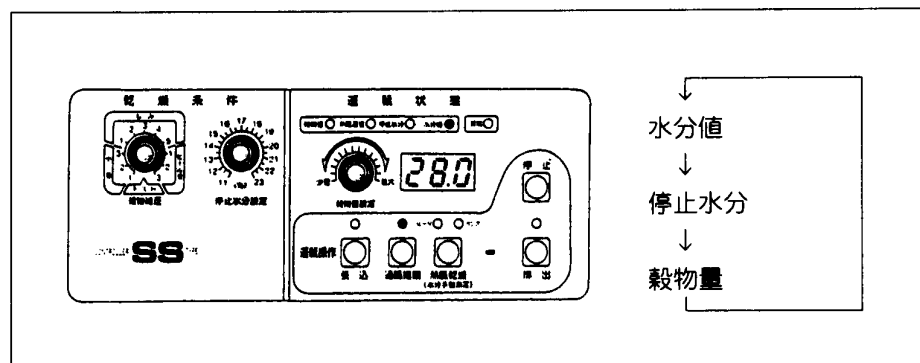
1. **通風循環** ボタンを押してください。自動的に‘水分値’ランプが点灯し、表示部に **14.0** が表示されます。その後、1カウント（1秒）ずつカウントダウンし **0** になると同時に現在の水分値が表示されます。



- 1) 水分測定は、自動的に一度だけおこなわれます。従って水分値表示は時間が経過しても変化しません。
- 2) 運転中、繰出しモータは設定した穀物量に応じて約1時間に1循環するように間けつ運転をしています。但し、水分測定中には、繰出しモータは連続運転となります。

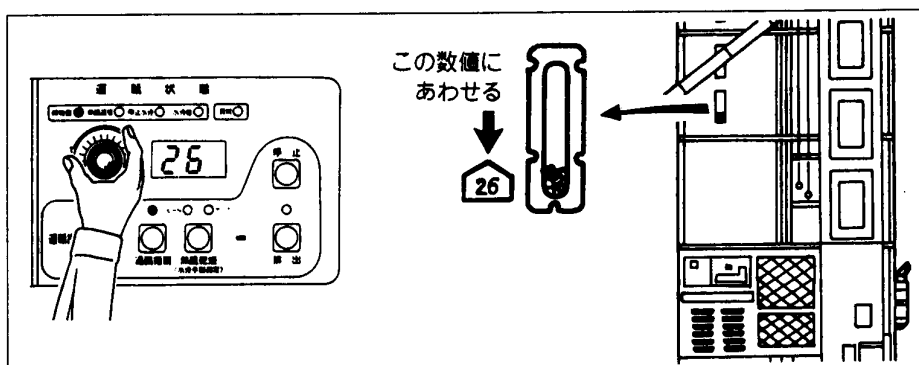


水分表示後、操作パネルの表示ランプの点灯位置が自動的に変わり、そのたびにデータを表示します。表示ランプの点灯位置は3秒間毎に次のように変わります。



操作説明

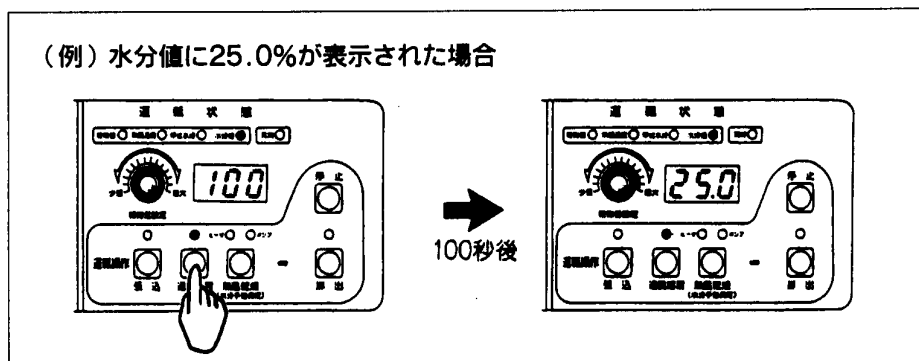
2. 穀物量ダイヤルを回して表示部に表示される穀物量を本機前面にある覗き窓から見える粉・麦の上限の穀物量表示ラベルの数値にあわせてください。
穀物量ダイヤルを回すと、自動的に「穀物量」ランプが点灯し、表示部に穀物量が表示されます。



3. 通風循環中に、現在の水分値を見たいときには、次の手順でおこなってください。

- ①再び **通風循環** ボタンを押してください。自動的に「水分値」ランプが点灯し、表示部に **100** が表示されます。その後1カウント（1秒）ずつカウントダウンして **0** になると同時に現在の水分値が表示されます。
通風循環 ボタンによる水分測定は、通風循環中何度でも有効です。

（例）水分値に25.0%が表示された場合



4. 通風循環終了後、**停止** ボタンを押して、本機を停止してください。

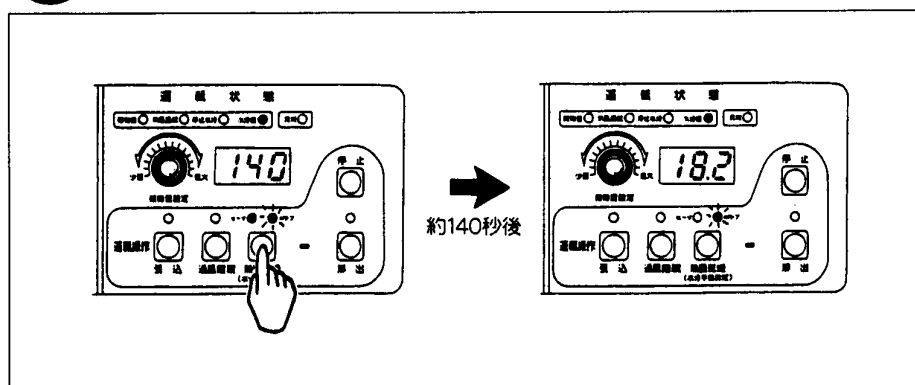
1. 2.

次の手順で粉・麦を熱風乾燥してください。

1. **熱風乾燥** ボタンを押してください。自動的に '水分値' ランプが点灯し、表示部に **14.0** が表示されます。その後、1 カウント (1 秒) ずつカウントダウンし **0** になると同時に現在の水分値が表示されます。

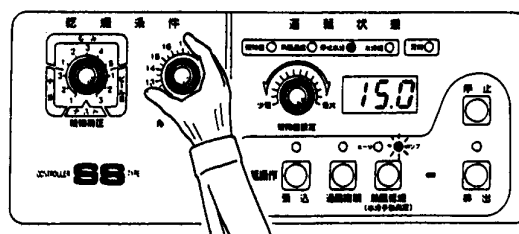


水分測定は粉・麦の水分値に応じて、決められた測定間隔で自動的に起こなわれます。従って、水分表示値は常に変わるわけではありません。



2. **停止水分設定** ダイアルを手で回して表示される水分値を希望の値にあわせてください。
停止水分設定 ダイアルを回すと、自動的に '停止水分' ランプが点灯し、表示部に停止水分が表示されます。

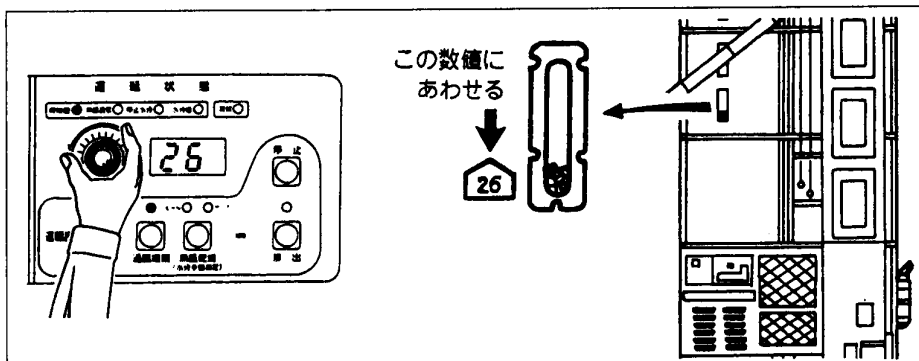
(例) 停止水分を15.0%にあわせた場合



操作説明

3. **穀物量** ダイヤルを回して、表示部に表示される穀物量を本機前面にある覗き窓から見える粉・麦の上限の穀物量表示ラベルの数値にあわせてください。

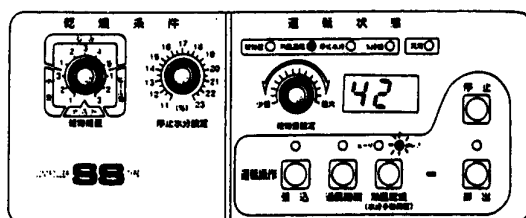
穀物量ダイヤルを回すと、自動的に穀物量ランプが点灯し、表示部に穀物量が表示されます。



4. 熱風乾燥中に、熱風温度は次のようにして確認することができます。

- ①表示ランプの点灯位置が自動的に変化しますので、‘熱風温度’表示ランプが点灯したときに表示される値が現在の熱風温度となります。

(例) 熱風温度42℃



- 目安となる熱風温度（以下、基準熱風温度とする）は、穀物の種類によって異なります。穀物の種類別の基準熱風温度は次の通りです。

（１）粉乾燥時の基準熱風温度



下表の基準熱風温度とは、‘温度調整ボリューム…0℃’の条件時のものです。

粉乾燥時の熱風温度は、‘穀物量’・‘外気温度’・‘温度調整ボリューム’によって変化します。

基準熱風温度表		外気温 (℃)			
穀物量 (石)	石	15	20	25	30
	6	27	30	33	36
	13	33	35	38	42
	20	39	41	44	47
	27	45	47	49	52
	34	51	53	55	58

（２）小麦・ビール麦乾燥時の基準熱風温度



下表の基準熱風温度とは、‘温度調整ボリューム…0’の条件時のものです。

小麦・ビール麦乾燥時の熱風温度は、‘穀物量’・‘温度調整ボリューム’によって変化します。

基準熱風温度表		穀物量 (石)				
穀物種類	石	6	13	20	27	34
小麦		40	45	51	57	63
ビール麦		35	40	46	52	58

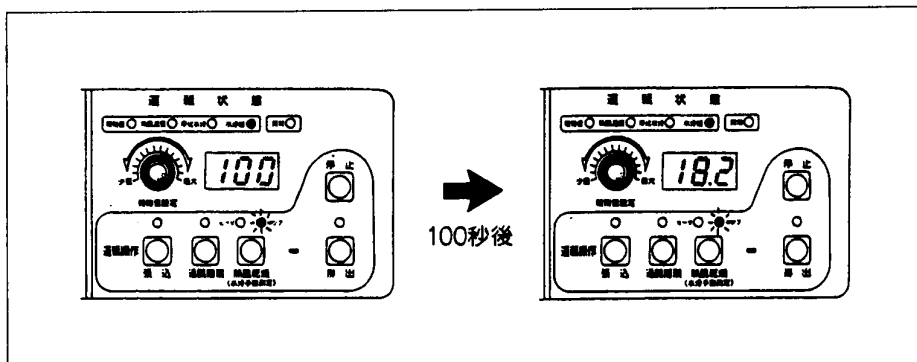
操作説明

5. 熱風乾燥中に現在の水分値を確認するときには、次の操作をしてください。

- ① **熱風乾燥** ボタンを押してください。

表示部に **100** が表示され、1カウント（1秒）ずつカウントダウンし、**0** になると同時に現在の水分値が表示されます。

尚、**熱風乾燥** ボタンによる水分測定は、何度でも有効です。



6. 熱風乾燥中に、次の条件を満たすと、乾燥が終了となります。

設定した停止水分値以下の水分値を自動的に連続2回検出すると、乾燥が終了となります。

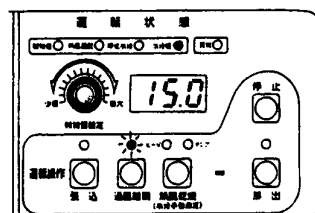
バーナが自動消火し、約10分後に本機が停止します。



熱風乾燥 ボタンによる水分測定値が、設定した停止水分値以下であっても乾燥終了の条件からは除外されますのでご理解ください。

設定した停止水分値以下の水分値が表示されているにもかかわらずバーナが燃焼しているときには、約10分間そのまま待ってください。10分の間に自動的に水分測定がおこなわれ、停止水分値以下の水分値が検出されると乾燥終了となりますので確認してください。

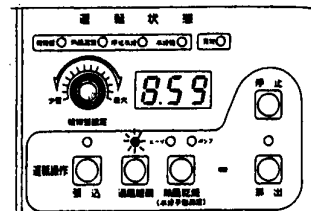
①通風循環ランプが点滅し、乾燥終了時の水分値を約1分間表示します。



約1分後

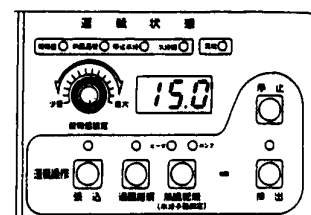


②表示部に **8.59** が表示され1カウント（1秒）ずつカウントダウンしていきます。



約9分後

③通風循環ランプが消灯し、再び乾燥終了時の水分値が表示されます。

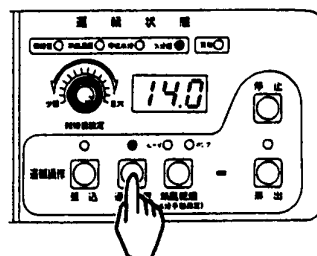


粉・麦を排出する前に

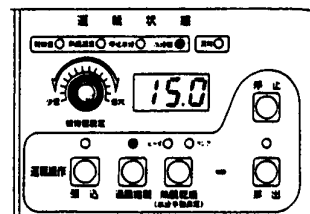


本機内の粉・麦をサンプル容器で取り出し、必ず手動水分計の水分測定値と制御盤に表示される水分値を比較し、必要に応じて水分補正をおこなってください。

1. **通風循環** ボタンを押してください。約140秒後に自動的に表示される水分値を確認してください。



140秒後



操作説明

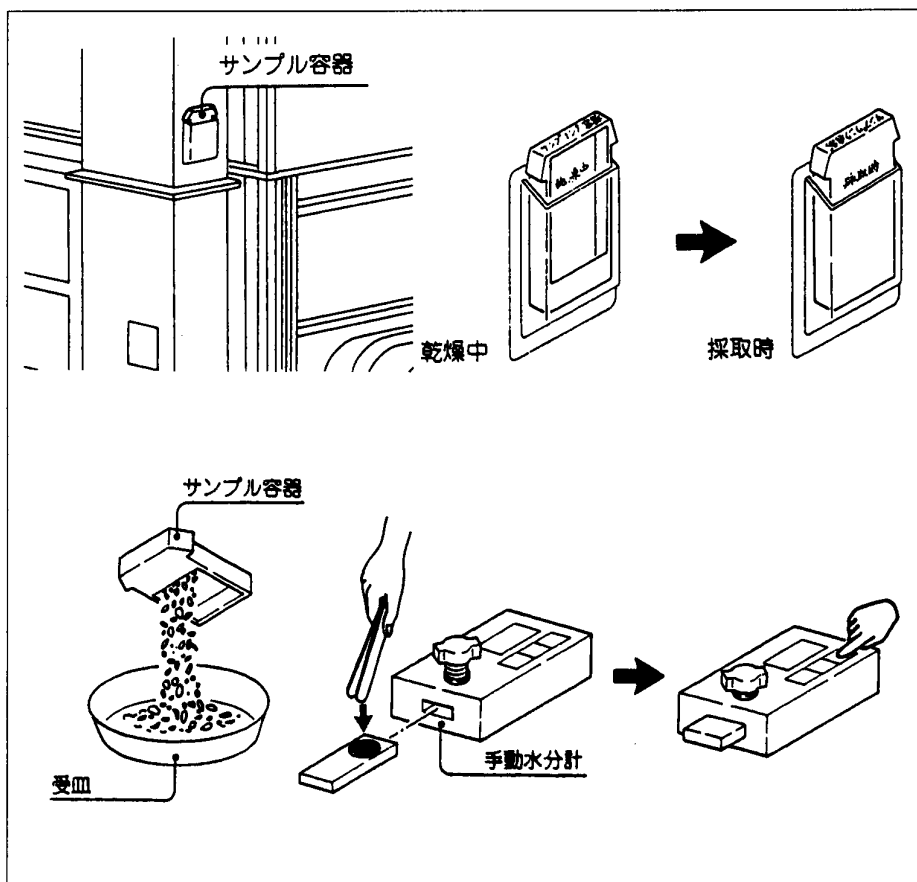
2. 次の手順で、粉・麦の水分を手動水分計で測定してください。

⚠注意

手動水分計で水分を測定する場合は、次のことを守ってください。

- (1) 採取したサンプルには、絶対手を触れないでください。
- (2) 常温にさましてから測定してください。
- (3) サンプルは定量入れ、ハンドルをストッパーまで回してください。

- ①通風循環中に、昇降機の側面にあるサンプル容器を取り出し、採取時の状態に入れ直してください。
- ②約30秒経過してから、サンプル容器を取り出し、受皿にサンプル容器内の粉・麦をあけてください。この作業を3～4回繰り返しおこなってください。
- ③採取した粉・麦の水分を、お持ちの手動水分計で3回以上測定し、その平均値を求めてください。



3. 制御盤に表示された水分値と手動水分計の測定値とに誤差があるときには次の手順で水分補正をおこなってください。

水分補正のしかた



水分補正とは、乾燥機で測定された水分値を実際の水分値（手動水分計による水分測定値）にあわせることをいいます。

水分補正は、**穀物補正** ダイアルのセット位置の変更と水分微調整ボリュームのセット位置の変更でおこなうことができます。

穀物補正 ダイアルのセット位置を現行の位置から変更することによって1目盛・1%の水分補正がおこなえ、表示部に表示されている水分値も連動して変化し、乾燥機で測定された水分値を実際の水分値にあわせることができます。

制御盤の水分表示と手動水分計の測定値との差が約1%ある場合

①手動水分計表示の方が高い水分の場合

- (1) 穀物補正ダイアルのセット位置を、現行の位置から1つ大きい数値に変更してください。

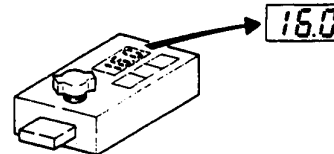
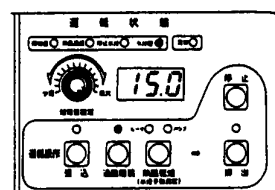
穀物補正ダイアルのセット位置を1つ変更すると1%の水分補正ができます。

水分補正ダイアルのセット位置を変更すると、表示部に表示されている水分値も連動して変化します。

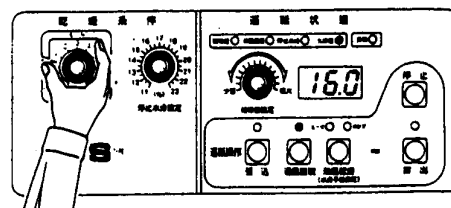
〔例〕

表示部に表示された水分値が15.0%

手動水分計の水分測定値が16.0%



穀物補正ダイアルのセット位置をもみ2→もみ3に変更



操作説明

②手動水分計表示の方が低い水分の場合

(1) 穀物補正ダイヤルのセット位置を、現行の位置から1つ小さい数値に変更してください。

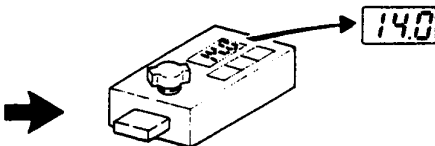
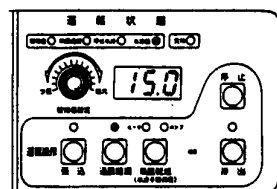
穀物補正ダイヤルのセット位置を1つ変更すると1%の水分補正ができます。

水分補正ダイヤルのセット位置を変更すると、表示部に表示されている水分値も連動して変化します。

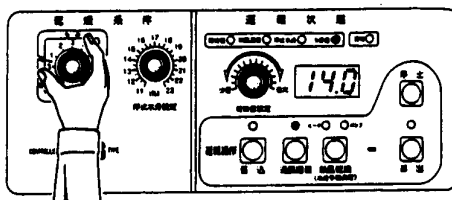
〔例〕

表示部に表示された水分値が15.0%

手動水分計の水分測定値が14.0%



穀物補正ダイヤルのセット位置を
もみ2→もみ1に変更



制御盤の水分表示と手動水分計表示との差が約1.5%ある場合

①手動水分計表示の方が高い水分の場合

(1) 穀物補正ダイヤルのセット位置を現行の位置から1つ大きい数値に変更してください。

穀物補正ダイヤルのセット位置を1つ変更すると1%の水分補正ができます。

水分補正ダイヤルのセット位置を変更すると、表示部に表示されている水分値も連動して変化します。

(2) 水分微調整ボリュームのセット位置を「0」から「+0.5」に変更してください。

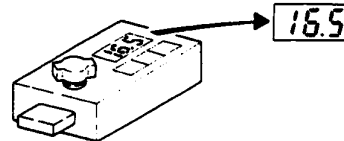
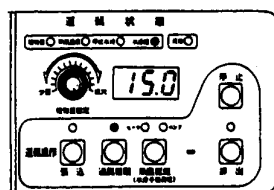


水分微調整ボリュームのセット位置を変更すると、表示部に表示されている水分値も連動して変化します。

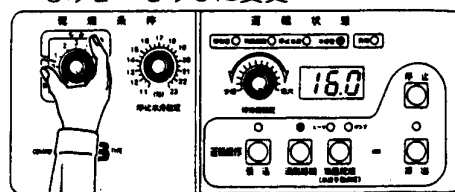
〔例〕

表示部に表示された水分値が15.0%

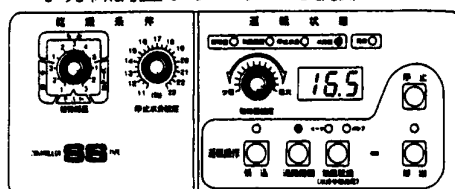
手動水分計の水分測定値が16.5%



穀物補正ダイヤルのセット位置を
もみ2→もみ3に変更



水分微調整ボリュームを調節



(1) 穀物補正ダイヤルのセット位置を、現行の位置から1つ小さい数値に変更してください。

穀物補正ダイヤルのセット位置を1つ変更すると1%の水分補正ができます。

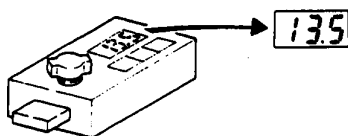
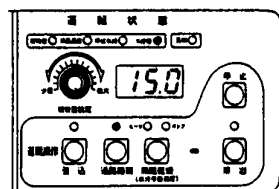
水分補正ダイヤルのセット位置を変更すると、表示部に表示されている水分値も連動して変化します。

(2) 水分微調整ボリュームのセット位置を '0' から '-0.5' に変更してください。

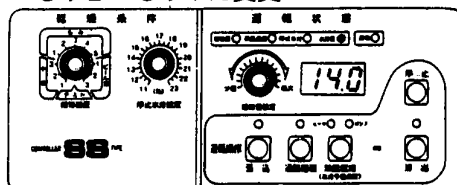
〔例〕

表示部に表示された水分値が15.0%

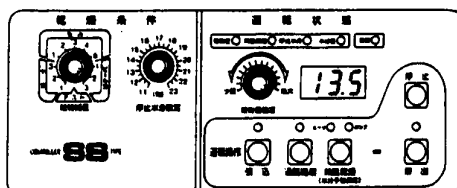
手動水分計の水分測定値が13.5%



穀物補正ダイヤルのセット位置を
もみ2→もみ1に変更



水分微調整ボリュームを調節



6. 水分補正終了後は、次のような作業をしてください。

①変更した水分値が変更前の水分値よりも大きくなった場合

穀物が設定した停止水分まで乾燥されていません。再び **熱風乾燥** ボタンを押して追乾燥してください。設定した停止水分になると、再び自動乾燥終了となります。

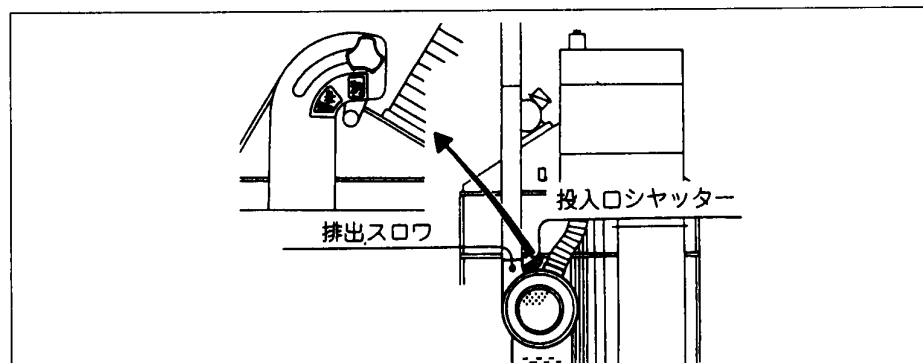
②変更した水分値が変更前の水分値よりも小さくなった場合

穀物が設定した停止水分よりも乾燥されています。お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にご相談ください。

粉・麦を排出する

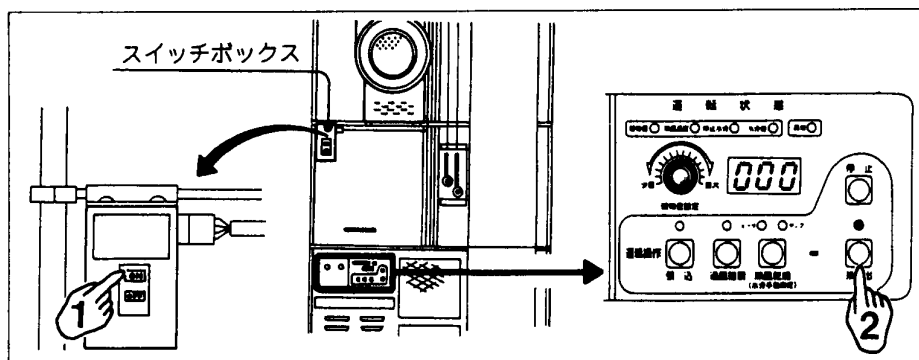
次の手順で乾燥が終了した粉・麦を排出してください。

1. 排出スロフを使用しているときは、排出する穀物の種類によって排出スロフ投入口シャッターを調節してください。ノブネジをゆるめ排出する穀物の種類の位置に固定してください。

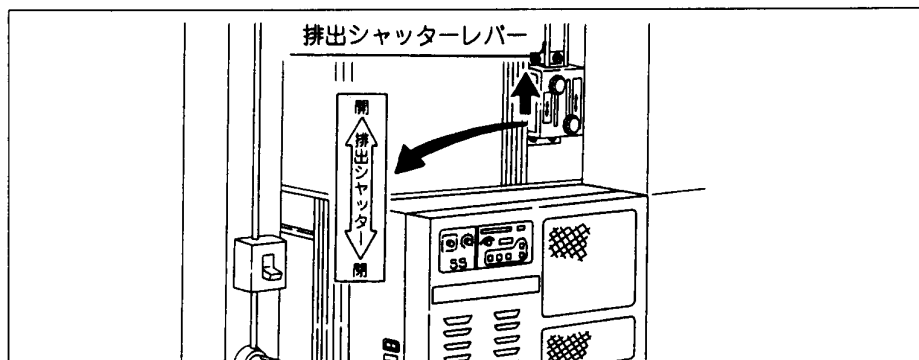


2. 排出スロフを使用しているときには、排出スロフのスイッチボックスの **ON** ボタンを押してください。
3. **排出** ボタンを押してください。

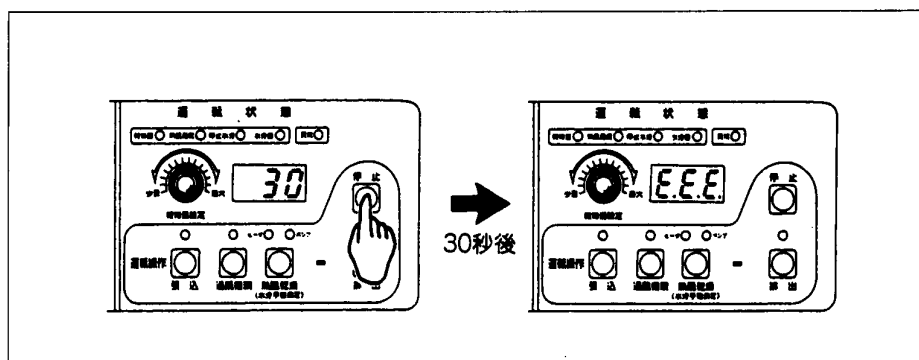
操作説明



4. 排出シャッターレバーを上を持ち上げ‘開’側にしノブネジで固定してください。元樋内部のシャッター板が開き、粉・麦が外部に排出されます。



5. 排出終了後、**停止** ボタンを押してください。本機が停止します。
表示部には **30** が表示され1カウント（1秒）ずつカウントダウンし、
約30秒後に **EEE** 表示となります。



6. 排出スロウを使用している時は、本機が停止してから操作パネルに **EEE** が表示されてから排出スロウのスイッチボックスの **OFF** ボタンを押して排出スロウを停止してください。

第 6 章

点検・整備

点検・整備一覧表…………… 6-02

点検・整備…………… 6-03

点検・整備

点検・整備一覧表		点 検 ・ 整 備 の 時 期			
	実 施 項 目	参照ページ	シーズン 前	シーズン 中	シーズン 終了後
グリス塗布箇所	駆動チェーンへのグリス塗布	6-04			○
エアークリフター	エアークリフターの掃除	6-04	○	○ 4～5乾燥毎	
	エアークリフターの交換	6-04	4年毎		
燃 料 系 統	油受け容器の残油処理	6-05		○ 随時	
	送油バルブ内エレメント掃除	6-06			○
燃 焼 系 統	バーナの分解掃除	6-06			○
	フレームアイの掃除	6-08	○		
検 出 器	ロール上の掃除	6-08			○
	ブラシの掃除	6-09			○
送 風 機	送風機ベルトの張り点検	6-10	○	○	
消 火 器	使用有効期限の確認	6-10	1年毎		
テ ス ト 運 転	異常音の有無確認	6-12	○		
	水分表示値の確認	6-12	○		
	バーナ燃焼状態の確認	6-12	○		
	異常ランプ点灯の確認	6-12	○		



点検・整備期間は個々の使用状態によって変わります。従って使用状態に合わせて点検・整備の時期を随時設定してください。

▲注意

上記点検一覧表の項目以外の箇所の点検・整備は、おこなわないでください。

点検・整備

この章では、乾燥機の性能を最高に保つために必要な点検・整備上の手順を詳述します。

最良の効率を上げるには、乾燥機の定期的な点検・整備が大切です。

特に、バーナ掃除は火災予防のためにも重要ですので、必ずおこなってください。以下各項で示す期間に点検・整備をおこなってください。点検・整備は必ず制御盤から電源プラグを抜いておこなってください。

随時点検・整備

本書で言う“随時点検・整備”とは、定期点検・整備以外の期間を示しています。

随時点検・整備期間は個々の使用状態に合わせて随時の点検・整備期間を決めてください。平均的な点検時間は、毎乾燥終了後です。

警告

点検・整備をおこなう場合、次に述べる衛生上のルールを守ることが大切です。

1. 点検・整備をおこなう前に、適当なハンドクリームを手に塗ってください。
2. 保護衣、つなぎ、ゴム手袋などを着用してください。また、バーナの分解掃除をするときには、必ずマスクを着用してください。
3. 点検・整備が終わりましたら、直ちに付着した灯油、カーボンを石鹼で洗い流してください。
4. 汚れた衣服は必ず脱いで、洗濯してください。
5. 点検・整備をおこなうときには作業所を明るくし、換気も十分におこなってください。

グリス塗布箇所

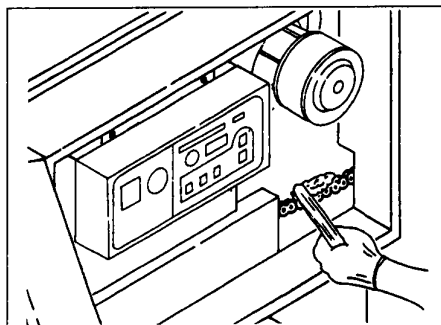
駆動チェーンへのグリス塗布

シーズン終了後に駆動チェーンにグリスを塗布してください。



- (1) 本機が起動しているときには、駆動チェーンにグリスを塗布してはいけません。
- (2) グリスを塗布したときに下に落ちたグリスは、必ずウエス等で拭きとってください。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②駆動チェーンにグリスを竹ヘラなどを使って適量塗布してください。
その後、バーナカバーを閉めてください。



エアーフィルター

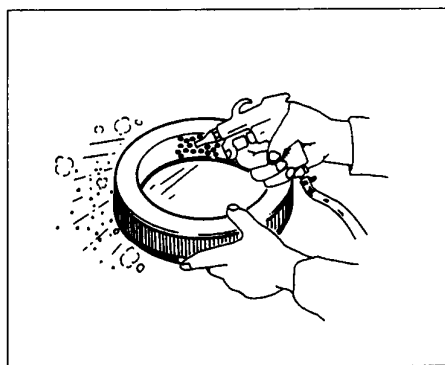
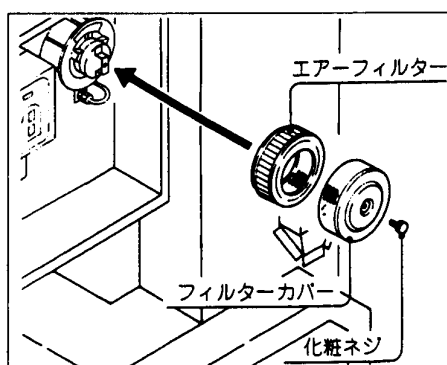
エアーフィルターの掃除・交換

シーズン前とシーズン中、4～5乾燥毎に掃除をしてください。また、4年毎に交換してください。

▲注意

エアーフィルターを掃除するときに、エアーフィルターの外側からエアークロワーで吹くと、ホコリが除去できず使えなくなってしまうです。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルターカバーの外側をきれいにしてください。
- ③化粧ネジを外して、フィルターカバーを取り外してください。フィルターカバーと一緒にエアフィルターが外れます。
- ④フィルターカバーからエアフィルターを引き抜いてください。
- ⑤フィルターカバーの内側をきれいにしてください。
- ⑥エアフィルターの内側から、エアブローでほこりを吹き落としてください。または、エアフィルターを廃棄して、新しいエアフィルターと交換してください。

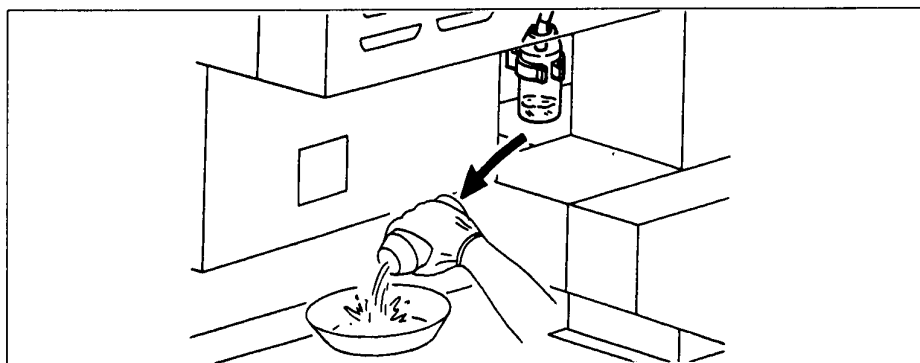


燃料系統

油受け容器の残油処理

随時、油受け容器の残油処理をおこなってください。

- ①油受け容器からドレーンパイプの先端を取り外してください。
- ②油受け容器を上引き抜いてください。
- ③油受け容器内の残油処理をしてから、再び元に戻してください。
- ④ドレーンパイプの先端を油受け容器内に戻してください。



送油バルブ内のエレメントの掃除

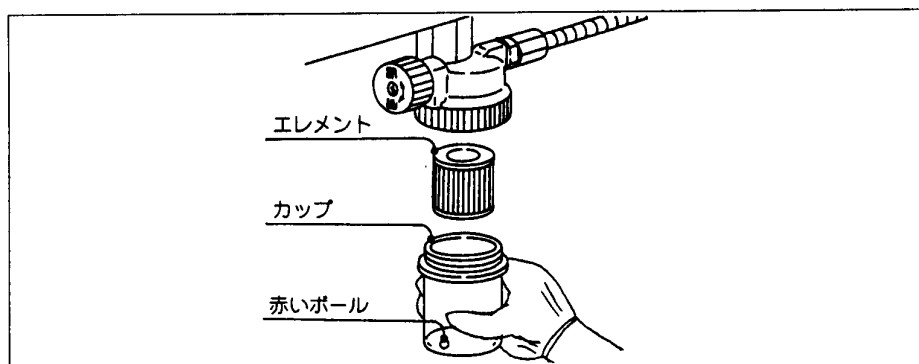
シーズン終了後にエレメントの掃除をおこなってください。

- ①送油バルブのコックを完全に閉めてください。
- ②カップを回して取り外し、カップ内の残油を処理してください。



カップ内の赤いボールは、燃料内に水が混入すると、浮かぶようになっていますので、残油を処理するときには紛失しないようにしてください。

- ③エレメントを下に引き抜いて、新しい灯油で洗浄してください。
- ④カップ内に赤いボールを入れて、手でねじ込んでください。締めすぎないでください。



燃焼部

バーナの分解掃除

4～5 乾燥毎、およびシーズン終了後におこなってください。

警告

バーナが熱いあいだにバーナの分解掃除をしてはいけません。
ヤケドの原因となります。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルターカバーとエアーフィルターを取り外してください。
取り外し方はP 6-04を参照してください。
- ③バーナモータコネクターを抜いてください。
- ④バーナ左側面からフレームアイを引き抜いてください。
- ⑤バーナの下に接続してある銅パイプ送油側の袋ナットをスパナで回し、取り外してください。

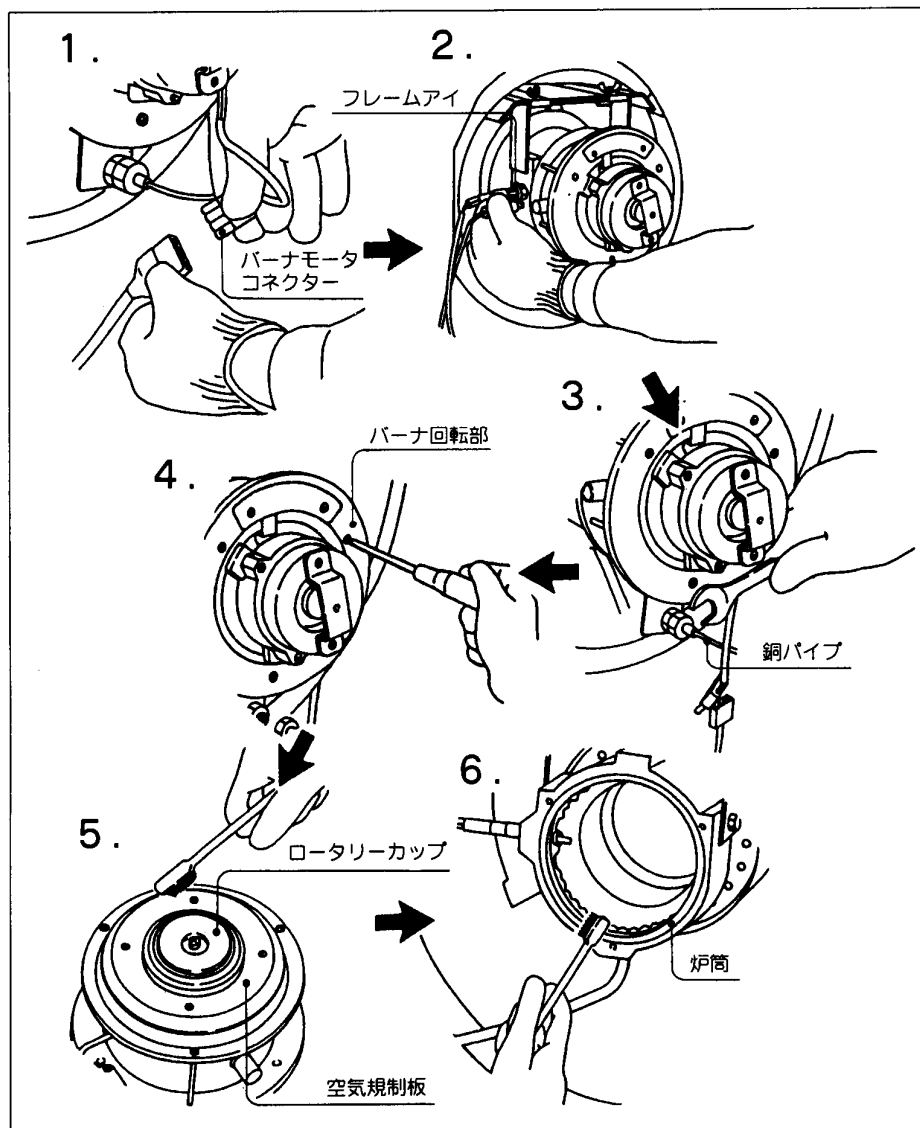
⑥バーナ回転部を固定している3本の丸小ネジをドライバーで取り外し、炉筒から回転部を分離してください。

⑦バーナ回転部のロータリーカップ、空気規制板上にカーボンが付着していればワイヤーブラシで取り除いてください。



空気規制板上に付着している薄い膜状のカーボンは、異常ではありません。

⑧炉筒内部にカーボンが付着していれば、ワイヤーブラシで取り除いてください。



点検・整備

フレームアイの掃除

シーズン前におこなってください。

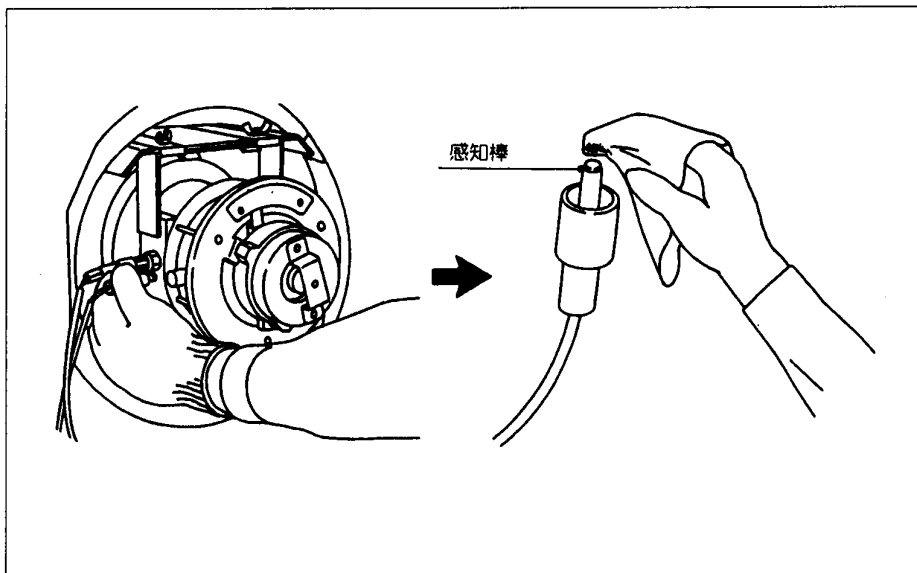
⚠注意

フレームアイの感知棒にキズをつけないように取り扱いってください。感知棒にキズがつくとバーナの炎を感知できず、連続燃焼しません。

①バーナカバーを開けてください。

②バーナからフレームアイを引き抜いてください。

その後、感知棒の先端とフレームアイパイプ内のホコリをやわらかい布で拭きとってください。



検出器

ロール上の掃除とブラシの掃除



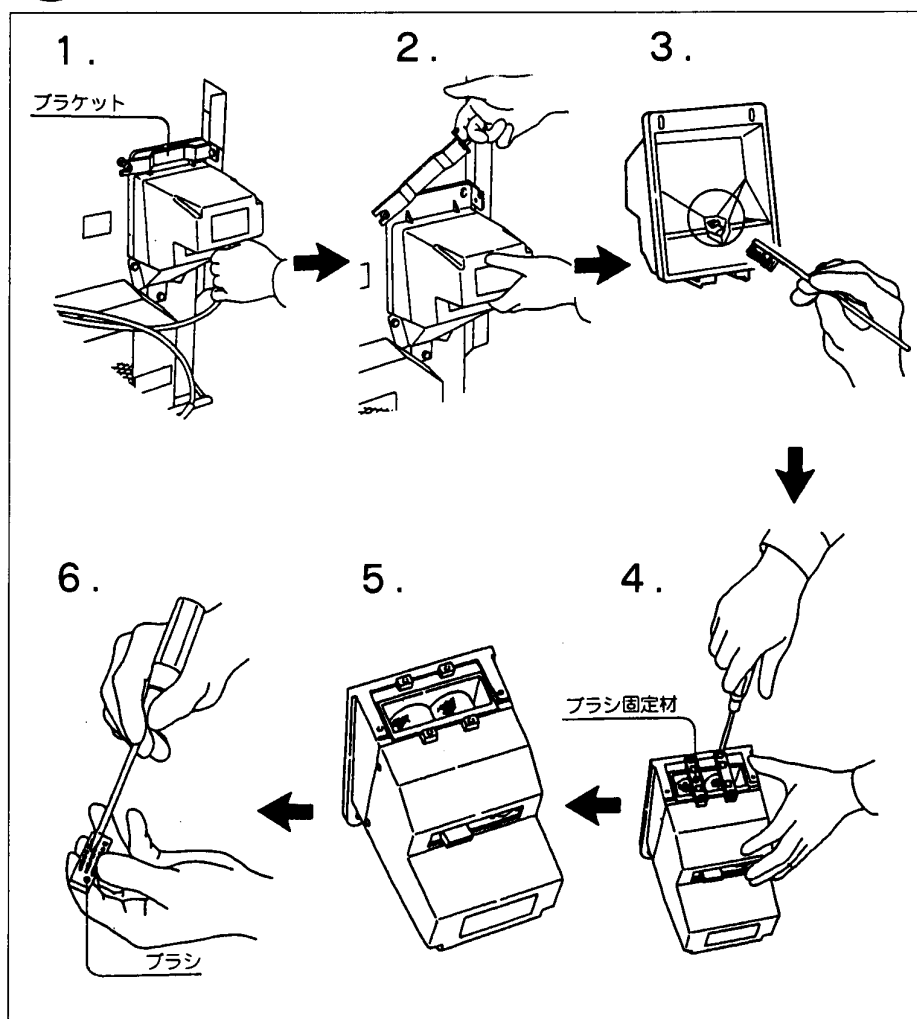
検出器を取り外すときには、落とさないように慎重に取り扱ってください。

①検出器に接続されているコード（2本）のコネクター部をつかんで手前に引き、外してください。

- ②片手を検出器にあてがい、もう一方の手でブラケットの右端を上を持ち上げて、ブラケットと検出器を取り外してください。
- ③ロール上にゴミ・異物等がありましたら、取り除いてください。
- ④検出器を裏側にして置き、適当な⊕ドライバーでブラシ固定材（2ヶ）を固定している小ネジを取り外してください。
- ⑤ブラシ（2ヶ）を取り外し、⊖ドライバー等の先端を利用してブラシ内の粉・麦の粉碎クズを取り除いてください。その後、組付けてください。
- ⑥ブラシの突起部が、ブラシ固定材の角穴に入るように乗せ、小ネジで検出器本体に締め付けてください。
- ⑦検出器を流し板の上に乗せ、ブラケットの左端のスリットをブラケット固定ボルトに引っ掛け、右端の突起部がブラケット固定材のカット部に入り込むように、上から押し込んでください。
- ⑧検出器にコード（2本）を再び接続してください。



コードはコネクターの形状にあわせて、しっかりと差し込んでください。



送風機

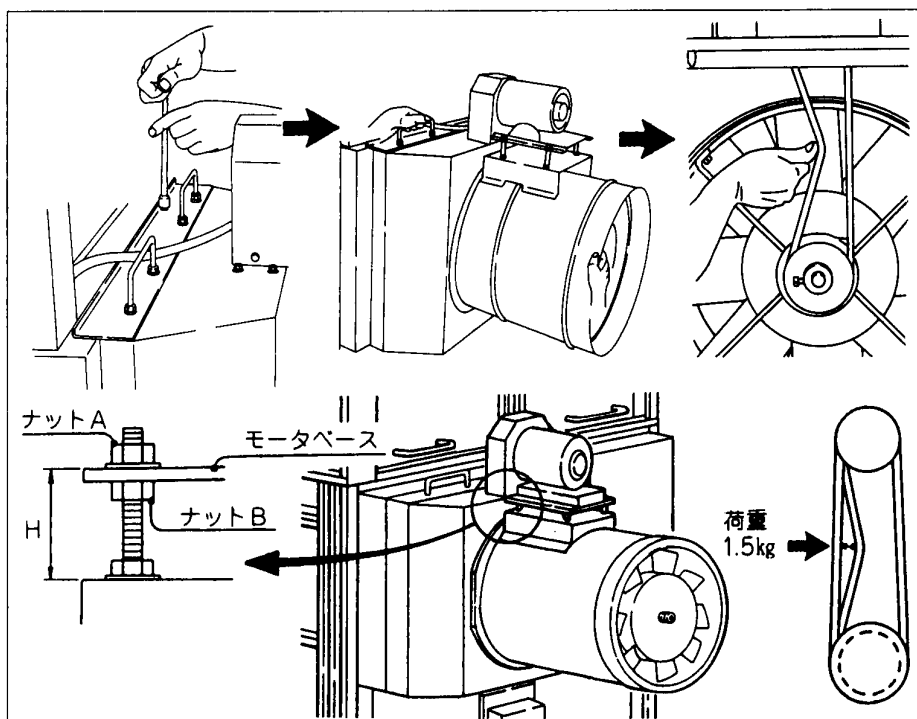
送風機ベルトの張り点検

シーズン前とシーズン中に送風機ベルトの張りを点検してください。また、ベルトがゆるんでいるときは、モータベースを調整してベルトを張ってください。

- ①送風機から排風ダクトを取り外してください。
- ②送風機チャンバー上部を固定しているボルトを2本取り外してください。
- ③送風機チャンバーの取手に手をを入れて送風機を上を持ち上げ、取り外してください。
- ④送風機ベルトのセンターを指先で押して、ベルトのたわみ量を確認してください。たわみ量が7mm以上あるときには、送風機ベルトを張ってください。

送風機ベルトの張り方

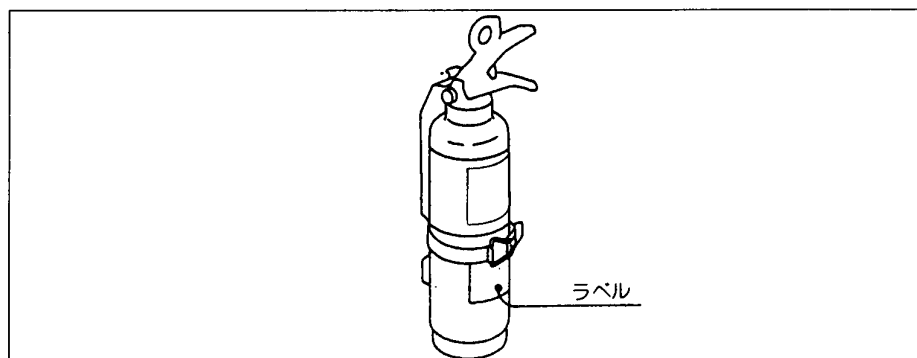
- ①モータベース上の4隅のナットAをスパナでゆるめてください。
- ②モータベース下の4隅のナットBを送風機ベルトのたわみ量を確認しながらH寸法が4ヶ所共、同寸法になるように締め上げてください。
- ③適正なたわみ量になりましたら、モータベース上の4隅のナットAをスパナで締め付けてください。



消火器

1年毎に有効期限を確認してください。

消火器に貼られているラベルに有効期限が書いてありますので確かめて、古いものは新しいものと交換してください。



保護用ヒューズの交換

警告

- (1) 保護用ヒューズを交換するときには、必ず制御盤から電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- (2) 切れたヒューズの代わりにアンペアの大きいヒューズを取り付けるのは絶対にやめてください。漏電したり、火災の原因となります。

ヒューズの交換のしかた

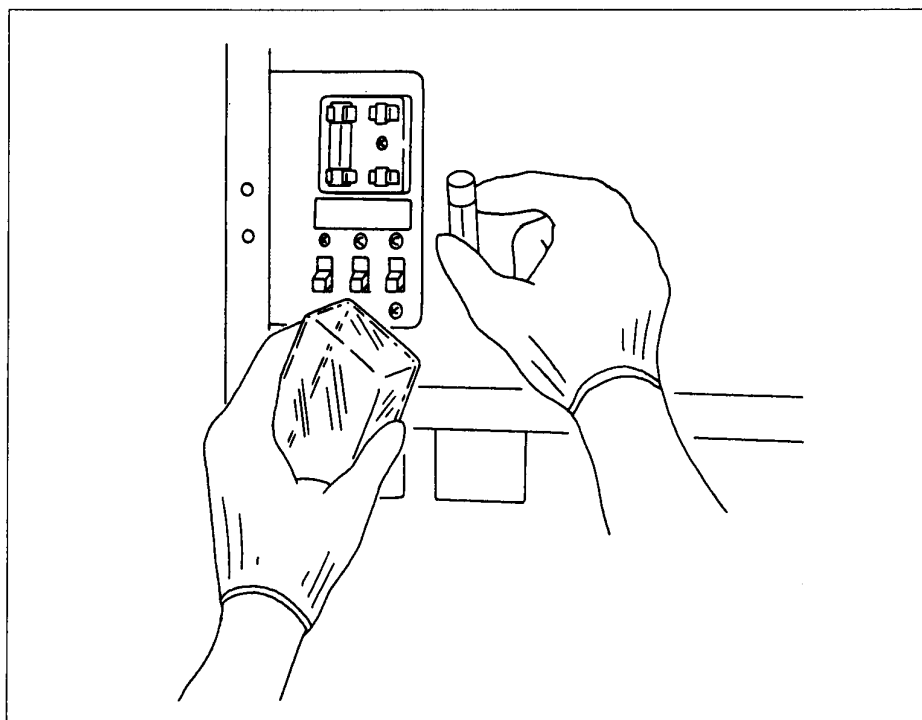
- ① 正面カバーを開けてください。
- ② 操作パネルの固定ビス（2本）を適当な⊕ドライバーを使って取り外してください。その後、操作パネル部を手前に開けてください。
- ③ 感電防止板を固定しているナイラッチ（4ヶ）のツマミを手前に引いてください。その後、感電防止板を取り外してください。
- ④ ヒューズカバーを取り外して不良品を引き出し、新品と交換してください。



⊕ドライバーの先端をヒューズの下に入れて、軽く上に持ち上げるとヒューズが簡単に取り外せます。

6-12

点検・整備



テスト運転のしかた

シーズンに入る前に必ずテスト運転をおこない、乾燥機の動作チェックをおこなってください。事前に乾燥機の故障箇所の有無をチェックできますので余裕をもってシーズンをむかえることができます。

運 転 順 序		確 認 事 項	チェック欄
1	①電源コードを接続する ②電源スイッチを 'ON' にする	①全ランプ点灯（但し、ヒータ・ポンプランプは除く） ②表示部 88.8 → 5-1 → 000 ③モニターランプが点灯しますか？	
2	①穀物種類に 'テスト' を選択する		
3	① 張込 ボタンを押す	①昇降機、上部・下部コンベア、排塵機が起動します ②異常音の発生がありますか？	
4	① 通風循環 ボタンを押す	①繰出しモータが回転します ②水分測定表示が下グラフ上の値の近似値が表示されるか？（例：外気温20℃の場合は14.5%前後の値が表示されます） 測定値 (%) 外気温度 (℃)	
5	① 熱風乾燥 ボタンを押す	①バーナが着火します 約30分間連続燃焼させてください ②バーナ燃焼状態は良好ですか？	
6	① 停止 ボタンを押す	①バーナが消火し、10分後に本機が停止します	

点検・整備

運 転 順 序		確 認 事 項	チェック欄
7	① 排出 ボタンを押す	①昇降機、上部・下部コンベア、繰出しモータ、排塵機（送風機）が起動します ②排出スロワ装着時の場合は排出スロワも起動します	
8	① 停止 ボタンを押す	①昇降機、上部・下部コンベア、繰出しモータ、排塵機、（送風機）が停止します	
9	●排出スロワ装着の場合 ①排出スロワ用スイッチボックスの OFF ボタンを押す	①排出スロワが停止します	
10	①電源スイッチを 'OFF' にする ②電源コードを抜く		



テスト運転時に異常が発生した場合には、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

第7章

掃除と保管

掃除と保管

この章では、シーズン中に異なった品種を乾燥する場合、あるいはシーズン終了後の掃除箇所と方法および乾燥機の保管のしかたについて詳述します。

掃除のしかた



警告

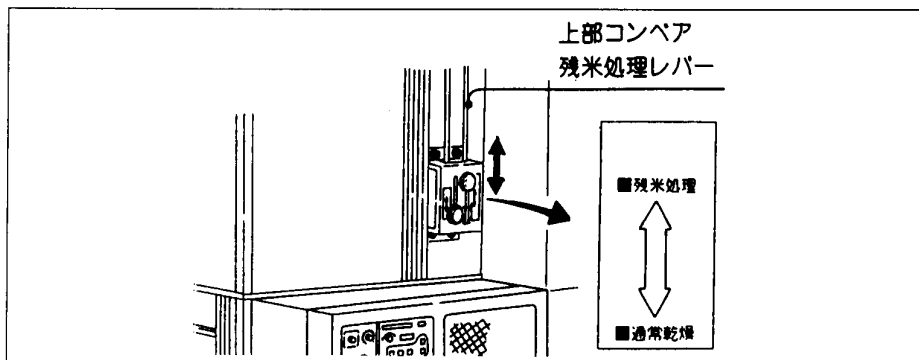
掃除をおこなう場合、次に述べるルールを守ることが大切です。

1. 保護衣、つなぎ、ゴム手袋およびマスクなどを着用してください。
2. 掃除が終わりましたら、そのつど直ちに取り外した蓋、カバー、側板等は元の位置に戻してください。
3. 汚れた衣服は必ず脱いで洗濯してください。
4. 掃除をおこなうときには、作業所を明るくし、換気を十分におこなってください。
5. 掃除をおこなったときに、機外に取り除かれた残留物は、直ちに処理してください。
6. 掃除は必ず制御盤から電源プラグを抜いておこなってください。

次の手順で、乾燥機内の残留物を取り除いてください。

1. 上部コンベア樋の残留物を取り除いてください。

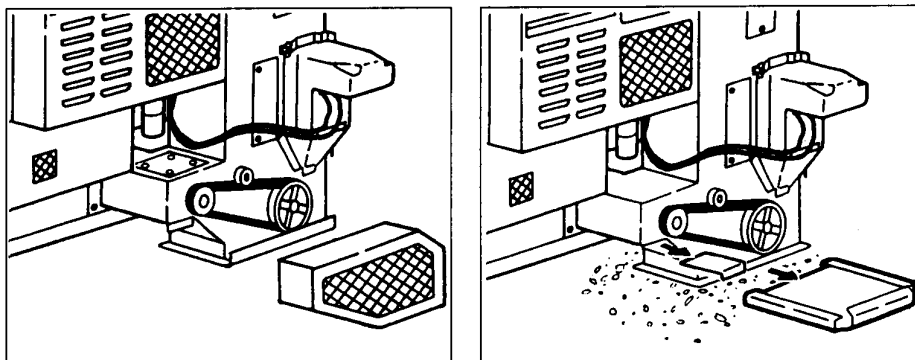
- ①上部コンベア残米処理レバーを固定しているノブネジをゆるめ、レバーを数回、上下に動かしてください。上部コンベア樋内部の残留物が乾燥機内部に落下します。



2. 昇降機下部の残留物を取り除いてください。

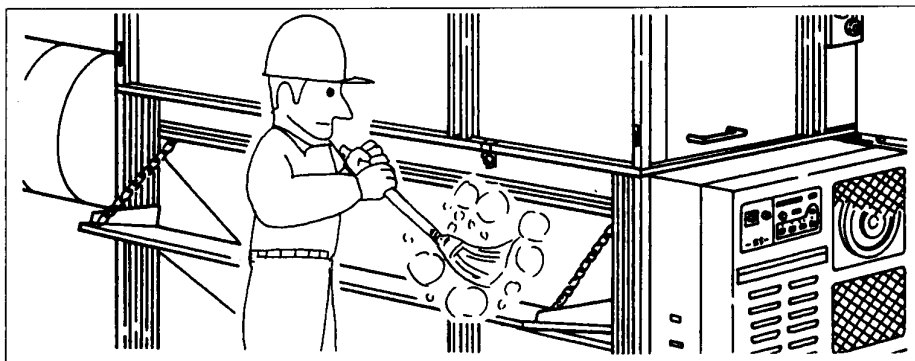
①駆動部カバーの固定ボルト（3本）をスパナ（10mm）を使って外してください。その後、カバーを取り外してください。

②掃除口蓋2ヶ所を手前に引いて取り外してください。

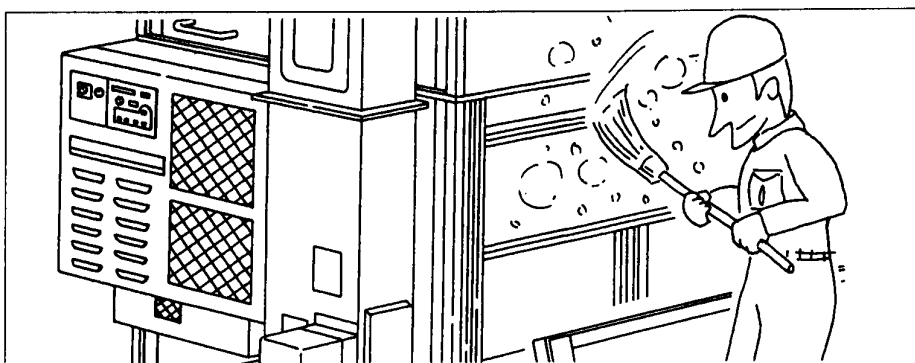


3. 乾燥部内の残留物を取り除いてください。

①張入口を開けて、スノコ面およびその周辺の残留物をほうき等を使って取り除いてください。



②反対の側面にある塞ぎ板を固定しているボルト（3本）を取り外し、スノコ面およびその周辺の残留物を取り除いてください。



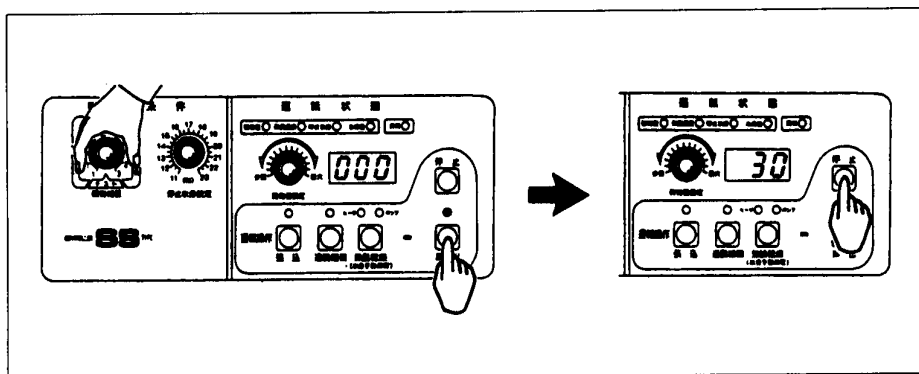
掃除と保管

4. 乾燥機を次の手順に従って空運転してください。



空運転をする前に必ず、前記で取り外した蓋・カバー・側板等が元に戻っていることを確かめてください。

- ① 穀物補正ダイヤルを回し、'テスト' をあわせてください。
- ② **排出** ボタンを押して約10分間稼働してください。
- ③ 空運転後、**停止** ボタンを押して本機を停止してください。

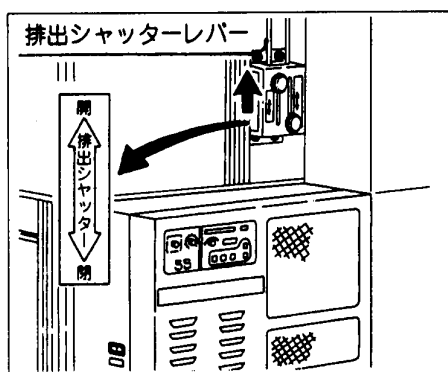


5. 元樋内部の残留物を取り除いてください。



元樋内部の残留物が、排出樋から排出されますので、あらかじめコンバイン袋等を準備してください。

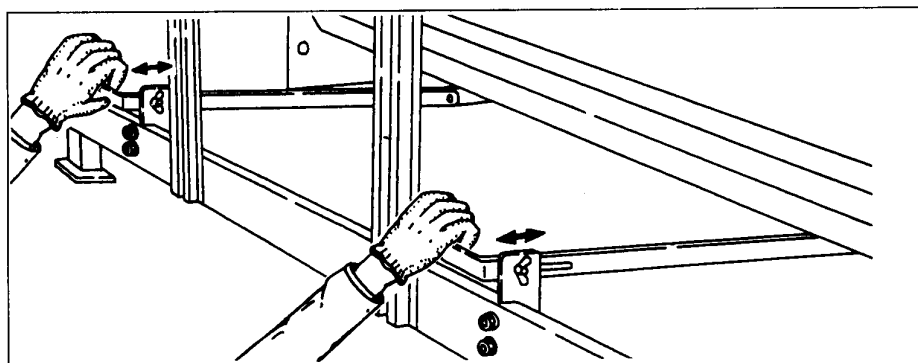
- ① 排出シャッターレバーを上を持ち上げ '開' 側にしてください。



6. 下部コンベア残米処理レバーの蝶ナットをゆるめ、前後に数回開閉操作をしてください。



下部コンベア残米処理レバーは、左右同時に操作してください。

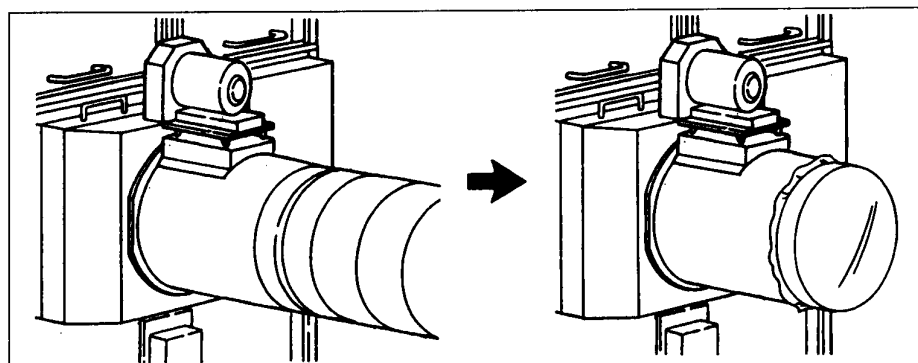


保 管

乾燥機を長期間、保管する場合は、乾燥機を保護する、また、事故防止のために適切な予防措置を取らなければなりません。方法については次の通りです。

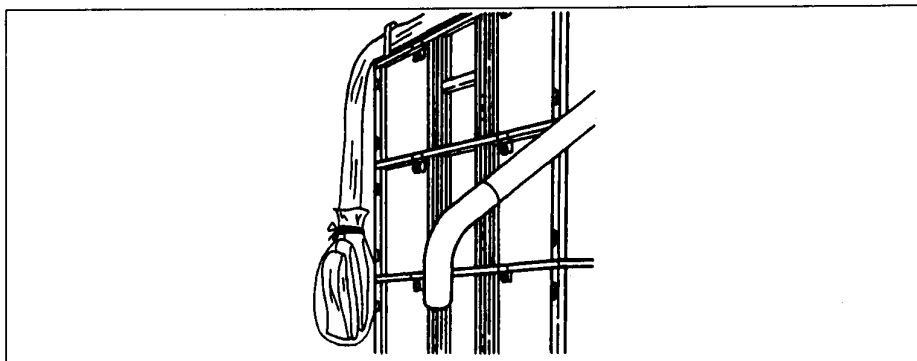
本機の保管のしかた

- ①送風機から排風ダクトを取り外してください。その後、付属の送風機カバーをダクトバンドで固定してください。
取り外した排風ダクトは、付着しているホコリを払って、ダンボールなどに収納してください。



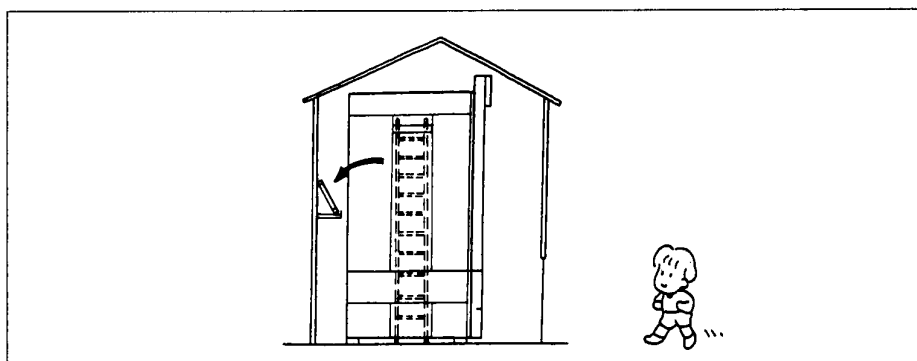
掃除と保管

- ②排塵ダクトの先端部を折りたたんで、ビニール袋などの中に収納してヒモで結わえてください。



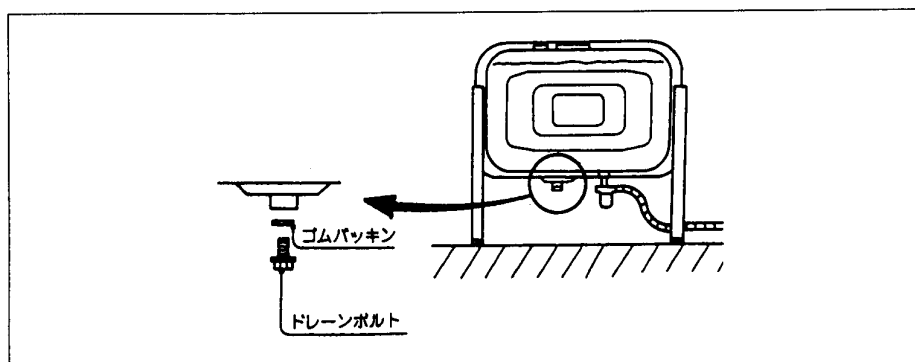
ハシゴの保管のしかた

- ①ハシゴは、ハシゴ掛け金具から取り外し、子供の手の届かない場所に保管してください。



燃料タンクの保管のしかた

- ① 燃料タンクの底にあるドレーンボルトをスパナで取り外し、残油を取り除いてください。

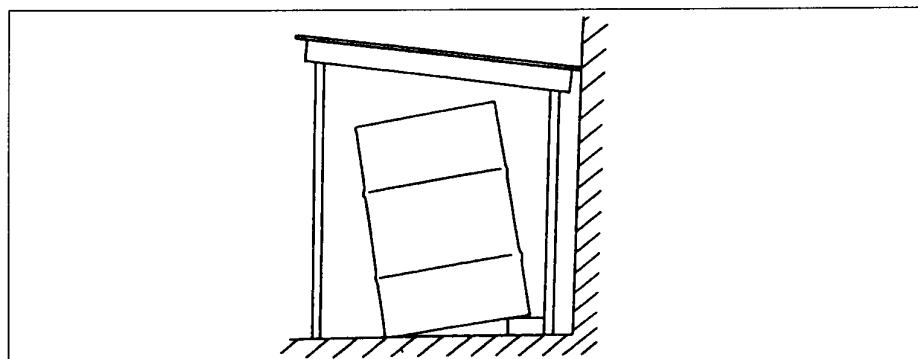


燃料（灯油）の保管のしかた



最も注意すべきことは、燃料をきれいに保管することです。
次の注意事項を守って、燃料の保管に万全を期してください。

1. 保管する容器の内側は、毛ばだった布切れで決して拭いてはいけません。
2. ドラム缶は雨水が入らないように、カバーを掛けてください。また、ドラム缶で保管する場合は、少し傾けて、上部の縁から水が逃げるようにしなければなりません。
3. 屋外で使用するドラム缶はねじ蓋をしっかり締めて、水が入らないようにしなければいけません。



第8章

故障診断と処置

故障診断と処置

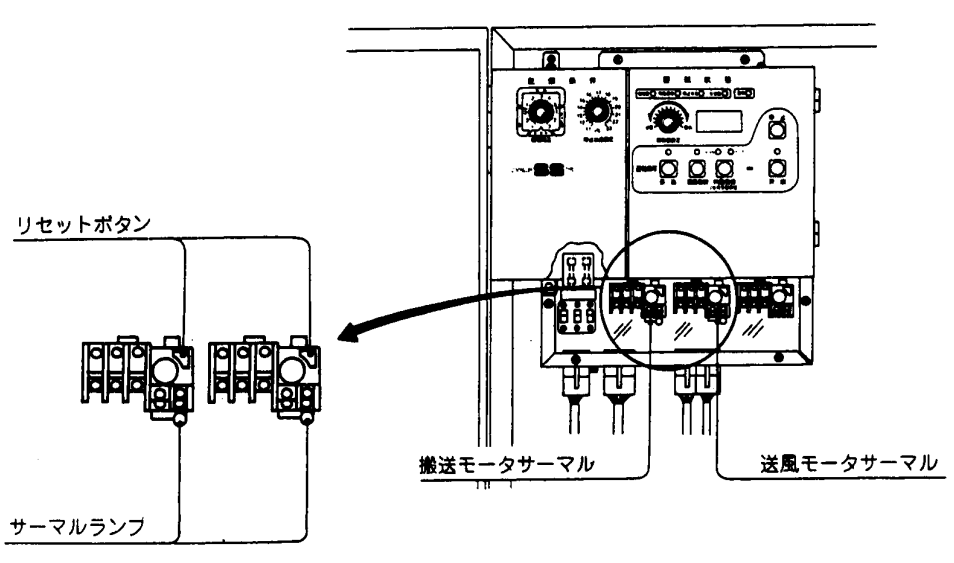
下記項目に従って点検されても直らないときには、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
電源	制御盤の電源スイッチを ‘ON’ にしても操作パネルに何も表示しない	電源コードが制御盤から外れている。 電源コードを制御盤に差し込んでください。	5-02
		元電源のブレーカスイッチが ‘OFF’ になっている。 ブレーカスイッチを ‘ON’ にしてください。	5-02
		制御盤の電源ヒューズが溶断している。 電源ヒューズ (2 A) を交換してください。	6-11
源	元電源のブレーカスイッチを ‘ON’ すると同時に本機が起動してしまう	緊急用スイッチが ‘手動’ 側になっている。 緊急用スイッチを ‘自動’ 側に切り換えてください。	10-04
張	各ボタンを押してもモータが回転しない	電源コードのコネクター内部の端子がゆるんでいる。 コネクター内部の端子を締め付けてください。	
		電源コードが断線してる。 電源コードを交換してください。	
込	排塵ダクトが膨らまずにしぼんでしまう	排塵機が稼働していない。 排塵機ヒューズ (2 A) を交換してください。	6-11
通風循環	駆動チェーンが動いたり、止まったりする	異常ではありません。 設定した穀物量に応じて、繰出しモータが間欠運転をおこない、穀物が約1時間に1循環するように制御しています。但し、水分測定時は連続回転となります。	5-19
通風循環・熱風乾燥	操作パネル上の表示ランプの点灯位置が自動的に変わる	異常ではありません。 表示ランプの点灯位置は、約3秒毎に移動し、そのつど表示部にデータが表示されます。	5-19
熱風乾燥	手動水分計と水分値があわない	検出器ロール上にゴミが溜まっている。 検出器を掃除してください。	6-08
		水分補正ダイヤルのセット位置が適切でない。 水分補正ダイヤルを適切な位置にセットしてください。	5-27

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
熱	手動水分計と水分値があわない	18.0%以上の水分を測定、比較している。 水分値が18.0%以上のときには、手動水分測定値と制御盤表示値の間にある程度の水分誤差が生じます。乾燥終了後に再度、水分測定をおこなってください。	
		手動水分計の使い方が間違っている。 もう一度、手動水分計の使い方をお確かめ、水分測定をおこなってください。	5-26
		水分値補正の値が適切でない。 再び、水分値補正をおこなってください。	5-10
風	水分値表示がいつになっても変わらない	異常ではありません。 水分値表示は、自動的に水分測定がおこなわれたときだけに変わり、常時変化するものではありません。 現在の水分値をお確かめるには、 水分測定 ボタンを押してください。	5-21
乾	乾燥時間が長くなりすぎる	送風機の回転数が落ちている。 送風機ベルトを張ってください。	6-10
		排風ダクトの抵抗が大きく風量が低下している。 排風ダクトをまっすぐにピンと張ってください。	4-02
		エアフィルターがホコリで目詰まりしている。 エアフィルターを掃除してください。	6-04
		温度調整ボリュームがマイナス方向にセットしてある 温度調整ボリュームを調節してください。	5-09
燥	停止水分以下の水分値が表示されていてもバーナが消火しない	異常ではありません。 設定した停止水分値以下の水分値を自動的に連続2回検出するとバーナが自動消火し、約10分後に本機が停止します。自動的に水分測定がおこなわれるまでお待ちください。	5-24

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
排出	排出スロフがすぐにつまってしまう	排出操作手順が間違っている 排出スロフを稼働してから、排出シャッターレバーを '排出' 側にしてください。	5-31
異常ランプ点灯	異常ランプが点灯する	異常ランプが点灯している場合には、必ず他のランプが点滅していますので、どのランプが点滅しているのか確認してください。	
		①張込ランプが点滅している。 搬送モータあるいは送風モータが過負荷となり、サーマルリレーが作動しています。正面カバーを開いて、サーマルランプが点灯している箇所を確認してください。その後、制御盤から電源プラグを抜き、ランプの点灯していたサーマルのリセットボタンを押してください。 ⚠ 警告 サーマルのリセットボタンを押すときには、必ず制御盤から電源プラグを抜いてください。 感電することがあります。 	

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
異 常 ラ ン プ 点 灯	異常ランプが点灯する	(1) 搬送モータサーマルランプが点灯している場合 粉・麦の張り込みすぎによって昇降機下部が粉詰まりしている。 昇降機下部の掃除口蓋を取り外し、残留物を取り除いてください。	7-13
		起動前に粉・麦をホッパーから投入している。 本機起動後、粉・麦をホッパーから投入してください。	5-16
		(2) 送風モータサーマルランプが点灯している場合 お買い上げの販売店にご連絡ください。	
		●通風循環ランプが点滅している。 繰出しモータが過負荷となり、サーマルリレーが作動しています。その後、制御盤から電源プラグを抜き、繰出しモータサーマルのリセットボタンを押してください。 ⚠ 警告 サーマルのリセットボタンを押すときには、必ず制御盤から電源プラグを抜いてください。 感電することがあります。 The diagram shows a control panel with various components. A label 'リセットボタン' (Reset Button) points to a button on the left. Another label '繰出しモータサーマル' (Feed Motor Thermal) points to a component on the right. An arrow indicates the sequence of actions: unplugging the power plug and then pressing the reset button.	

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
異 常 ラ ン プ 点 灯	異常ランプが点灯する	③水分値ランプが点滅している。 停止ボタンを押すと異常ランプが消灯します。 (1) 表示部に -LL が表示されている場合 検出器接続コードが断線している お買い上げの販売店にご連絡ください。	6-08
		穀物補正ダイヤルを 'テスト' にせずに空運転している 空運転をする場合には穀物補正ダイヤルを必ず 'テスト' にしてください。	7-04
		検出器ロール上にゴミ等が溜まっている 検出器を掃除してください。	6-08
		(2) 表示部に -HH が表示されている場合 検出器ロール間に金属片を噛み込んでいる。 検出器を掃除してください。	6-08
		④ヒータランプが点滅している 停止ボタンを押すと異常ランプが消灯します。 排風ダクトに抵抗がかかり風量が低下している 排風ダクトをまっすぐにピンと張ってください。	4-02
		点検蓋・掃除口蓋が開いている 点検蓋・掃除口蓋を閉めてください。 送風機ベルトがゆるんでいる 送風機ベルトを張ってください。	6-10

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
異 常 ラ ン プ 点 灯	異常ランプが点灯する	①熱風温度ランプが点滅する 停止ボタンを押すと異常ランプが消灯します。 熱風温センサーが断線・ショートしている お買い上げの販売店にご連絡ください。	3-05
		②停止ランプが点滅する 停止ボタンを押すと異常ランプが消灯します。 (1) 電源スイッチを 'ON' にすると、停止ランプが点滅する場合 お買い上げの販売店にご連絡ください。	
		(2) 熱風乾燥ボタンを押してもバーナが着火せずに、停止ランプが点滅する場合 燃料切れ 燃料タンクに灯油を注油してください。	1-17
		送油バルブのコックが閉まっている コックを開けてください。	5-15
		送油バルブのエレメントが詰まっている エレメントを洗浄してください。	6-06
		燃料に軽油を使用している 燃料タンク内を洗浄し、灯油を注油してください。	1-17
		燃料ホースにエアが噛んでいる 燃料ホースのエア抜きをしてください。	5-12

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
異 常 ラ ン プ 点 灯	異常ランプが点灯する	(3) 熱風運転乾燥中、バーナがいつのまにか消火して停止ランプが点滅した場合 燃料切れ 燃料タンクに灯油を注油してください。	1-17
		送油バルブのエLEMENTが詰まっている ELEMENTを洗浄してください。	6-06
		燃料ホースにエアが噛んでいる 燃料ホースのエア抜きをしてください。	5-12
		(4) 穀物量ランプが点滅している場合 停止ボタンを押すと異常ランプが消灯します。 バーナコードが断線している お買い上げの販売店にご連絡ください。	

第 9 章

付属品とオプション品

付属品…………… 9-02

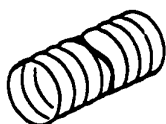
オプション品…………… 9-03

付属品とオプション品

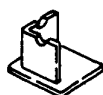
付属品

本機の付属品には、次のものがありますので、確認してください。

①排風ダクト..... 1



②車輪受材..... 4



③油受容器..... 1

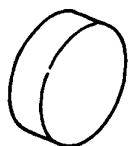
油受かん固定材..... 1



④燃料ホース..... 1



⑤送風機カバー..... 1

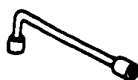


⑥消火器..... 1

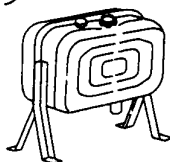
ブラケット..... 1



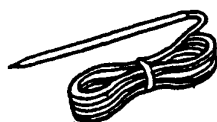
⑦Lボックス..... 1



⑧燃料タンク..... 1



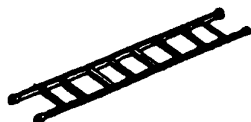
⑨アース棒..... 1



⑩4 P コネクター..... 1



⑪ハシゴ..... 1



⑫管ヒューズ..... 1
(2 A)



⑬取説収納ケース..... 1



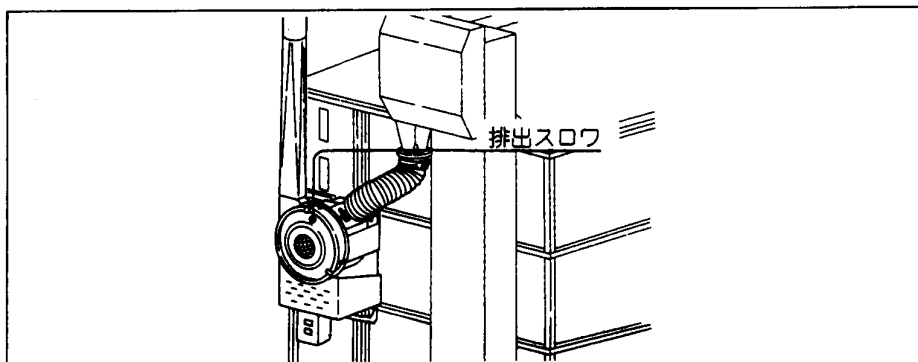
付属品とオプション品

オプション品

この乾燥機のオプション品には、次のようなものがあります。尚、詳細については、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

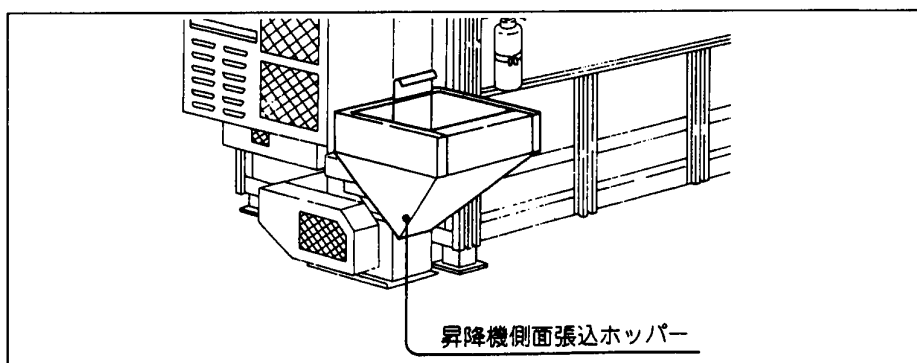
1. 排出スロフ〔型式名：SBS-80〕

乾燥が終了した粉・麦を貯蔵庫に搬送することができます。排出スロフは、本機に装着、あるいは床置きにてご使用することができます。



2. 昇降機側面張込ホッパー〔型式名：SRH-07M〕

昇降機の側面から粉・麦を張り込むことができます。



付属品とオプション品

3. 排風エルボ

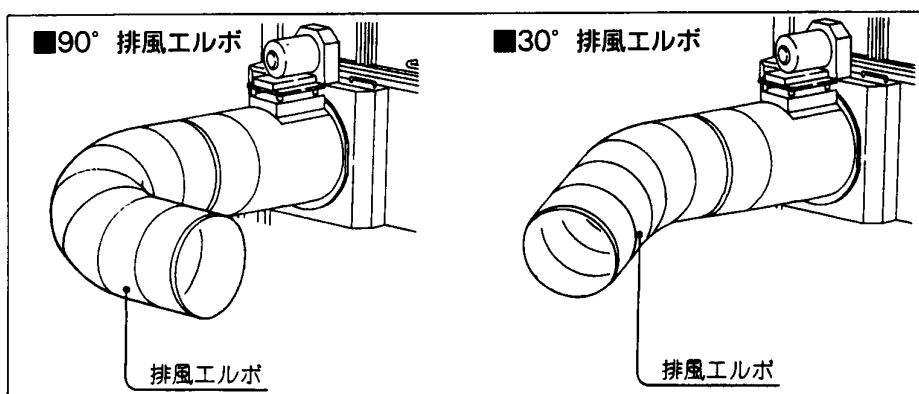
送風機に装着し、排風方向を変えたり、排風ダクトの曲がりを防ぐことができます。排風エルボには、次の2種類があります。

①90° 排風エルボ〔型式名：ECA-90E〕

φ485の鉄製90° エルボです。

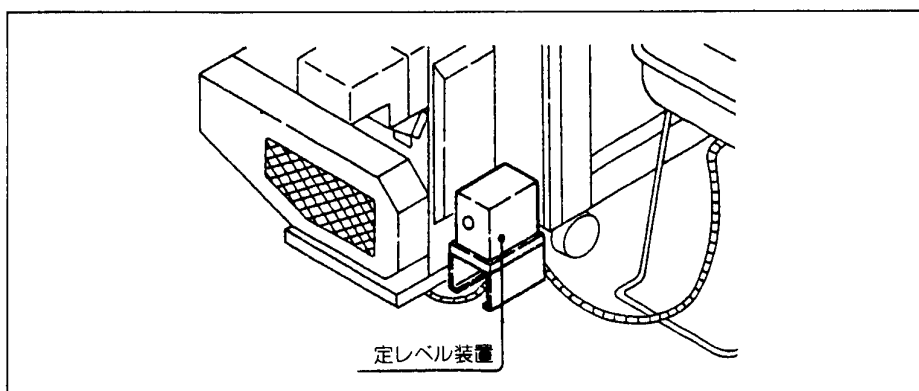
②30° 排風エルボ〔型式名：ECA-30E〕

φ485の鉄製30° エルボです。



4. 定レベル装置〔型式名：SPH-440〕

①電磁ポンプにかかる油圧を一定に保ち、安定した油量をポンプに補給する装置です。



付属品とオプション品

5. 集塵装置

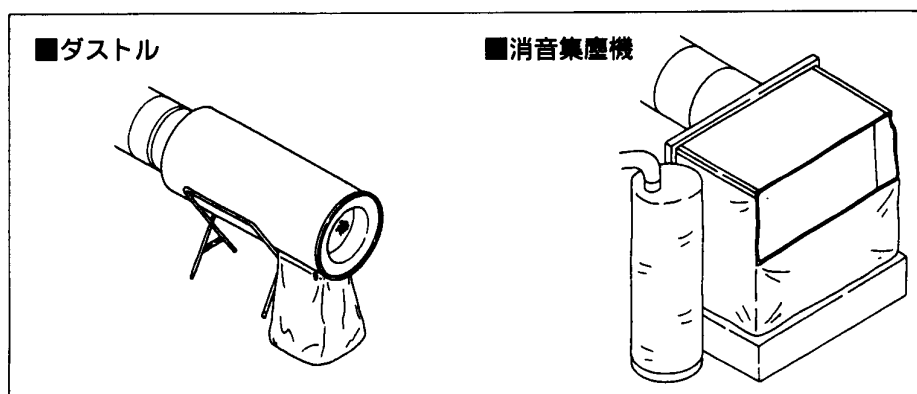
送風機あるいは排塵機から出るゴミ・ホコリを含んだ排風からゴミ・ホコリを取り除くことができます。集塵装置には、次の種類があります。

①ダストル〔型式名：D-7050〕

ゴミ・ホコリを含んだ排風を本体内で遠心分離して備えつけ集塵袋にゴミ・ホコリを収納することができます。また、集塵袋は簡単に取り外しができます。

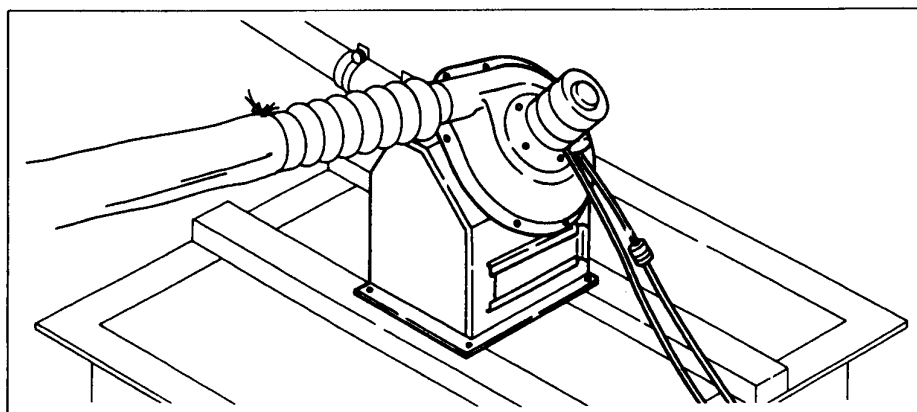
②消音集塵機〔型式名：SC-90〕

ゴミ・ホコリを含んだ排風にポンプで循環している水をシャワー状に噴霧して、ゴミ・ホコリを取り除きます。また、組立分解式ですので収納するにも便利です。



6. スロワ用除塵機〔型式名：DSB-60〕

排出スロワ吐出口の先端に本体を装着し、排出時に出るホコリの害を解消することができます。



付属品とオプション品

7. 搬送装置

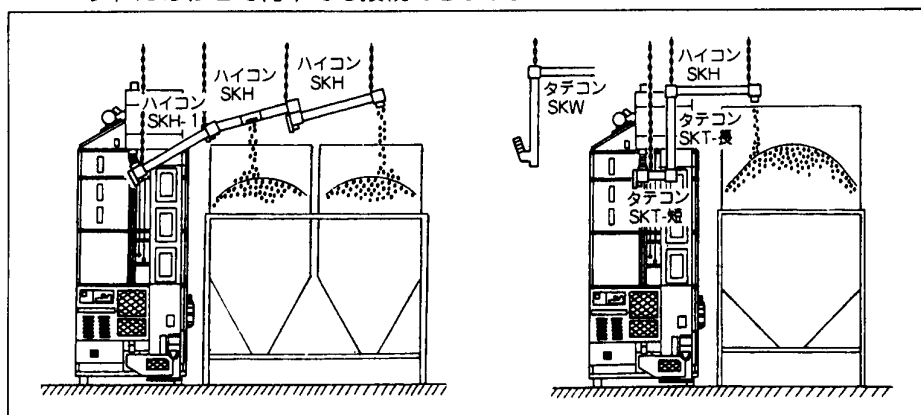
乾燥が終了した粉・麦を貯蔵庫に搬送することができます。一般的には、乾燥機と貯蔵庫との位置関係で排出スロウが使用できない場合に使います。

①ハイコン〔型式名：SKH-1・SKH〕

横送り用のスクリーンコンベアを使用し、ホコリが少なく衛生的でレイアウトにあわせて何本でも接続できます。

②タテコン〔型式名：SKT-短・SKT-長・SKW〕

垂直送り用のスクリーンコンベアを使用し、ホコリが少なく衛生的でレイアウトにあわせて何本でも接続できます。



第10章

応急運転

応急運転

操作パネル上に異常ランプが点灯していないにもかかわらず、各ボタンを押しても本機が起動しない場合には、応急運転ができます。

⚠ 注意

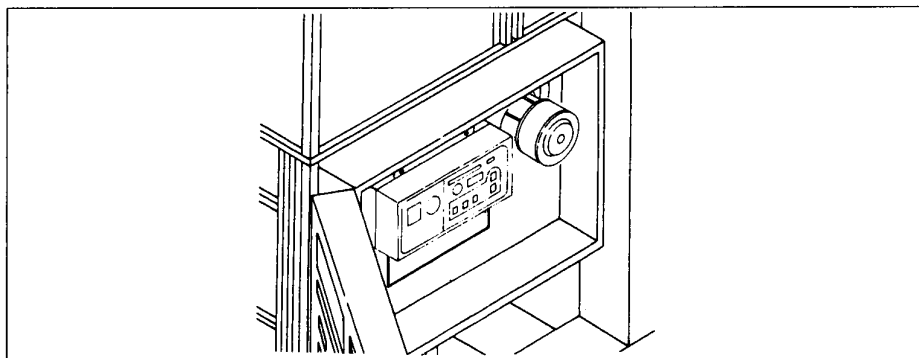
異常ランプが点灯している場合に、手動スイッチによる運転は絶対におこなわないでください。



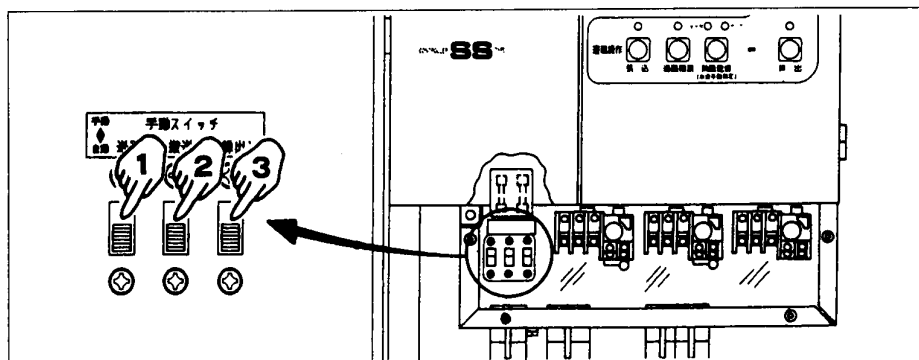
- (1) 手動スイッチを '手動' 側になると、電源スイッチが 'OFF' であっても本機が起動してしまいます。応急運転をおこなうときには、周りの安全を確かめてからにしてください。
- (2) 応急運転終了後は、手動スイッチを '自動' 側に戻してください。
- (3) 手動スイッチの操作方向は、操作前に確かめてください。
- (4) 応急運転をおこなう前に必ず、電源プラグを抜いてください。

応急運転のしかた

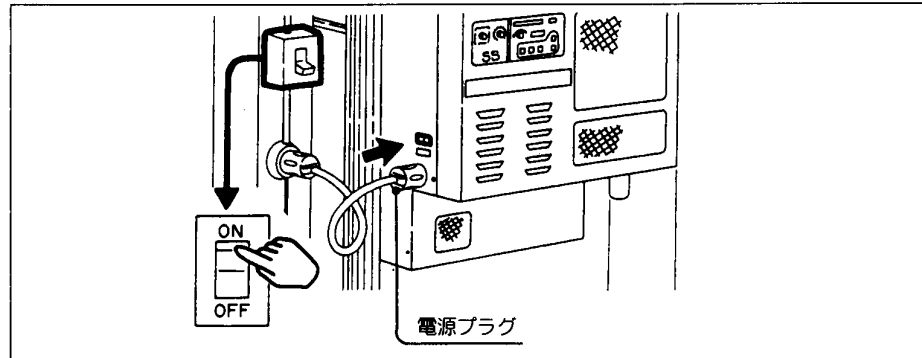
- ① 正面カバーを開けてください。



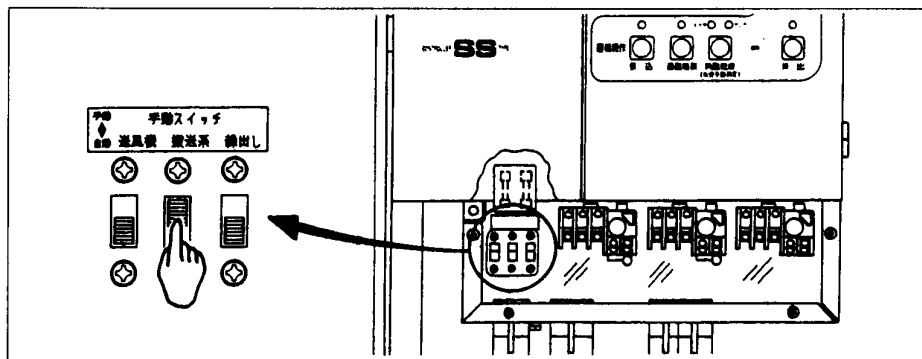
- ② 手動スイッチの '送風機' '搬送系' '繰出し' のスイッチを全て '自動' 側に切り換えてください。



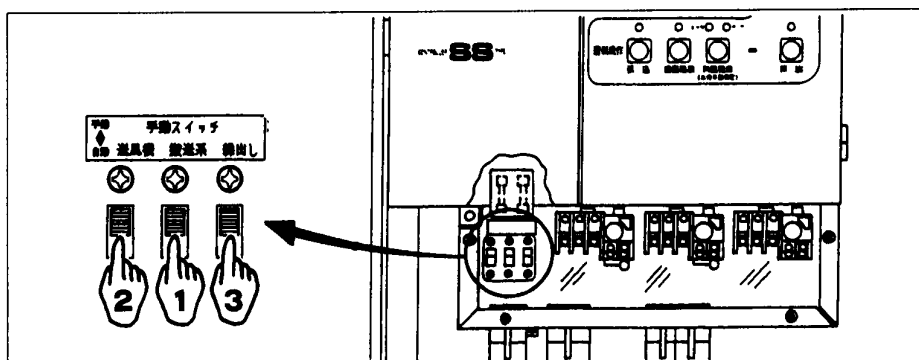
- ③制御盤に電源プラグを接続してください。
その後、アンペアブレーカスイッチを 'ON' してください。



- ④粉・麦を張り込むときには、次の手順でおこなってください。
- (1) 搬送系スイッチを '手動' 側にしてください。
●昇降機、上部・下部コンベア、排塵機が起動します。
 - (2) 張込ホッパーから粉・麦を張り込んでください。

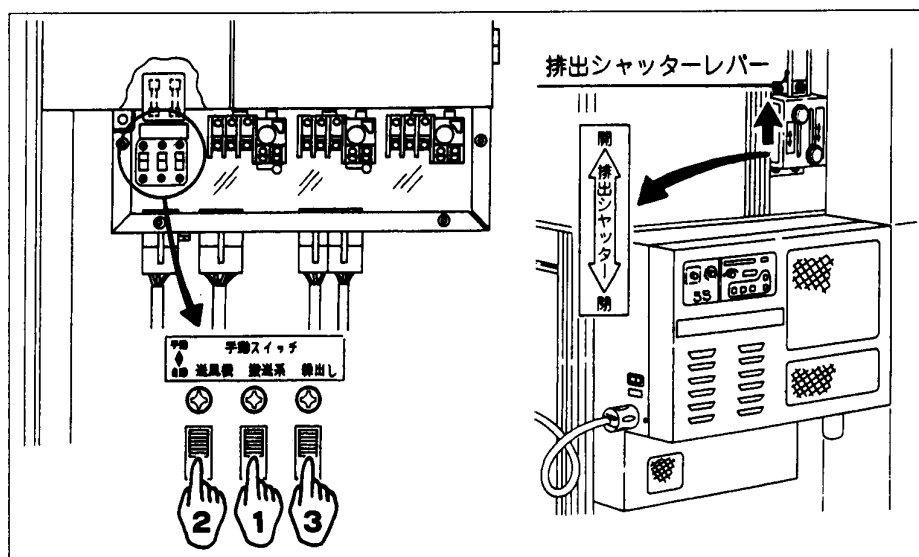


- ⑤粉・麦を通風循環するときには、次の手順でおこなってください。
- (1) 搬送系スイッチを '手動' 側にしてください。
●昇降機、上部・下部コンベア、排塵機が起動します。
 - (2) 送風機スイッチを '手動' 側にしてください。
●送風機が起動します。
 - (3) 繰出しスイッチを '手動' 側にしてください。
●繰出しロールが回転し、粉・麦が循環します。



⑥ 粉・麦を排出するときは、次の手順でおこなってください。

- (1) 搬送系スイッチを「手動」側にしてください。
●昇降機、上部・下部コンベア、排塵機が起動します。
- (2) 送風機スイッチを「手動」側にしてください。
●送風機が起動します。
- (3) 繰出しスイッチを「手動」側にしてください。
●繰出しロールが回転し、粉・麦が循環します。
- (4) 排出シャッターレバーを上を持ち上げ、「排出」側にしてください。
粉・麦が機外に排出されます。



第11章

緊急時の連絡先

緊急時の連絡先

乾燥機をお使いいただいている間に、原因が不明で適切な処置がおこなえないと判断した場合、あるいは、点検・整備の結果、機械の動作に異常があった場合には、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所までご連絡ください。

弊社営業所一覧

営業所名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道営業所	〒068	岩見沢市二条東17丁目	☎0126 (22) 3442
秋田営業所	〒010	秋田県秋田市川尻御休町5-30	☎0188 (63) 4288
仙台営業所	〒983	宮城県仙台市宮城野区日之出町2-2-5	☎0222 (35) 9011
関東営業所	〒348	埼玉県羽生市西2-21-10	☎0485 (61) 2112
新潟営業所	〒940-11	新潟県長岡市下条町字西荒田686	☎0258 (22) 2131
金沢営業所	〒921	石川県金沢市新保本1-390	☎0762 (49) 7210
大阪営業所	〒533	大阪市東淀川区瑞光2-10-29	☎06 (320) 1000
岡山営業所	〒702	岡山県岡山市千鳥町15-29	☎0862 (63) 5231
高松営業所	〒769-01	香川県綾歌郡国分寺町国分843-1	☎0878 (74) 6470
福岡営業所	〒830	福岡県久留米市上津町久保田2008-1	☎0942 (21) 7744
南九州営業所	〒880-03	宮崎県宮崎市大字瓜生野垂門3675	☎0985 (41) 0421